

# can-am®



## 2015 ROADSTER オペレーターズガイド

安全性、車両およびメンテナンスに関する情報

# SPYDER® RT™



**警告**

**Spyderロードスターがどのように特殊であるかを学んでください。**

このオペレーターズガイドを読み、安全に関するDVDを見てください。

トレーニングコース（利用可能な場合）を完了し、コントロールの練習をして、習熟してください。

場所によって免許の要件が異なりますので、地域の条例を調べてください。

このガイドをフロントストレージコンパートメントに保管してください。

2 1 9 0 0 1 4 4 3 \_ J A

初版取扱説明書の翻訳

## カリフォルニア州「PROPOSITION 65」に基づく警告



本車両は、ガンや先天性欠損症または他の生殖における危害を引き起こすことがカリフォルニア州に知られている化学製品を含んでいるか、発します。



カナダの製品代理店は、Bombardier Recreational Products Inc. です  
米国の製品代理店は、BRP US Inc. です。

以下の商標は、Bombardier Recreational Products Inc. またはその子会社に  
属します：

4-TEC™ Rotax® Spyder™ XPS™



iPhone、iPod、iPod nano および iPod touch は米国およびその他の国で登録  
されている Apple Inc. の商標です。

「Made for iPod (iPod専用)」および「Made for iPhone (iPhone専用)」  
とは、電子用品が iPod または iPhone に接続できるように特別にデザインされ  
、Apple 社の性能基準を充たしていることを開発者によって認定されてい  
ることを意味します。Apple はこのデバイスの使用、または安全性および規制  
基準へのコンプライアンスに関して一切責任を負いません。この用品を iPod  
または iPhone で使用することで、ワイアレス性能が影響される可能性がある  
ことをご了承ください。

## 前書き

|            |                                                                                                                                                                    |
|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Deutsch    | Dieses Handbuch ist möglicherweise in Ihrer Landessprache verfügbar. Bitte wenden Sie sich an Ihren Händler oder besuchen Sie: <b>www.operatorsguide.brp.com</b> . |
| English    | This guide may be available in your language. Check with your dealer or go to: <b>www.operatorsguide.brp.com</b> .                                                 |
| Español    | Es posible que este manual esté disponible en su idioma. Consulte a su distribuidor o visite: <b>www.operatorsguide.brp.com</b> .                                  |
| Français   | Ce guide peut être disponible dans votre langue. Vérifier avec votre concessionnaire ou aller à: <b>www.operatorsguide.brp.com</b> .                               |
| 日本語        | このガイドは、言語によって翻訳版が用意されています。ディーラーに問い合わせるか、次のアドレスでご確認ください：<br><b>www.operatorsguide.brp.com</b> .                                                                     |
| Nederlands | Deze handleiding kan beschikbaar zijn in uw taal. Vraag het aan uw dealer of ga naar: <b>www.operatorsguide.brp.com</b> .                                          |
| Norsk      | Denne boken kan finnes tilgjengelig på ditt eget språk. Kontakt din forhandler eller gå til: <b>www.operatorsguide.brp.com</b> .                                   |
| Português  | Este manual pode estar disponível em seu idioma. Fale com sua concessionária ou visite o site: <b>www.operatorsguide.brp.com</b> .                                 |
| Suomi      | Käyttöohjekirja voi olla saatavissa omalla kielelläsi. Tarkista jälleenmyyjältä tai käy osoitteessa: <b>www.operatorsguide.brp.com</b>                             |
| Svenska    | Denna bok kan finnas tillgänglig på ditt språk. Kontakta din återförsäljare eller gå till: <b>www.operatorsguide.brp.com</b> .                                     |

CAN-AM™ Roadsterのご購入、ありがとうございます。本製品はBombardier Recreational Products Inc. (BRP)の保証および、お客様が必要とされる部品、サービスやアクセサリーをご提供している認定ディーラーのネットワークによって支えられています。

ディーラーはお客様の満足を提供いたします。ディーラーは、お客様が本製品を所有される以前から、初期セットアップやロードスターの点検を実行するためのトレーニングを受けております。

納入時に、お客様には保証範囲をお知らせし、新しい車両がご満足いただけるものであることを保証するために納入前チェックリスト (PREDELIVERY CHECK LIST)にお客様からご署名を頂いております。

## 乗車前に確認すべきこと

運転手、同乗者および傍観者の安全を確保するために、Spyder Roadsterをお乗りになる前に次のセクションをお読みください。

- 一般的な注意
- 車両情報
- 安全上の取扱説明書
- 走行前の点検

経験豊かなモーターサイクル運転者はSPYDER ROADSTERのユニークな特長のサブセクションに特に注目してください。

## 安全メッセージ


本ガイドに記載されている安全に関するメッセージの種類、特長および本ガイドでどのように使用さ

れているかは以下で説明されています。

安全喚起記号△は、人が負傷する恐れがあることを示します。

### 警告

指示に従わなかった場合、重傷事故や死亡事故を招く潜在的な恐れがあることを示します。

 **注意** 指示に従わなかった場合、中度または軽度の負傷を招く恐れがあることを示します。

**注記:** 指示に従わなかった場合は、車両の構成部品やその他に重大な損傷を招く恐れがあることを示します。

## この『オペレーターズガイド』について

本オペレーターズガイドは右車線走行である米国で作成されました。本書の説明は、お住まいになられている地域の管轄および法律に従いながら参照してください。

本オペレーターズガイドに記載されている「モーターサイクル」の単語は通常、二輪モーターサイクルを意味します。

この『オペレーターズガイド』は、メンテナンス、道路側での修理、および他の人に指示を行う事態に備えてフロントストレージコンパートメントに保管してください。

『オペレーターズガイド』の閲覧または追加部数の印刷を希望される場合は、次のウェブサイト [www.operatorsguide.brp.com](http://www.operatorsguide.brp.com) にアクセスしてください。

本書に記載されている情報は、発行時点で正しいものです。ただし、BRPは、それ以前に製造された製品に同様の改善を施す義務を負うことなく、製品を継続的に改善する方針を維持します。その後の変更により、製造された製品と

本ガイドにおける説明および／または仕様との間に差異が生じる場合もあります。BRPは何らの義務を負うことなく、製品の仕様、設計、機能、型式、装置などをいつでも変更し、あるいは製造を終了する権利を留保します。

車両を売却する時点で、この『オペレーターズガイド』および安全についてのDVDを必ず買い手に車両と共に受け渡す必要があります。

## 「その他の情報源」を参照してください

本オペレーターズガイドの他にも、車両の安全性カードをお読みになり、安全についてのDVDをご覧ください。

もし可能であれば、Spyder Roadsterの特別トレーニングコースを受けてください。今後提供されるトレーニングコースのスケジュールに関しては、[www.can-am.brp.com](http://www.can-am.brp.com) をご参照ください。Spyder Roadsterの特別トレーニングコースを受けられない場合は、モーターサイクルのトレーニングコースでは似たようなスキル、運転中のリスク回避の情報など、Spyder Roadsterに適用する情報を学ぶため、代替コースとして打って付けです。

## 謝辞

BRP は、Motorcycle Safety Foundation (MSF) が本オペレーターズガイドにMSFの道路上のモーターサイクルの安全性に関する資料を使わせていただいたことに謝辞を述べます。

MSFはあらゆるモーターサイクルメーカーから支持されている、国際的に認知された非営利財団です。モーターサイクルの安全性に関するコミュニティにトレーニング、工具およびパーツを提供しています。詳細は [www.msf-usa.org](http://www.msf-usa.org) まで。



# 目次

|                         |   |
|-------------------------|---|
| 前書き.....                | 1 |
| 乗車前に確認すべきこと.....        | 1 |
| 安全メッセージ.....            | 1 |
| この『オペレーターズガイド』について..... | 2 |
| 「その他の情報源」を参照してください..... | 2 |
| 謝辞.....                 | 2 |
| 一般的な注意.....             | 7 |
| 一酸化炭素中毒の回避.....         | 7 |
| ガソリンによる火事や他の危険の回避.....  | 7 |
| 高温部分による火傷の回避.....       | 7 |
| アクセサリーと改造.....          | 7 |

## 車両についての情報

|                                             |    |
|---------------------------------------------|----|
| 基本コントロール.....                               | 10 |
| 1)ハンドル.....                                 | 11 |
| 2)スロットル.....                                | 11 |
| 3)クラッチレバー (SM6 モデル).....                    | 12 |
| 4)ギアシフトレバー (SM6 モデル).....                   | 12 |
| 5)ギアシフト・セレクター (SE6 モデル).....                | 13 |
| 6)ブレーキペダル.....                              | 13 |
| 7)パーキングブレーキスイッチ.....                        | 14 |
| 二次コントロール.....                               | 16 |
| 1)イグニッション・スイッチ.....                         | 17 |
| 2)エンジンのスタートボタン.....                         | 17 |
| 3)エンジンのストップ・スイッチ.....                       | 18 |
| 4)ハザード警告スイッチ.....                           | 18 |
| 5)クルーズコントロール・スイッチ.....                      | 18 |
| 6)ヘッドライトスイッチ.....                           | 21 |
| 7)ウインカーボタン.....                             | 21 |
| 8)クラクション・ボタン.....                           | 22 |
| 9)ウインドシールド調整ボタン.....                        | 22 |
| 10)RECC (ROADSTERのелеクトロニック・コマンド・センター)..... | 22 |
| 11)リバーズボタン.....                             | 23 |
| 12)PTT (PUSH TO TALK、「プッシュ・ツー・トーク」)ボタン..... | 24 |
| 13)スイッチクラスター.....                           | 24 |
| 同乗者用コントロール.....                             | 27 |
| 同乗者用ヒートッドグリップ・スイッチ.....                     | 27 |
| 同乗者用オーディオコントロール.....                        | 27 |
| 多機能ゲージ.....                                 | 28 |
| 多機能ゲージの説明.....                              | 28 |
| 1)アナログ式スピードメーター.....                        | 28 |
| 2)アナログ式タコメーター (RPM).....                    | 28 |
| 3)インジケータランプ.....                            | 28 |
| 4)デジタル表示.....                               | 30 |
| 多機能ゲージの設定情報.....                            | 30 |
| デジタル表示の説明.....                              | 30 |
| デジタル表示のナビゲーション.....                         | 32 |
| カテゴリアイコンスクリーンの説明.....                       | 33 |
| アナログゲージ (オプションパッケージ).....                   | 39 |
| 燃料レベルゲージ.....                               | 39 |
| エンジン・クーラント温度ゲージ.....                        | 39 |

|                                      |           |
|--------------------------------------|-----------|
| <b>オーディオコントロール</b> .....             | <b>40</b> |
| オーディオシステムの電源.....                    | 40        |
| オーディオ音量コントロール.....                   | 40        |
| オーディオ音量の自己調整.....                    | 40        |
| オーディオのミュート(消音).....                  | 40        |
| ラジオ周波数域.....                         | 40        |
| AUX (補助).....                        | 41        |
| CBスクリーン (オプション).....                 | 42        |
| <b>GPS (オプションのパッケージ)</b> .....       | <b>43</b> |
| GPSレシーバーの取り付け.....                   | 43        |
| GPSレシーバーの取り外し.....                   | 43        |
| <b>装備</b> .....                      | <b>45</b> |
| ミラー.....                             | 45        |
| グローブボックス.....                        | 45        |
| フロントストレージコンパートメント.....               | 46        |
| シート.....                             | 46        |
| ストレージ・コンパートメント.....                  | 47        |
| ヘルメット.....                           | 49        |
| 車載工具.....                            | 49        |
| オペレーターズガイド.....                      | 49        |
| ボディパネル.....                          | 50        |
| <b>基本手順</b> .....                    | <b>55</b> |
| 同乗者用フットレストの調整の仕方.....                | 55        |
| エンジンの始動および停止.....                    | 55        |
| リバースでの運転.....                        | 57        |
| 慣らし運転中の運転.....                       | 57        |
| 燃料.....                              | 58        |
| サスペンションの調整.....                      | 59        |
| 12Vの電源出力の使用.....                     | 61        |
| オーディオ-インジャックの使用.....                 | 62        |
| <b>安全上の取扱説明書</b>                     |           |
| <b>SPYDER ROADSTERのユニークな特長</b> ..... | <b>64</b> |
| 安定性.....                             | 64        |
| 道路状態に対する反応.....                      | 64        |
| ブレーキペダル.....                         | 64        |
| パーキングブレーキ.....                       | 64        |
| ステアリング.....                          | 64        |
| 幅.....                               | 65        |
| リバース (後退).....                       | 65        |
| 運転免許書および現地の法律.....                   | 65        |
| <b>駆動支援技術</b> .....                  | <b>66</b> |
| 車両安定システム (V S S).....                | 66        |
| ダイナミックパワーステアリング (DPS).....           | 67        |
| <b>道路上のリスクの把握</b> .....              | <b>68</b> |
| 車両の種類.....                           | 68        |
| ドライバーの技術および判断力.....                  | 68        |
| ドライバーの状態.....                        | 68        |
| 車両の状態.....                           | 69        |
| 道路状況および天候.....                       | 69        |

|                                     |            |
|-------------------------------------|------------|
| <b>装備（ライディング・ギア）</b> .....          | <b>70</b>  |
| ヘルメット .....                         | 70         |
| その他の装備 .....                        | 71         |
| <b>必要とされる運転技術および実践演習</b> .....      | <b>73</b>  |
| 演習場の選択 .....                        | 73         |
| 運転の準備 .....                         | 74         |
| 運転の姿勢 .....                         | 74         |
| 実践演習（SM6モデル） .....                  | 74         |
| 実践練習（SE6モデル） .....                  | 82         |
| 高度運転技術の取得 .....                     | 90         |
| <b>道路走行上の戦略</b> .....               | <b>91</b>  |
| 走行の計画 .....                         | 91         |
| 安全運転 .....                          | 91         |
| 視認性を高める .....                       | 92         |
| 車線の位置 .....                         | 93         |
| 一般的な運転状況 .....                      | 95         |
| 道路状況および危険性 .....                    | 97         |
| 道路上での緊急事態 .....                     | 98         |
| タイヤの故障 .....                        | 99         |
| <b>同乗者や積荷を乗せる、またはトレーラーの牽引</b> ..... | <b>100</b> |
| 重量制限 .....                          | 100        |
| 超過重量で運転する場合 .....                   | 100        |
| 同乗者を乗せた運転 .....                     | 100        |
| 荷物を乗せる場所 .....                      | 101        |
| トレーラーの牽引 .....                      | 102        |
| <b>知識セルフテスト</b> .....               | <b>106</b> |
| 質問 .....                            | 106        |
| 解答 .....                            | 108        |
| <b>車両に記載されている安全情報</b> .....         | <b>110</b> |
| 下げ札 .....                           | 110        |
| 安全カード .....                         | 111        |
| 安全ラベル .....                         | 112        |
| <b>安全面での欠陥の報告</b> .....             | <b>115</b> |
| <b>走行前の点検</b>                       |            |
| <b>走行前のチェックリスト</b> .....            | <b>118</b> |
| <b>メンテナンス</b>                       |            |
| <b>メンテナンスのスケジュール</b> .....          | <b>122</b> |
| <b>初期点検</b> .....                   | <b>126</b> |
| <b>メンテナンスの手順</b> .....              | <b>127</b> |
| エンジンオイル .....                       | 127        |
| エンジンオイルフィルター .....                  | 130        |
| エアフィルター .....                       | 131        |
| エンジン・クーラント .....                    | 132        |
| ラジエーター・ファン .....                    | 133        |
| クラッチ液（SM6モデル） .....                 | 133        |
| バッテリー .....                         | 134        |
| 駆動ベルト .....                         | 136        |
| 車輪およびタイヤ .....                      | 137        |

|                         |            |
|-------------------------|------------|
| ブレーキ.....               | 139        |
| ヘッドライト .....            | 141        |
| <b>車両の手入れ.....</b>      | <b>145</b> |
| 車両クリーニング.....           | 145        |
| 車両の保護.....              | 145        |
| <b>保管、シーズン前の準備.....</b> | <b>146</b> |
| 保管.....                 | 146        |
| シーズン前の準備.....           | 146        |

### 道路わきでの修理

|                                |            |
|--------------------------------|------------|
| <b>診断ガイドライン.....</b>           | <b>148</b> |
| 第一ギアに入れることができない (SM6モデル) ..... | 148        |
| ニュートラルに入れられない (SE6モデル) .....   | 148        |
| 変速できない (SE6モデル) .....          | 148        |
| エンジンが始動しない.....                | 148        |
| ゲージにマニュアル (手動) が表示されている.....   | 149        |

|                          |            |
|--------------------------|------------|
| <b>多機能ゲージのメッセージ.....</b> | <b>150</b> |
|--------------------------|------------|

|                          |            |
|--------------------------|------------|
| <b>以下の状況に対する解決策.....</b> | <b>154</b> |
|--------------------------|------------|

|                                |     |
|--------------------------------|-----|
| キーの紛失.....                     | 154 |
| サイド・ストレージ・コンパートメントを開けることができない。 |     |

..... 154

|              |     |
|--------------|-----|
| タイヤのパンク..... | 154 |
|--------------|-----|

|              |     |
|--------------|-----|
| バッテリー切れ..... | 154 |
|--------------|-----|

|                             |            |
|-----------------------------|------------|
| <b>ヒューズおよびライトの交換方法.....</b> | <b>157</b> |
|-----------------------------|------------|

|           |     |
|-----------|-----|
| ヒューズ..... | 157 |
|-----------|-----|

|          |     |
|----------|-----|
| ライト..... | 160 |
|----------|-----|

|                   |            |
|-------------------|------------|
| <b>車両の移送.....</b> | <b>165</b> |
|-------------------|------------|

### 技術情報

|                   |            |
|-------------------|------------|
| <b>車両の識別.....</b> | <b>168</b> |
|-------------------|------------|

|             |     |
|-------------|-----|
| 車両識別番号..... | 168 |
|-------------|-----|

|               |     |
|---------------|-----|
| エンジン識別番号..... | 168 |
|---------------|-----|

|               |     |
|---------------|-----|
| EPA適合ラベル..... | 168 |
|---------------|-----|

|                 |     |
|-----------------|-----|
| D.E.S.S キー..... | 169 |
|-----------------|-----|

|                                  |            |
|----------------------------------|------------|
| <b>騒音エミッションコントロールシステム規制.....</b> | <b>170</b> |
|----------------------------------|------------|

|                |            |
|----------------|------------|
| <b>仕様.....</b> | <b>171</b> |
|----------------|------------|

### 保証

|                                                        |            |
|--------------------------------------------------------|------------|
| <b>BRP限定保証-米国およびカナダ:2015 Can-Am® SPYDER® ROADSTER.</b> | <b>180</b> |
|--------------------------------------------------------|------------|

|                                                  |            |
|--------------------------------------------------|------------|
| <b>BRP限定保証2015 Can-Am™ SPYDER™ ROADSTER.....</b> | <b>188</b> |
|--------------------------------------------------|------------|

### 顧客情報

|                      |            |
|----------------------|------------|
| <b>プライバシー情報.....</b> | <b>196</b> |
|----------------------|------------|

|                       |            |
|-----------------------|------------|
| <b>住所と所有権の変更.....</b> | <b>197</b> |
|-----------------------|------------|

# 一般的な注意

## 一酸化炭素中毒の回避

すべてのエンジン排気は、致命的なガスである一酸化炭素を含みます。一酸化炭素を吸うと頭痛、めまい、眠気、吐き気、錯乱や時には死亡に至ることがあります。

一酸化炭素は、全くエンジン排気を見たり、その匂いを感じないとしても存在する恐れがある、無色、無臭、無味、無味、無味のガスです。一酸化炭素は極めて早く致死濃度に高まることもあり、あっという間に悪影響を受けて、自身を守れなくなります。また、閉じた場所や換気が悪い場所では、一酸化炭素の致死濃度が数時間あるいは数日も長引くことがあります。一酸化炭素中毒の徴候を感じたら、すぐにその場所を離れ、新鮮な空気を得て、治療を求めてください。

一酸化炭素による重傷または死を防ぐには：

- ガレージ、カーポートや納屋などの換気が悪い、または部分的に閉じられたエリアで車両を絶対に運用しないでください。扇風機や窓およびドアを開けたりしてエンジン排気を通気しようとしても、一酸化炭素が危険なレベルに速く達する場合があります。
- 窓やドアなどの開口を通してエンジン排気が建物に吸い込まれる恐れがある場所では、決して屋外で車両を運転しないでください。

## ガソリンによる火事や他の危険の回避

ガソリンは可燃性が高く、非常に爆発性があります。燃料の蒸気は拡散し、エンジンから遠く離れた火の粉や炎によって引火することもあります。火事や爆発の危険性を低減させるために、以下の指示に従ってください：

- 燃料を補給する場合、炎、火の粉、火がついてるタバコやその他の点火源から離れ、よく換気された屋外で行ってください。
- 決して、エンジンの稼働中には燃料を補給しないでください。
- 決して、燃料タンクから溢れさせないでください。温度の変化で燃料が膨張する場合がありますので、燃料タンクに若干の余裕を残してください。
- こぼれた燃料は必ず拭き取ってください。
- 決して、燃料キャップが外れたまま始動や運転をしないでください。
- 燃料の保存には、承認された赤いガソリン容器だけを使ってください。
- 車両のフロント貯蔵コンパートメントや他のどの場所であっても、ガソリン容器を運び込まないでください。

ガソリンは有毒で、傷害や死亡を引き起こす場合があります。

- 決して、口によりガソリンをサイフォンしないでください。
- ガソリンを飲み込んだり、目に入ったり、ガソリンの蒸気を吸い込んだ場合は、すぐに医者にかかってください。

ガソリンが体にかかった場合は、石鹸と水で洗い、衣服を着替えてください。

## 高温部分による火傷の回避

排気、オイルおよび冷却システム、およびエンジンは運転中に高温になります。火傷を避けるために、運転中や運転直後は接触しないでください。

## アクセサリーと改造

承認を受けていない改造や、BRPが認定していないアタッチメントや用品の使用は避けてください。これらの改造はBRPによる試験を受けていないので、交通事故や負

傷の危険性を高め、車両の使用が違法となる場合があります。

通常のもーターサイクルとは異なり、Spyder Roadsterには車両通常構成のための較正がされている車両安定システム (VSS)が搭載されています。VSSは、重量配分、ホイールベース、タイヤ、サスペンション、ブレーキまたはステアリングを変更するなど、車両を改造した場合、適切に機能しなくなることがあります。

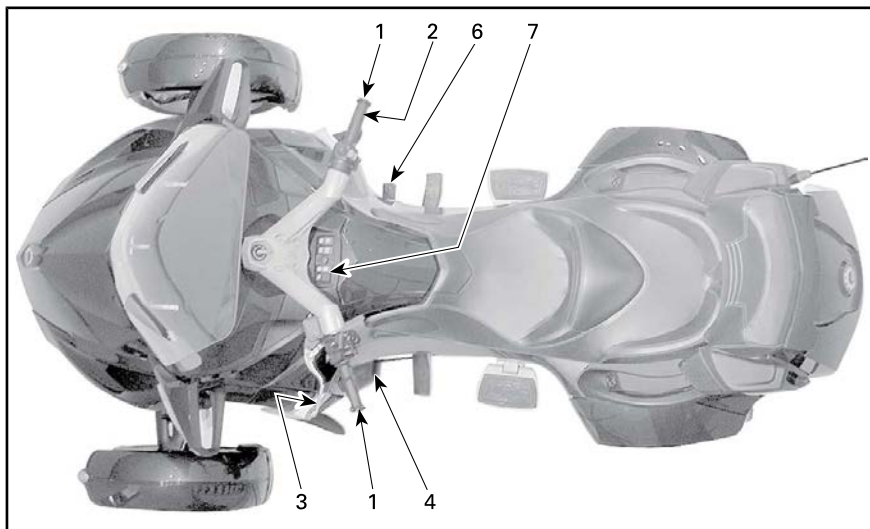
車両で使用できるアクセサリーについては、認定Can-Am Spyder Roadsterディーラーにご相談ください。



# 車両についての情報

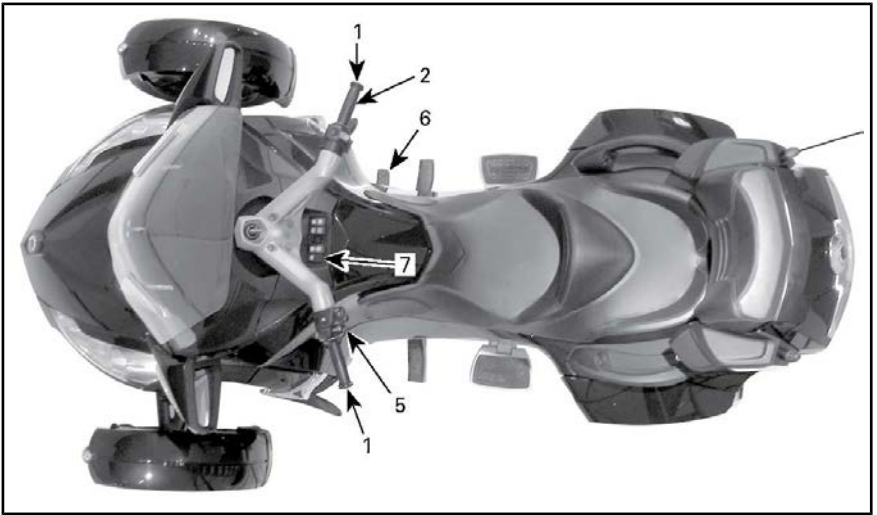
## 基本コントロール

多くのコントロールはモーターサイクルのコントロールと似ていますが、異なるものもあります。すべてのコントロールの位置と操作方法を知り、それらをスムーズおよびコーディネートよく利用するために練習することが必要です。



SM6モデル

|   |               |
|---|---------------|
| 1 | ハンドル          |
| 2 | スロットル         |
| 3 | クラッチレバー       |
| 4 | ギアシフトレバー      |
| 6 | ブレーキペダル       |
| 7 | パーキングブレーキスイッチ |



SE6モデル - 代表例

|   |               |
|---|---------------|
| 1 | ハンドル          |
| 2 | スロットル         |
| 5 | ギアシフト・セレクター   |
| 6 | ブレーキペダル       |
| 7 | パーキングブレーキスイッチ |

## 1)ハンドル

両手でハンドルを握ります。行きたい方向にハンドルを切ります。

## 2)スロットル

右ハンドルがスロットルであり、エンジン速度を制御します。エンジン速度を上げるには、図のようにスロットルを回します（手首を下げる）。



スピードを上げる

エンジン速度を下げるには、図のようにスロットルを回します（手首を上げる）。



スピードを下げる

スロットルはばねで留められており、グリップを放すとアイドリング状態に戻るはずですが、

注: この車両にはETC (Electronic Throttle Control、「電子スロットル制御」)が搭載されています。スロットルボディのスロットルプレートは電子的に制御されており、スロットルのツイストグリップ位置に関係なく、必要な時に開けたり閉めたりできます。加速した時には時々、VSS (車両安定システム)は車両の安定性を維持するためにエンジンの加速を制御します。次に、車両が安定化された後、スロットルの位置が維持されている場合、要求に応じてエンジンのRPMは上がります。これは「遅延」加速として実行されます。

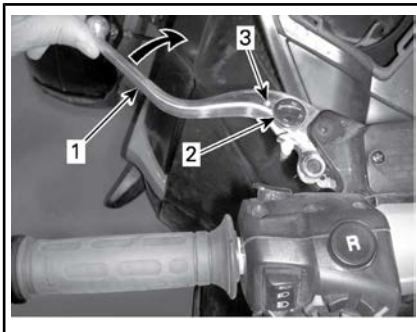
### 3)クラッチレバー (SM6 モデル)

クラッチレバーは左ハンドグリップの前にあります。クラッチはエンジンから後輪までの動力の伝達を制御します。レバーを絞って動力を遮断したり、緩和します。

### クラッチレバーの位置調整

クラッチレバーおよびハンドグリップ間の距離はポジション1 (最大距離) からポジション4 (最小距離) まで調整できます。

1. アジャスターダイヤルをリリースするためにはクラッチレバーを前に押し出します。その位置を維持します。
2. ダイヤル番号をレバー上の点に整列させるようにアジャスターダイヤルを回します。
3. クラッチレバーを放します。



クラッチレバーの調整

1. クラッチレバー
2. アジャスターダイヤル
3. 点

### 4)ギアシフトレバー (SM6 モデル)

ギアシフトレバーは左フットレストの前にあります。

ギアの順序はリバース-1-ニュートラル-2-3-4-5-6です。



代表的な例

一つのギアから次のギアに順序的に移動するには、完全に持ち上げるまたは押し下げます。レバーをリリースするとレバーは中央位置に戻り、次のシフトアップまたはダウンに備えて自らの機構をリセットします。ニュートラル(N)に入れるには、第一ギアから半分持ち上げる、または第二ギアから半分押し下げます。

注:ニュートラルから第一ギアに入れるには、ブレーキを踏んでシフトアップします。

リバースに入れるための詳細については、*基本的な手順サブセクション*のリバース操作をご参照ください。

## 5)ギアシフト・セレクター (SE6 モデル)

ギアシフト・セレクターは左ハンドグリップの下にあります。

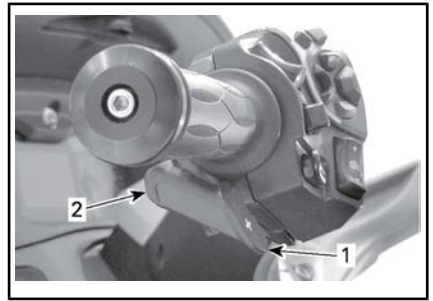


代表的な例

1. ギアシフト・セレクター

ギアの順序はリバース-ニュートラル-1-2-3-4-5-6です。

シフトアップするにはセレクターを前に押します。シフトダウンするにはセレクターを自分に目掛けて引きます。



1. シフトアップ  
2. シフトダウン

これによりギアからギアへと順序よくシフトさせます。シフト後にセレクターを放します。

ギアを数段階シフトさせるには、セレクターを数回使用します。

第一ギアまたはリバースからニュートラルにシフトするには、ギアセレクターを短く押すまたは引きます。より長いアクティベーションでは、ニュートラルを通り越してしまいます。

注:リバースから第一ギアに入れるには、ブレーキを踏んでシフトアップします。

注:ニュートラルから第一ギアに入れるには、ブレーキを押してシフトアップします。

ギアシフト・セレクターをリリースすると、次のシフトアップまたはダウンに備えて自らの機構がリセットされます。

減速中にシフトダウンせず、エンジンRPMがしきい値以下になってしまった場合、ギアボックスは自動的に次の利用可能なギアにシフトダウンします。

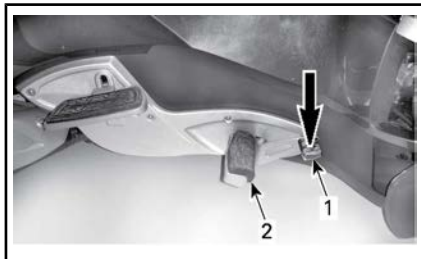
ギアボックスがギアに入ってる状態でエンジンが起動された場合、自動的にニュートラルにシフトします。

## 6)ブレーキペダル

ブレーキペダルは右フットレストの前にあります。操作するには下に押し下げます。このペダルは三

つの車輪すべてにブレーキをかけます。

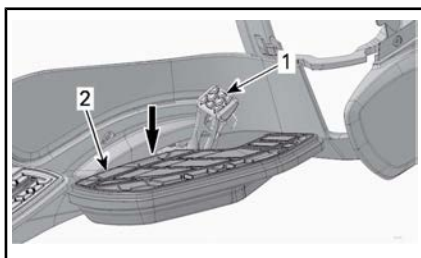
### SM6モデルおよびSE6ベースモデル



1. ブレーキペダル
2. フットレスト

注: 走行中に足がブレーキペダルにもたれないようにしてください。さもないと、エンジンマネジメントシステムはブレーキシステムを守るためにLIMPHOMEモードを起動させます。

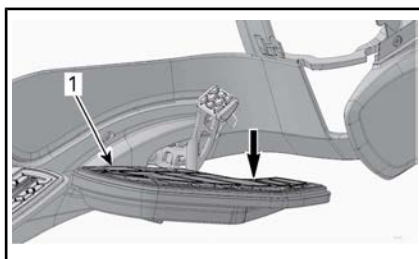
### RT-SおよびRT LTD SE6モデル



普通の状態

1. ブレーキペダル
2. フロアボード

ある機構によって、ペダルが通常より踏まれる必要がある場合、フロアボードが下げられます。これが起こった場合、力ちつとなるまでフロアボードの後部を押し、ブレーキシステムを点検します。



下げられたフロアボード

1. フロアボード

この状態が継続したり、ブレーキシステムに問題がある場合、Can-Am Roadsterの認定ディーラーにご相談ください。

## 7) パーキングブレーキスイッチ

パーキングブレーキスイッチはグローブボックスの上にあります。これは電動パーキングブレーキを起動または解除させます。



1. パーキングブレーキスイッチ

注: パーキングブレーキを起動または解除させるには、イグニッションキーがONになっている必要があります。

注: パーキングブレーキを起動させるには、バッテリー電圧が最低でも10.5Vである必要があります。電圧が10.5V以下である場合、パーキングブレーキのインジケータランプがONになります。

### パーキングブレーキのかけ方

車両が停止した状態で、パーキングブレーキをかけるにはスイッチ



を押します。ブレーキ・インジケータ・ランプが点滅します。



1. ここを押します。

注: 車両が10 km/h以上の速度で走行している際は、パーキングブレーキは作動できません。

パーキングブレーキが完全に起動していることを確認します。クラッチをにぎり(SM6モデルにおいて)車両を左右に揺すります。

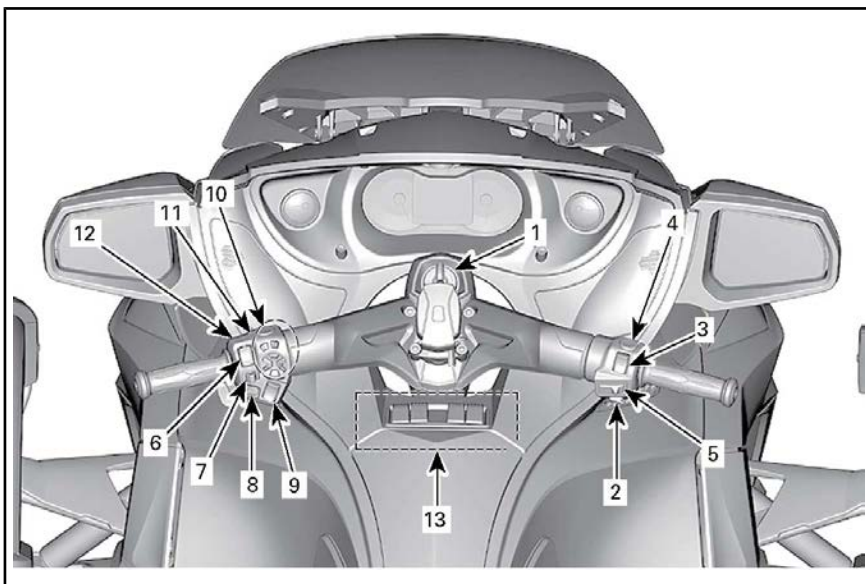
### パーキングブレーキのリリースの仕方

パーキングブレーキを解除するには、スイッチを押して放して、ブレーキ・インジケータ・ランプがOFFになったことを確認します。



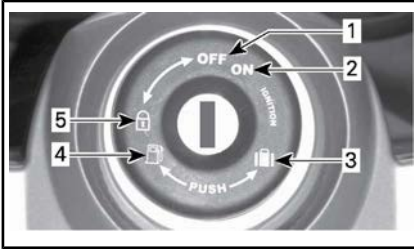
1. ここを押します。

## 二次コントロール



|   |                |    |                                      |
|---|----------------|----|--------------------------------------|
| 1 | イグニッションスイッチ    | 8  | クラクション・ボタン                           |
| 2 | エンジンのスタートボタン   | 9  | ウィンドシールド調整ボタン                        |
| 3 | エンジンストップスイッチ   | 10 | RECC (ロードスターエレクトロニック・コマンド・センター)      |
| 4 | ハザード警告スイッチ     | 11 | リバースボタン                              |
| 5 | クルーズコントロールスイッチ | 12 | PTT (Push To Talk、「プッシュ・ツー・トーク」) ボタン |
| 6 | ヘッドライト・スイッチ    | 13 | スイッチ・クラスター                           |
| 7 | ウィンカーボタン       |    |                                      |

## 1)イグニッション・スイッチ



イグニッションスイッチ

1. OFF
2. ON
3. フロントストレージコンパートメントの開口部
4. 座席開口部/燃料タンクアクセス部
5. ステアリング/グローブ・ボックス・ロックの位置

イグニッション・スイッチはハンドルの中央にあります。次の要素をコントロールします。

- エンジン点火
- 次の部品にアクセスするための座席開口機構
  - ・ 燃料タンクキャップ
  - ・ ブレーキ液リザーバー
- 次の部品にアクセスするためのフロント・ストレージ・コンパートメントの開口機構
  - ・ ヒューズ
  - ・ バッテリーターミナル
- ステアリング/グローブ・ボックス・ロックの機構

**注記:** キーを簡単に回せない場合、無理やり回さないでください。引き抜いて再挿入します。

### 警告

イグニッション・スイッチをOFFにすると、エンジンおよびVSSおよびDPSを含むすべての電気システムをシャットオフさせます。これを車両が動いている最中にすると、コントロールを失って激突する可能性があります。

車両には二つのキーが付いてきます。各Spyderキーにはエンジンを起動させるために、予めプログラムされ、ラジオ周波数により固定化システムが読み取る、特別のトランスポンダチップが含まれています。Spyderキーに電池は入りません。キーを分解しないでください。固定化システムがキーを読み取れなかった場合、エンジンは始動しません。固定化システムがキーを読み取れなくなる状況については、**診断ガイド**ラインを参照してください。Can-Am Roadsterの認定ディーラーからキーをもう一つ作ってもらうには**必ず**スペアキーが必要なので、スペアキーを安全な場所に保管してください。

注: BRPのオプションのトレーラーに使用できるキーシリンダーがグローブ・ボックスに入っています。これは車両のキーをトレーラーに使用することを可能にします。

## イグニッション機能

### OFF

キーはこの位置で挿入または引き抜くことができます。

OFFに回すと車両の電気システムはOFFになります。

エンジンはイグニッション・スイッチをOFFに回すことでシャットダウンできます。

### ON

キーをこの位置に回すと、車両の電気システムが起動されます。

ゲージが起動されるはずですが、

車両のライトがONになります。

これでエンジンを起動することができます。

## 2)エンジンのスタートボタン

エンジンのスタート・ボタンは右ハンドグリップの側にあります。



1. エンジンのスタートボタン  
これを押し続けてエンジンを起動させます。

### 3)エンジンのストップ・スイッチ

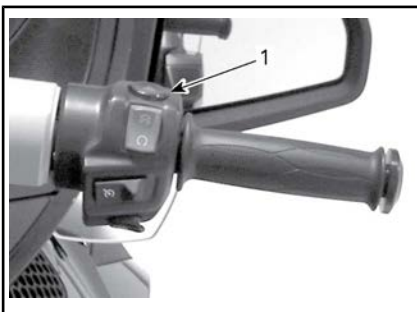
エンジンのストップ・スイッチは右ハンドグリップの側にあります。



1. エンジンストップスイッチ  
スイッチには二つの位置があり、エンジンを起動させる前にRUNのポジションにセットする必要があります。ハンドルから手を放さずにエンジンをいつでも停止させることができます。

### 4)ハザード警告スイッチ

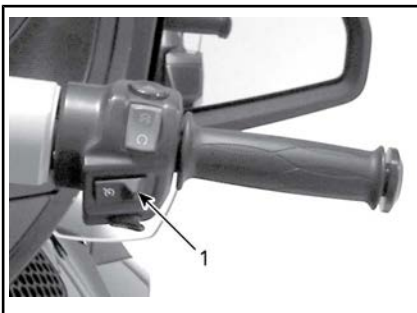
ハザード警告スイッチは右ハンドグリップの側にあります。



1. ハザード警告スイッチ  
ボタンを下に押ししてハザード警告ライトをONにさせます。

### 5)クルーズコントロール・スイッチ

クルーズ・コントロール・スイッチは右ハンドグリップの側にあります。



1. クルーズコントロールスイッチ  
スイッチは多機能スイッチです。これはクルーズ・コントロールの機能を起動、セットおよび停止させます。

**⚠ 警告**  
トレーラーを牽引している際にクルーズ・コントロールを使用することは推奨されません。

セットされている場合、クルーズ・コントロールは車両の走行中に一定のスピードを保つことを可能にします。必要に応じてエンジン速度を上げ下げします。

注:車両のトルクは風、下り坂または上り坂などの道路状況に応じて多少異なる場合があります。

クルーズ・コントロールは交通が少ない高速道路など、長時間のドライブの使用のためにデザインされています。街中、曲がりくねった道、悪天候またはスロットルを制御する必要のあるいかなる状況でクルーズ・コントロールを起動させたまま絶対に車両を運転しないでください。

### クルーズコントロールの制限

クルーズ・コントロールは自動操縦ではなく、車両を自動的に運転しません。

クルーズ・コントロールは道路上の出来事は把握できず、自動的にブレーキをかけたり操縦したりしません。

### ⚠ 警告

クルーズ・コントロールの不適切な使用により、車両のコントロールを失ってしまいかねません。

### クルーズ・コントロールの設定の仕方

クルーズ・コントロールを使用するには、車両速度は約40 km/h以上である必要があります。

クルーズ・コントロールをONにさせるには、クルーズ・コントロール・ボタンを右にスライドさせます。



1. ボタンを右にスライドさせる

注:デジタル表示では、クルーズ・コントロール状態は「CRUISEON」(クルーズON)と表示されます。

維持したい速度まで車両を加速させ、その速度をセットするにはクルーズ・ボタンを下に押します。



1. セットさせるにはボタンを下に押します

注:デジタル表示では、クルーズ・コントロール状態は「CRUISE SET」(クルーズSET)と表示されます。

これでスロットルを戻すことができます。

### ⚠ 警告

走行中は必ず両手でハンドルを握ります。さもないと、車両のコントロールを失いかねません。

注:セットされた速度より早く走行したい場合、スロットル・グリップを使ってエンジン速度を加速させることもできます。スロットルをリリースすると、クルーズ・コントロールはセットされた速度に戻ります。

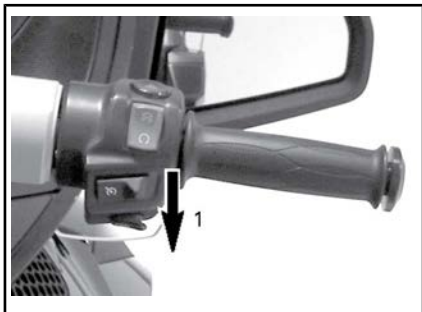
クルーズ・コントロールがセットされたら、UPまたはDOWNボタンを押して速度設定を上げ下げできます。ボタンを押すごとに速度設定を1.6 km/hずつ変化させます。ボタンを押し続けると、リリースされるまで、または運転限界に到

達するまで速度設定が変更されま  
す。



以前に設定したクルーズ・コントロール

1. 速度設定を上げるにはUPボタンを押します



以前に設定したクルーズ・コントロール

1. 速度設定を下げるにはDOWNボタンを押します

### クルーズ・コントロールの解除方法

クルーズ・コントロール操作を完全に停止させるには、クルーズ・コントロール・ボタンを左にスライドさせます。



1. ボタンをOFFにスライドさせる

注: デジタル表示では、「CRUISE ON」(クルーズON)の表示が消えます。

### クルーズ・コントロールのキャンセル方法

以下のいかなる出来事が起こった場合、クルーズコントロールはキャンセルされ、スロットルをまたコントロールすることができます。もしお望みであれば、クルーズコントロールを再開させることもできます。

- ブレーキペダルが踏まれた場合
- クラッチレバーを握ったり、またはクラッチ滑りが発生した場合 (SM6モデル)
- ギアが変更された場合 (SE6モデル)
- いかなる車両安定システムの介入

注:クルーズ・コントロールをキャンセルする場合、スロットル・レバーを希望する位置まで起動させ、移行をスムーズにさせることもできます。

### クルーズ・コントロールの再開方法

クルーズコントロールがキャンセルされ、クルーズコントロール・スイッチがまだONの位置に入っている場合、クルーズコントロール・ボタンを上を押すことでクルーズコントロールの操作を再開させることができます。クルーズ



コントロールは以前にセットされた速度まで復元します。

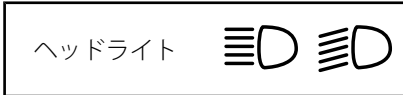


以前にキャンセルしたクルーズ・コントロール

1. 再開させるにはUPボタンを押します

注: デジタル表示では、クルーズ・コントロール状態は「CRUISE SET」(クルーズSET)と表示されます。

## 6) ヘッドライトスイッチ



スイッチは左ハンドグリップの側にあります。



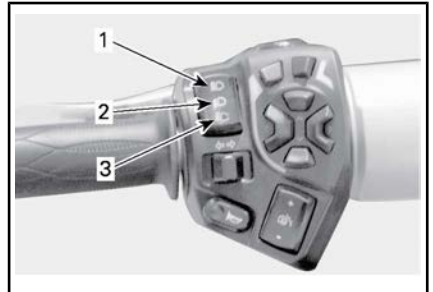
代表的な例

1. ヘッドライト・スイッチ

スイッチはハイまたはロービームのヘッドライトの選択に使用します。ヘッドライトはエンジンが800RPMに達した時に自動的にONになり、エンジンの停止から約20秒後に自動的にOFFになります。

ハイビームを選択するには、スイッチをフロント位置まで押しします。ロービームを選択するには、スイッチをバック位置まで押しします。

ハイビームをフラッシュさせるには、スイッチを低位置まで押しリリースします。ハイビームはスイッチを押し続けている限りONになり続けます。



代表的な例

1. ハイビーム
2. ロービーム
3. ハイビームのフラッシュ

## 7) ウィンカーボタン

|            |  |
|------------|--|
| 左<br>ウィンカー |  |
| 右<br>ウィンカー |  |

ウィンカーボタンは左ハンドグリップの側にあります。



代表的な例

1. ウィンカーボタン

ウインカーは曲がった後は通常自動的にOFFになりますが、浅い曲がりや車線変更の後に手動でOFFにする必要がある場合があります。

ウインカーをOFFにするには、ボタンを中に押し入れます。

車両の走行中は、ウインカーは30秒後に自動的にOFFになります。

## 8)クラクション・ボタン

クラクション・ボタンは左ハンドグリップの側にあります。



代表的な例

1. クラクション・ボタン

## 9)ウィンドシールド調整ボタン

ウィンドシールド調整ボタンは左ハンドグリップの側にあります。



代表的な例

1. ウィンドシールド調整ボタン

このボタンではウィンドシールドを希望する高さまで上げ下げできます。

**⚠注意** ウィンドシールドの高さを調整する前に、ウィンドシールド付近に物や誰かの手がないか確認します。車両を損傷させたり、怪我を引き起こしかねません。

注:ウィンドシールドを調整するにはエンジンがONになっている必要があります。

ウィンドシールドを上げるには、ボタン(+サイン)を押します。希望する高さに達した時点でボタンをリリースします。

ウィンドシールドを下げるには、ボタン(-サイン)を押します。お望みの高さに達した時点でボタンをリリースします。



代表的な例

1. ウィンドシールドを上げる場合
2. ウィンドシールドを下げる場合

## 10)RECC (Roadsterの電動ロケット・コマンド・センター)

RECCは左ハンドグリップの側にあります。



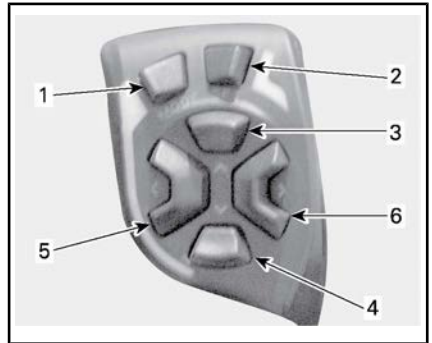
代表的な例

### 1. RECC

RECCは多機能スイッチです。

RECCは多機能ゲージのいくつかの機能のコントロールを可能にします。

注: RECCへの入力、車両電子モジュールが車両の主な機能に優先順位を付けている最中は、短い間ストップをかけられる場合があります。これは異常ではありません。



RECCボタン

1. **MODEボタン:**スクリーンのナビゲートメインスクリーンでボタンを2秒以上押し続ける:ECOモードを起動または解除します
2. **SETボタン:**  
素早く押しリリースする: 二次スクリーンをナビゲートします  
ボタンを一秒以上押し続ける:現在の機能の値を設定、またはセットアップスクリーンまでナビゲートします
3. **UPボタン:**音量 (オーディオ) または値を上げる
4. **DOWNボタン:**音量 (オーディオ) または値を下げる
5. **LEFTボタン:**二次メニューまたは設定を選択するためにスクリーン上の矢印を左に動かします
6. **RIGHTボタン:**二次メニューまたは設定を選択するためにスクリーン上の矢印を右に動かします

## 警告

運転中にRECCを使用すると、走行中に運転手の注意をそらしかねません。ボタンは常に注意して使用し、道路に常に目を向けてください。

## 11)リバースボタン

リバースボタンは左ハンドル・ハウジングの上にあります。



代表的な例

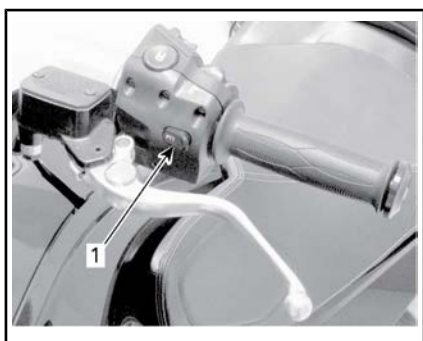
1. リバースボタン

リバースにシフトするためにリバースボタンを押し続けます。詳細については、基本的な手順サブセクションのリバース操作をご参照ください。

バックアップライトは車両がリバースに入ってる時にONになります。

## 12) PTT (Push To Talk、「プッシュ・ツー・トーク」)ボタン

PTTボタンはクラッチレバーに向いている左ハンドル・ハウジングに位置付けられています。



1. PTTボタン

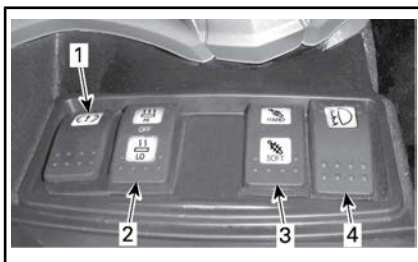
オプションのCB (Citizens/バンド) が搭載されている場合、ボタンを押すと他の当事者と話すためにCBを送信モードにセットします。

## 13) スイッチクラスター

スイッチクラスターはグローブボックスの上にあります。様々な

電気用品にコントロールを与えません。

注: スイッチクラスターは、エンジンが起動されていて、バッテリー電圧が11 Vdc以上の時だけ作動可能です。



1. パーキングブレーキスイッチ
2. 運転手のヒーテッド・グリップ・スイッチ
3. ACSスイッチ (オプションのパッケージ)
4. フォグライト・スイッチ (オプションのパッケージ)

## パーキングブレーキスイッチ



1. パーキングブレーキスイッチ

詳細については、基本コントロールのサブセクションを参照してください。

## 運転手のヒートッド・グリップ・スイッチ



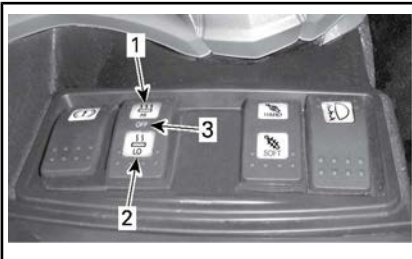
### 1. ヒートッド・グリップ・スイッチ

ヒートッド・グリップ・スイッチはヒートッド・グリップをONおよびOFFにしたり、加熱温度を制御するために使用します。

最小熱を設定するには、スイッチのLO強度側を押します。

最大熱を設定するには、スイッチのHI強度側を押します。

OFFを選択するには、スイッチを中央にセットします。



1. HI強度
2. LO強度
3. OFF (中央位置)

注: ヒートッド・グリップはイグニッションキーがOFFの場合、自動的にOFFになります。

## ACS (リアサスペンション) スイッチ (オプションのパッケージ)



### 1. ACSスイッチ

ACSスイッチはサスペンションの出荷時設定を柔らかくしたり、堅くしたりする時に使います。



1. 堅くするにはここを押します
2. 柔らかくするにはここを押します

ACSのサスペンション設定を変更するには、ACSリアサスペンションの調整 (リモート調整付き) をご参照ください。

## フォグライト・スイッチ (オプションのパッケージ)



### 1. フォグライトスイッチ

フォグライトをONにするには、スイッチアイコンを押します。



1. ここを押してONにさせます

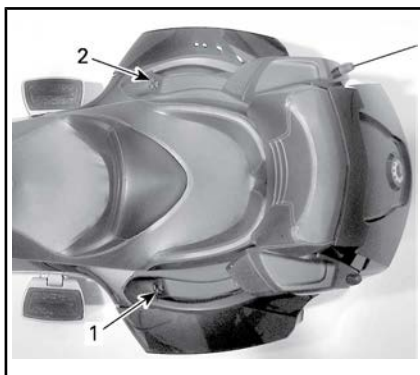
フォグライトをOFFにするには、スイッチを反対のアイコン側まで押します。



1. ここを押してOFFにさせます



## 同乗者用コントロール



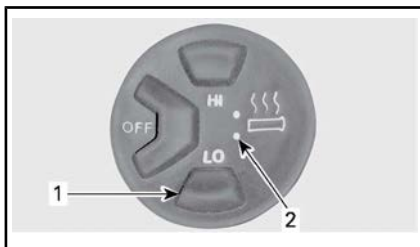
1. 同乗者用ヒートッドグリップ・スイッチ
2. 同乗者用オーディオコントロール(オプション)

### 同乗者用ヒートッドグリップ・スイッチ

ヒートッド・グリップ・スイッチは左パッセンジャ・グリップ付近にあります。

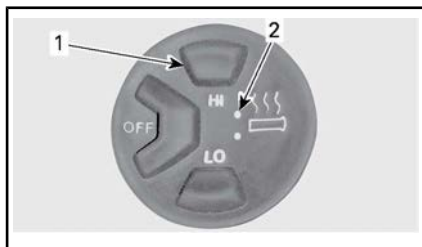
ヒートッド・グリップ・スイッチはヒートッド・グリップをONおよびOFFにしたり、加熱温度を制御するために使用します。

低温を設定するには、スイッチのLOボタンを押します。



1. LOボタン
2. LOインジケーター

高温を設定するには、スイッチのHIボタンを押します。



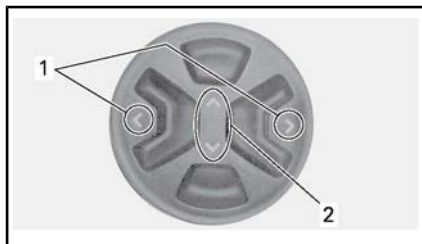
1. HIボタン
2. HIインジケーター

OFFを選択するには、OFFボタンを押します。

注:ヒートッド・グリップはエンジンが800 RPM以下になると自動停止され、自動的に再起動しません。

### 同乗者用オーディオコントロール

オーディオコントロールは右パッセンジャ・グリップ付近にあります。



1. LEFT/RIGHTボタン
2. UP/DOWNボタン

同乗者用オーディオコントロールはUP/DOWNボタンを使って同乗者用ヘッドセットの音量をリモートで上げ下げすることを可能にします。

ラジオ事前設定ステーションまたはiPodモバイル・デジタル・デバイスの曲はLEFT/RIGHTボタンで変更できます。

オーディオ機能の詳細については、オーディオコントロールのサブセクションをご参照ください。

# 多機能ゲージ



## 警告

運転中に多機能ゲージまたはインフォテインメントセンターを見たり使用すると、事故につながる恐れがあります。周りの状態を常に把握し、使用する場合は周りに何もなくて安全であることを確認してください。

多機能ゲージにはアナログ式ゲージ（スピードメーターおよびタコメーター）、インジケータランプおよびデジタルスクリーン付きのインフォテインメントセンターが搭載されています。

## 多機能ゲージの説明



### 1)アナログ式スピードメーター

キロ (Km/h)またはマイル/時間 (MPH)で車両速度を表示します。基準を変更するには、設定画面を参照してください。

### 2)アナログ式タコメーター (RPM)

毎分エンジン回転数 (RPM)を表示します。メーター上の数字を1000倍した値が実際の回転数です。

### 3)インジケータランプ

インジケータ・ランプは様々な状況または問題を表します(道路側での修理に記載の多機能ゲージのメッセージセクションを参照)。

| インジケータランプ (通常動作)                                                                    |                   |          |                                                                        |
|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|----------|------------------------------------------------------------------------|
| インジケータランプ                                                                           |                   | メインスクリーン | 説明                                                                     |
| すべてのインジケータランプ                                                                       | ON                | なし       | イグニッションスイッチがONになっていて、エンジンが始動されていない状態で、一時的にすべてのインジケータランプが始動されます。        |
|    | 点滅                | なし       | パーキングブレーキがかかっている                                                       |
|                                                                                     | 点滅 (フラッシュ) + ビープ音 | なし       | SE6モデル:イグニッションスイッチがOFFであり、パーキングブレーキが発動されていない。停車する際は必ずパーキングブレーキをかけてください |
|    | ON                | なし       | ニュートラルポジションに入ったギアボックス                                                  |
|    | 点滅                | なし       | リバースポジションに入ったギアボックス                                                    |
|    | ON                | なし       | HIGHビームポジションのヘッドライト                                                    |
|    | 点滅                | なし       | VSS介入が発生している                                                           |
|  | 点滅                | なし       | 左ウインカー。<br>左右両方のインジケータライトが同時に点滅している場合：<br>ハザード警告灯                      |
|  | 点滅                | なし       | 右ウインカー。<br>左右両方のインジケータライトが同時に点滅している場合：<br>ハザード警告灯                      |

## 4) デジタル表示

ドライバーに有用なリアルタイムの情報を表示し、インフォテインメントセンターのインターフェイスとして使用されます。

この表示は周辺光が明るい時は明色となり、周辺光が薄暗くなるとより濃い色になります。

デジタル表示のより完全な詳細については、デジタル表示の説明を参照してください。

## 多機能ゲージの設定情報

イグニッションキーが毎回ONになると、セルフ試験が実行されず。デフォルトの駆動スクリーンがONになり、インジケータライトはしばらくONになります。これにより、オペレーターはすべてのインジケータが正常に作動していることを確認できます。

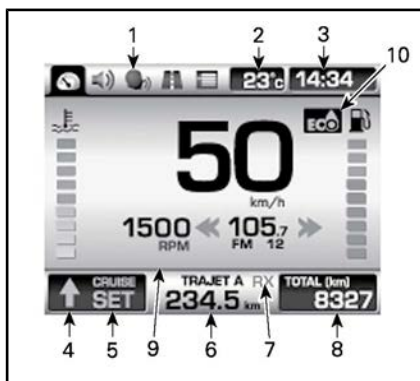
イグニッションスイッチが5分以上OFFになっている状態でスイッチをONにすると、デジタル表示は次のメッセージを表示します。

- 運転する前に、上記の安全カードをよくお読みになってからMODEボタンを押してください。

エンジンを始動するために、MODEボタンを押してこのメッセージを承認します。

## デジタル表示の説明

表示は次のように様々な部分に分かれています。



1. カテゴリアイコン
2. 外気温度
3. 時計
4. ギアポジションまたはシフトアップ・インジケータの矢印
5. クルーズコントロール状態
6. トリップメーター
7. CBコミュニケーション状態 (オプション)
8. オドメーター
9. メインスクリーン
10. ECOモードアイコン

## 1) カテゴリアイコン

5つの選択可能なカテゴリアイコンがあります。各アイコンは別のスクリーンにリンクされています。以下のテーブルを参照してください。

| カテゴリアイコン | カテゴリアイコンのスクリーン     |
|----------|--------------------|
|          | デフォルトの駆動スクリーン      |
|          | オーディオ              |
|          | CB (オプション)         |
|          | トリップメーター           |
|          | 基本設定 (停車時のみ利用可能です) |

完全な詳細については、カテゴリアイコンスクリーンの説明を参照。

RECC (ロードスターエレクトロニック・コマンド・センター) を使って複数の機能を選択するためにカテゴリアイコンをナビゲートしたり、特定の設定を変更したりできます。二次コントロールのサブセクションのRECC (ROADSTERのエレクトロニック・コマンド・センター)を参照。

## 2) 外気温度

外気温度は° Cまたは° Fで表示されます。単位を変更するには、設定画面を参照してください。

## 3) 時計

現在の時刻は24hまたはam/pm形式で表示されます。形式を変更するには、設定画面を参照してください。

## 4) ギアポジションの位置またはシフトアップ・インジケータの矢印

選択されたギアポジションの位置またはシフトアップ・インジケータの矢印を表示します(ECOモードのアイコンを参照)。

## 5) クルーズコントロール状態

クルーズコントロールがONであるが、速度が設定されていない時、ONと表示されます。

クルーズコントロールが始動され、速度が設定されている状態でSETと表示されます。

## 6) トリップメーター

最後のリセット以来、走行したKm数またはマイル数。2つのトリップメーターがあり、「A」および「B」と識別されています。基準を変更するには、設定画面を参照してください。

二次機能として、トリップメーターは運転手に異常を知らせるためにアイコンを表示する時があり

ます。道路側での修理セクションの多機能ゲージのメッセージをご参照ください。



代表的な例

1. メッセージ/アイコン

## 7) CBコミュニケーション状態 (オプション)

CB (市民バンド)が受信(RX)または送信(TX)しているか示します。

## 8) オドメーター

工場出荷時からのキロまたはマイルで示された総走行距離。基準を変更するには、設定画面を参照してください。

## 9) メインスクリーン

メインスクリーンはほとんどの情報が表示されるエリアです。この表示はゲージ機能をナビゲートするたびに変化します。



代表例 - デフォルトの駆動スクリーン

スクリーンにおける完全な詳細については、カテゴリアイコンスクリーンの説明を参照。

## 10) ECOモードアイコン

ECO (燃料節約モード)の設定は最適なクルーズ設定を保つためにスロットルの応答性を制限し、スロットル開度を最適にすることで、燃費を削減します。

ECOモードを起動させるには、メインスクリーンでモードボタンを2秒間押します。



### 1. ECOモードアイコン

ECOモードが起動されると、トランスミッションをシフトアップさせる最適なタイミングを示すために、緑の矢印とギアボックス・ポジション・インジケーターが交互で表示されます。

注:ギアボックス・ポジション・インジケーターはトランスミッションがシフトされた後に戻ります。

ECOモードを解除させるには、メインスクリーンでモードボタンを2秒間押します。

## デジタル表示のナビゲーション

ドライブする前にインフォテインメントセンターの様々な機能を扱って練習することが推奨されます。徐々に慣れてきて、走行中でも簡単に使用ができるようになります。

表示機能をコントロールするにはRECC(ロードスターエレクトロニック・コマンド・センター)を使用します。二次コントロールのサブセクションのRECC (ROADSTERのエレクトロニック・コマンド・センター)を参照。

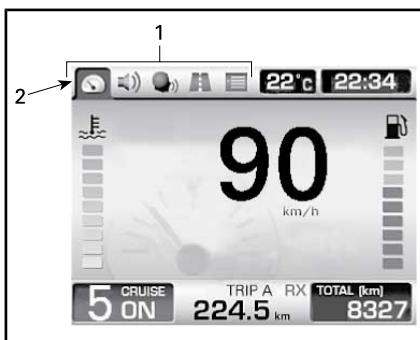


代表的な例

### 1. RECC

MODEボタンを押すと、次の順序でスクリーンの左上部にあるカテゴリアイコンの選択を動かします。デフォルト駆動スクリーン、オーディオ、走行メーターおよび基本設定。ボタンを押すごとに、次の可用なアイコンに選択が移ります。アイコンが選択されると、その関連スクリーンが現れます。

注:この機能が車両に搭載されていない場合、CBアイコンはスキップされます。SE6モデルの牽引モード以外では、車両が5 km/h以上で駆動している場合、設定画面はスキップされます。



1. カテゴリアイコン
2. デフォルト駆動アイコンが選択されている

最後のアイコンが選択されている場合、MODEボタンを押すと最初のアイコンに選択が戻ります。

一部のスクリーンでは、垂直または水平の矢印が表示されます。これは、水平方向矢印に囲まれている設定はLEFT/RIGHTボタンでナビゲートし、垂直方向矢印に囲まれている設定はUP/DOWNボタンでナビゲートすることを指示しています。

二重矢印が表示されている場合、表示されているスクリーンに応じて次のことを意味します。

- 音量バーが表示されている際にDOWNボタンを押し続けると、オーディオシステムをミュートできます。ミュート状態でUPボタンを押すとオーディオの音量を最後の設定にリセットします。
- 該当する矢印ボタンを押し続けると、値を上げ下げできます。
- 該当する矢印ボタンを使って一覧をスクロールし、残りの項目を表示させることができます。



代表的な例

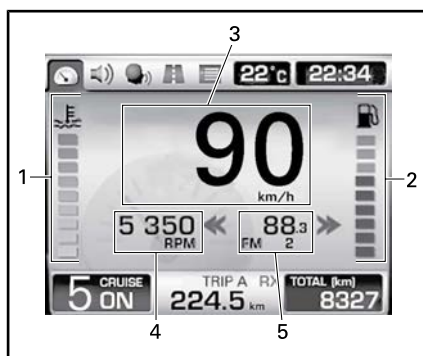
1. 垂直方向矢印を選択するにはUP/DOWNボタンを使用します
2. 水平方向矢印を選択するにはLEFT/RIGHTボタンを使用します

項目が選択されると、現在値をその項目に設定します。

ゲージ始動時の初期安全性メッセージを承認した後、またはRECCボタンを押さないままその他のスクリーンで数秒待った後、表示は自動的にデフォルト駆動スクリーンに戻ります。

## カテゴリアイコンスクリーンの説明

### デフォルト駆動スクリーン



デフォルト駆動スクリーン

1. エンジン・クーラント温度(オプションのパッケージ)
2. 燃料レベル(オプションのパッケージ)
3. デジタルスピードメーター
4. エンジン回転数(工場設定されていない)
5. ラジオプリセットまたはラジオ周波数(工場設定されていない)



1) エンジンクーラント温度 (個別のアナログ式ゲージが付いているモデルを除いて)

エンジン・クーラント温度を常に示すバーゲージ。

注: 別個アナログ式エンジン温度ゲージ付きのモデルでは、バーゲージはデジタル表示されていません。

2) 燃料レベル (個別のアナログ式ゲージ付きのモデルを除いて)

棒状のゲージによって、燃料タンク内の残量を常時表示します。

注: 別個アナログ式燃料レベルゲージ付きのモデルでは、バーゲージはデジタル表示されていません。

注: 低燃料インジケータランプは、第六ギアで100kmで巡行している時に走行可能距離が50 km/hにするとONになります。(点灯します)

3) デジタルスピードメーター  
キロ (Km/h) またはマイル/時間 (MPH) で車両速度を表示します。基準を変更するには、設定画面を参照してください。

4) エンジン回転数  
エンジン回転数を毎分エンジン回転数 (RPM) で表します。

注: これはデフォルトの設定ではありません。この機能を有効にするには、設定画面を参照してください。

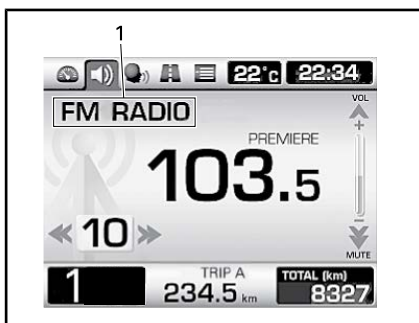
5) ラジオプリセットまたはラジオ周波数

選択されたラジオプリセットまたはラジオ周波数を表示します。

注: これはデフォルトの機能ではありません。この機能を有効にするには、設定画面を参照してください。

## オーディオスクリーン

オーディオスクリーンは最後の構成を生成します。



代表的な例

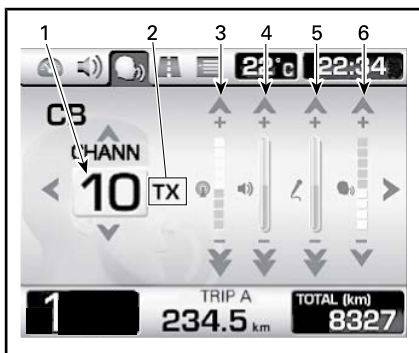
1. 現在選択されたオーディオ機器

オーディオ機能の詳細については、オーディオコントロールをご参照ください。

## CBスクリーン (オプション)

このスクリーンはCBが取り付けられた時のみ利用可能です。

注: 表示されているスクリーンに関係なく、PTT (プッシュ・トゥー・トーク) ボタンを押すとCBスクリーンが現れます。



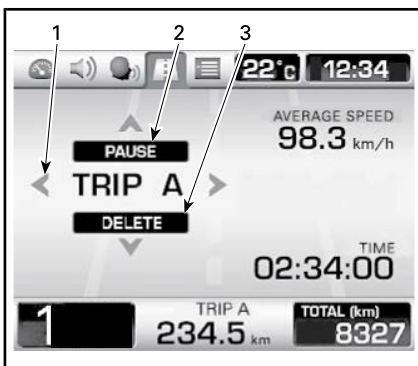
代表的な例

1. 現在のチャンネル
2. CB通信状態: RX (受信)、TX (送信) および OFF
3. スケルチ調整
4. 音量調整
5. インターコム (i-com) の音量調整
6. 音声起動感度調整 (vox)



オーディオ機能の詳細については、オーディオコントロールをご参照ください。

## トリップメータースクリーン



代表的な例

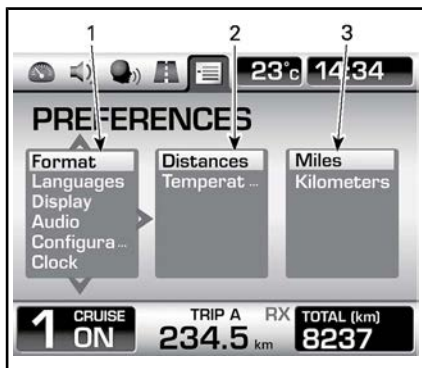
1. 表示選択肢：トリップAまたはトリップB
2. 選択したトリップメーターを停止または再開する
3. 選択したトリップメーターをリセットする

お望みのトリップメーターを選択するには、LEFT/RIGHTボタンを押します。

選択したトリップメーターを停止または再開するには、UPボタンを押します。

選択したトリップメーターをリセットするにはDOWNボタンを押します。

## 設定画面



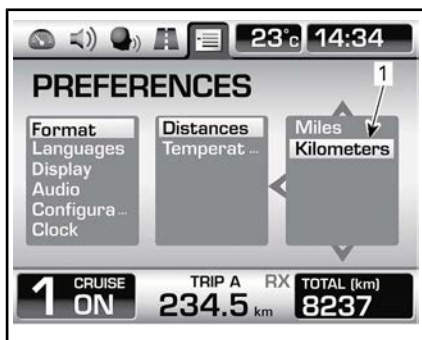
1. 1つ目の列：メインカテゴリ
2. 2つ目の列：二次カテゴリまたはアイテム
3. 3つ目の列：ユニットまたは設定

このスクリーンは停車時のみ利用可能です。

お望みの列を選択するにはLEFT/RIGHTボタンを使用します

列のお望みのアイテムを選択するには、UP/DOWNボタンを押します。次の右の列に選択可能なアイテムがある場合、RIGHTボタンでその列に移動し、UP/DOWNボタンでお望みのアイテムを選択します。お望みのアイテムに到達するまで移動させます。

項目が選択されると、現在値をその項目に設定します。その後、いかなるスクリーンに移動してもその値は維持されます。



1. 選択された値がセットされます

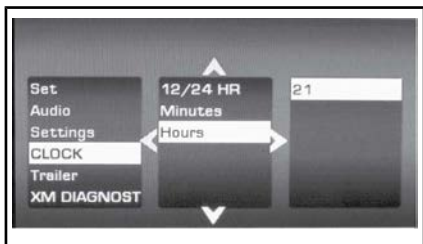
注:2つ目または3つ目の列にいる時、LEFTボタンで左の列に戻ることができます。

注:測定単位を変更すると、アナログおよびデジタル表示の両方で変更されます。この単位はオドメーターおよび両方のトリップメーターに使用されます。

### 時間の設定

時間を設定する場合:

設定画面のメインカテゴリでCLOCK (時計) を選択します。

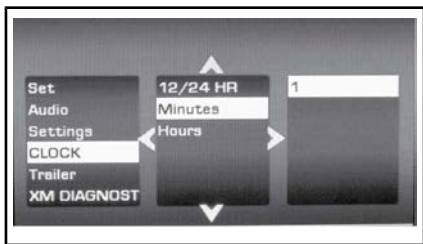


二次カテゴリでHOURS (時間) を選択します。

UPおよびDOWN矢印を使って単価を調整します。

分の値を設定する場合:

設定画面のメインカテゴリでCLOCK (時計) を選択します。

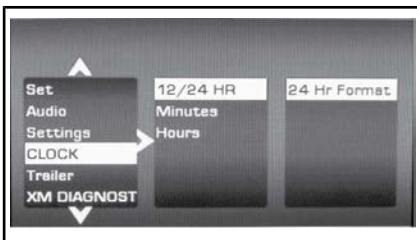


二次カテゴリでMINTUES (分) を選択します。

UPおよびDOWN矢印を使って単価を調整します。

### Hourモード (時間) の選択

12/24時間モードを選択するには:  
設定画面のメインカテゴリでCLOCK (時計) を選択します。



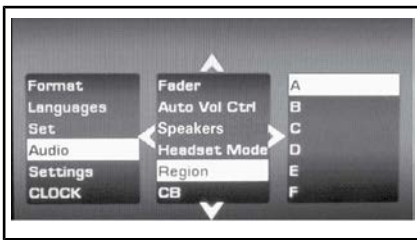
二次カテゴリで12/24HOURを選択します。

メインユニットまたは設定で適切な値を選択します。

### 地域 (オーディオ) の選択

地域を選択するには:

設定画面のメインカテゴリでオーディオを選択します。



二次カテゴリ REGION (地域) を選択します。

下表を参照して、メインユニットまたは設定で適切な地域を選択します。

注:下表にお住まいの国が表記されていない場合、同一の周波数範囲の地域を選びます。

変更を有効にするには、車両を再起動します。

| 地域 | 国                                                                                                                                                                                     | LW          | AM / MW           | FM                 |
|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-------------------|--------------------|
| A: | - 米国<br>- カナダ<br>- 南アフリカ                                                                                                                                                              | ---         | 520から1720<br>kHz  | 87.9から107.9<br>MHz |
| B  | - オーストリア<br>- ブルガリア<br>- デンマーク<br>- フランス<br>- アイスランド<br>- イスラエル<br>- クウェート<br>- ノルウェー<br>- ルーマニア<br>- スロバキア<br>- スロベニア<br>- スペイン<br>- スイス<br>- トルコ<br>- UAE<br>- UK/アイルランド<br>- ウクライナ | 153から279kHz | 531から1,602<br>kHz | 87.5から108<br>MHz   |
| C  | - ベネルクス<br>- ドイツ<br>- ギリシャ<br>- イタリア<br>- ポーランド<br>- プロトガル<br>- ロシア                                                                                                                   | 153から279kHz | 531から1,602<br>kHz | 87.5から108<br>MHz   |
| D  | - 日本                                                                                                                                                                                  | ---         | 522から1,629<br>kHz | 76.1から89.9<br>MHz  |
| E  | - オーストラリア<br>- 中国<br>- マレーシア<br>- ニュージーランド                                                                                                                                            | ---         | 531から1,701<br>kHz | 87.5から108<br>MHz   |
| F  | - 台湾                                                                                                                                                                                  | ---         | 531から1,701<br>kHz | 87.5から108<br>MHz   |

| 地域 | 国                                                                                                                                | LW  | AM / MW          | FM                 |
|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|------------------|--------------------|
| G  | - アルゼンチン<br>- ブラジル<br>- ケイマン<br>- チリ<br>- コロンビア<br>- コスタリカ<br>- キュラソー島<br>- ドミニカ共和国<br>- グアドループ<br>- メキシコ<br>- プエルトリコ<br>- ベネズエラ | --- | 520から1720<br>kHz | 87.9から107.9<br>MHz |

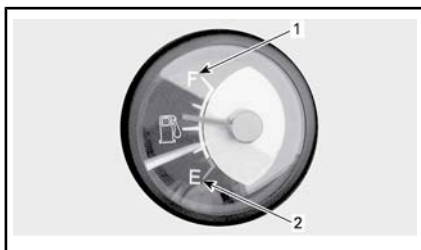
## アナログゲージ (オプションパッケージ)



1. 燃料レベルゲージ
2. エンジン・クーラント温度ゲージ

### 燃料レベルゲージ

ゲージ内の針は燃料タンク内の残量を常時表示します。

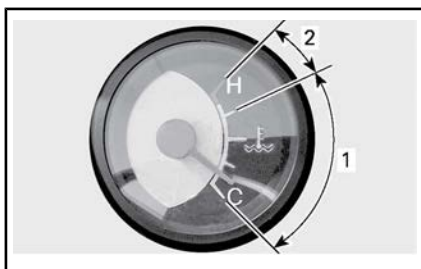


代表的な例 - 燃料レベル

1. 満タン
2. 空

### エンジン・クーラント温度ゲージ

ゲージ内の針はエンジン・クーラント温度を常に示します。すべての運転状況において、針はこの範囲に留まるべきです。



代表的な例 - クーラント温度

1. 通常操作範囲
2. オーバーヒート

# オーディオコントロール

## オーディオシステムの電源

オーディオシステムをONにするには、以下のいずれかのステップに従います。

- イグニッションスイッチをONにします
- イグニッションスイッチがOFFになった直後にMODEボタンを3秒間押します

オーディオシステムをOFFにするには、以下のいずれかのステップに従います。

- イグニッションスイッチをOFFにします
- イグニッション・スイッチがOFFの状態オーディオがONになっている場合、MODEボタンを10秒間押します

## オーディオ音量コントロール

デフォルト駆動スクリーンでUPまたはDOWNボタンを押すとオーディオの音量を上げ下げします。

注:個別のアナログ燃料レベルゲージがないモデルでは、燃料レベルメータの代わりに音量メータが数秒表示され、そして燃料レベルメータがまた表示されます。

## オーディオ音量の自己調整

オーディオの音量レベルは車両速度によって自動的に調整させることができます。これは設定画面の自動音量コントロール設定でコントロールします。

## オーディオのミュート(消音)

DOWNボタンを一秒以上押します。オーディオの音量はミュートになります。

ミュート状態でUPボタンを押すとオーディオの音量を最後の設定にリセットします。

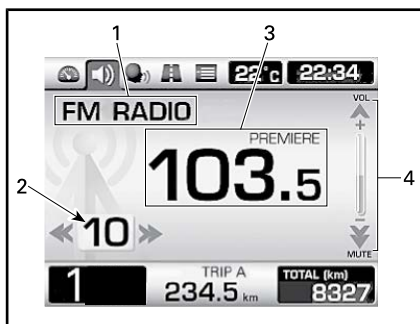
## ラジオ周波数域

オーディオスクリーンでSETボタンを続けて押すと次の順序で利用可

能なオーディオ機器を表示します。

- FM
- AM
- WX (NOAA気象ラジオ)
- AUX (iPodまたはMP3プレーヤー)
- XM

注:XMは搭載されている場合のみ表示されます。



代表例 - FMラジオ

1. 現在選択されているバンド
2. ラジオ局番号のプリセット
3. 現在のラジオ局
4. 音量レベル

走行中では次のラジオ機能が使えます。

- 音量
- ミュート、検索機能
- ラジオプリセット機能 (選択および記録)

注:これでラジオが常にONになります。音量をキャンセルするにはミュート機能を使います。

イグニッションスイッチがOFFの状態オーディオを聞く場合、スイッチがOFFにセットされた直後にMODEボタンを3秒間押し、デジタル表示をONにさせます。

注:バッテリーの充電を温存するために、ラジオは一定期間後に自動的にシャットオフします。

## ラジオ事前設定ステーションの選択

LEFT/RIGHTを押して、プリセット番号を上げ下げします。

次の利用可能なラジオ局をSEEK（検索）するには、LEFT/RIGHTボタンを一秒以上押し続けます。ラジオはその局のままとなります。

セットアップスクリーンに入るには、SETボタンを一秒以上押し続けます。

セットアップスクリーンでLEFT/RIGHTボタンを押し、ラジオ周波数を変えます。

## ラジオ事前設定ステーションの記録

最大で15局のプリセットを記録するには：

表示されているプリセット番号に実際の周波数を記録するには、DOWNボタンを押します。

注：走行中では、ラジオ局は次の利用可能なプリセット番号に自動的に記録されます。すべてのプリセット番号が使用済みの場合、15番目のプリセットが上書きされます。



代表的な例

1. 周波数を選択するにはLEFT/RIGHTボタンを押します
2. プリセット番号を選択するにはUPボタンを押します
3. ラジオ局を記録するにはDOWNボタンを押します

## AUX (補助)

オーディオ入力ジャックが上部のストレージ・コンパートメントにあります。

### LTDモデル

オーディオ入力ジャックにアクセスするには、上部のストレージ・コンパートメントのアクセス・フラップを開きます。



1. アクセス・フラップ

## すべてのモデル



1. オーディオインジャック

オーディオ機器をオーディオシステムで再生するには、このジャックに接続します。

注：車両のオーディオジャックにオーディオ機器を接続するには、アダプター（特定のモデルにはオプション）が必要です。

## MP3プレーヤー

車両オーディオコネクタにMP3プレーヤーを接続すると、接続時

に再生し始めます。この場合、音量コントロールしか利用できません。

## iPod

iPODが接続されている場合、AUXの代わりにiPODが表示されます。



通常例 - iPodスクリーン

現在のフォルダ内の曲を変えるには、LEFT/RIGHTボタンを押します。

プレイリストアイテムが選択されているときにプレイリストを変更する場合、アーティストアイテムが選択されているときにアーティストを変更する場合、およびアルバムアイテムが選択されているときにアルバムを変更する場合、LEFT/RIGHTボタンを1秒以上押し続けます。

走行中では次の機能が使えます。

- 音量およびミュート
- 前の曲または次の曲選択
- アーティスト、アルバムまたはプレイリストの選択

## 互換性のあるiPod機器

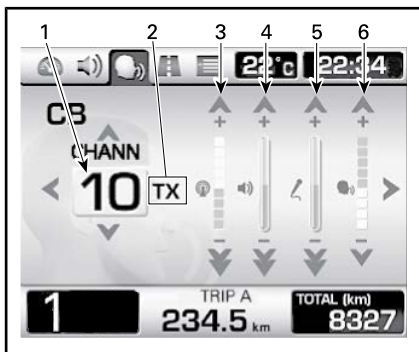
対応されている機器：

- iPod touch (第2, 第3および第4世代)
- iPod nano (第5および第6世代)
- iPad
- iPad 2
- iPhone 4
- iPhone 3GS
- iPhone 3G

## CBスクリーン(オプション)

このスクリーンはCBが取り付けられた時のみ利用可能です。

注:表示されているスクリーンに関係なく、PTT(プッシュ・トゥー・トーク) ボタンを押すとCBスクリーンが現れます。



代表的な例

1. 現在のチャンネル
2. CB通信状態: RX (受信)、TX (送信)およびOFF
3. スケルチ調整
4. CB音量調整
5. インターコム音量調整 (i-com)
6. 音声起動感度調整 (vox)

変更したい項目(チャンネル、スケルチ、CBの音量、インターコムの音量およびVOX検出)を変更するには、LEFT/RIGHTボタンを使用します。

値を設定するにはUP/DOWNボタンを押します。

アイテムを最小値に設定する場合、DOWNボタンを1秒以上押し続けます。



## GPS (オプションのパッケージ)

GPSの操作については、GPSの説明書を参照。

### 警告

GPSレーダーに気を取られると、車両の操縦への注意が疎かになる可能性があります。特に周囲を絶えず見回すことができなくなります。GPSレーダーを見る前に、まず周囲に障害物などがいないことを確認し、車両の速度を下げてください。さらに障害物などがいないか随時確認するようにしてください。

### 警告

GPSレーダーが提供する情報は、あくまでも参考にとどめるべきであることを忘れないでください。あなた自身の安全のために、決してその情報だけに頼らないようにしてください。

## GPSレーダーの取り付け

GPSのベースからカバープレートを取り外すには、プッシュボタンを押してリリースします。



1. ボタンを押す
2. カバープレート

GPSレーダーをベースに取り付けるには、GPSレーダーの下部をまず先にタブに挿入し、GPSレーダーをベースの上部に目掛けて傾けます。

ロックされるまで押し付けます。



1. ベース
2. タブ



1. GPS取り付け済み

## GPSレーダーの取り外し

プッシュボタンを押します。

GPSレーダーの上部を、ロックが解除されるまでベースからゆっくりと引っ張ります。

カバープレートをベースに再配置して、押し付けます。

レーダーにラバーブーツを取り付けてください。

**⚠注意** GPSが車両に取り付けられている場合を除いて、ラバーブースは常に取り付けられている必要があります。



1. カバーブース

# 装備

## ミラー

### ミラーの調整

ミラーの位置を四つの方向において調整するには、以下に表示されているミラーの箇所を押します。



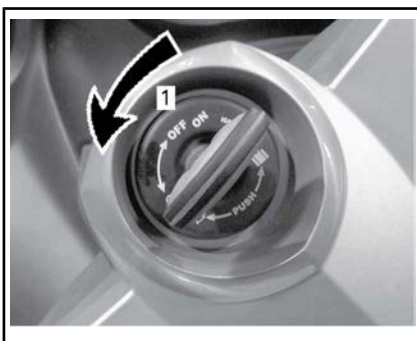
ミラー調整箇所

## グローブボックス

### ハンドルおよびグローブボックスのロック

ステアリング機構およびグローブボックスをロックするには：

1. キーをイグニッション・スイッチに挿入します。
2. ハンドルを右または左に完全に回転させます。
3. キーを左に1/4回回してステアリング・ロックの位置までもっていき、キーを取り外します。



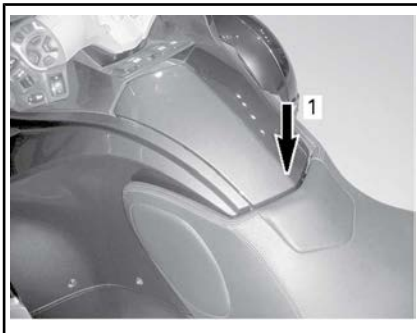
ハンドルをロックするためのキーの位置

1. キーを1/4回回す

## グローブボックスの開き方

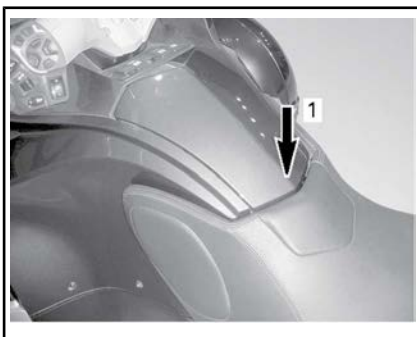
まず、グローブボックスを開けるためにステアリングがロックされていないことを確認します。

グローブボックスの下端を押してリリースします。



1. ここを押してリリースするカバーを開く。

次にカバーを閉めてグローブボックスの下端を押して掛け金をかけます。



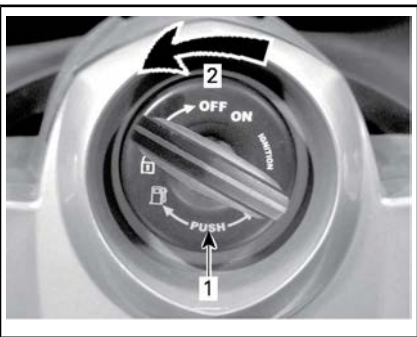
1. 掛け金をかけるにはここを押します  
使用後は必ずグローブボックスをロックしてください。

注:ステアリングをロックするとグローブボックスは自動的にロックされます。

## フロントストレージコンパートメント

### フロントストレージコンパートメントの開け方

1. キーをイグニッション・スイッチに挿入します。
2. キーを**押し**て左に1/4回回してフロント・ストレージ・コンパートメントの位置まで持っていき、カバーを持ち上げながらその位置を維持します。



フロント・ストレージ・コンパートメントを開けるキーの位置

1. キーを押す
2. キーを1/4回回す



開かれた状態

## シート

ドライバー席にはドライバー席の背もたれ（オプション）を取り付

けるための部品が搭載されていません。

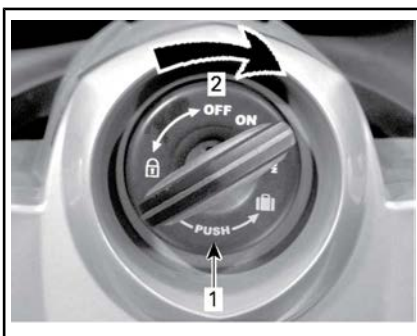


1. 背もたれアクセスカバー

注: 背もたれが取り付けられていない場合、アクセスカバーの五つのタブが適切に位置付けられていることを確保します。

### シートの開け方

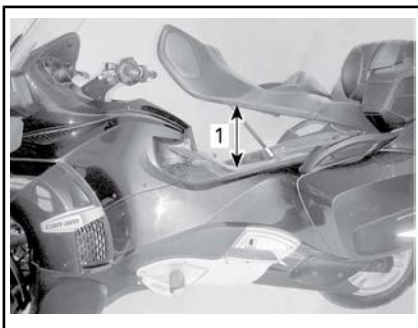
1. キーをイグニッション・スイッチに挿入します。
2. キーを押し**て**右に1/4回回してシート・オープン位置まで持っていき、シートを持ち上げながらその位置を維持します。



シートを開くためのキーの位置

1. キーを押す
2. キーを1/4回回す

**注記:** 壊れる可能性があるため、シートを最大開度以上開けようとしないでください。

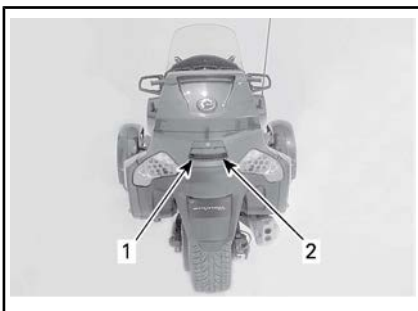


1. シートの最大開度

## ストレージ・コンパートメント

### サイド・ストレージ・コンパートメントの開き方

サイド・ストレージ・コンパートメントのラッチは車両の後部にあります。



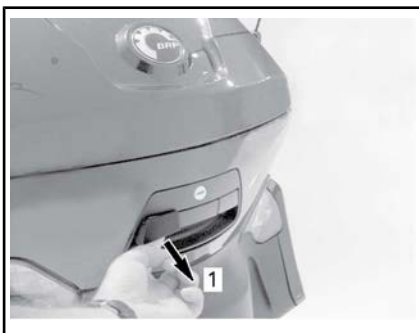
1. 左サイド・ストレージ・コンパートメントのラッチ
2. 右サイド・ストレージ・コンパートメントのラッチ

ロックされている場合、イグニッションキーを左に回してすべてのラッチを同時にアンロックします。



1. 左に回して開錠します

左サイド・ストレージ・コンパートメントのカバーを開けるには、左サイド・ラッチを引っ張り、右サイド・カバーを開けるには右サイド・ラッチを引っ張ります。



1. 左カバーの開け方

選んだストレージ・コンパートメント・カバーが開かれます。

注: 運転中に所有物などが動き回った可能性を考慮してください。カバーを開ける際に所有物を落さないように気をつけます。

使用後は必ずカバーがロックされているか確認してください。

使用後、必要に応じてロックをかけてください。キーを右に回します。



1. 右に回してロックします

**注記:** いかなるカバーが開いたまま車両を絶対に運転しないでください。

### サイド・ストレージ・コンパートメントの閉め方

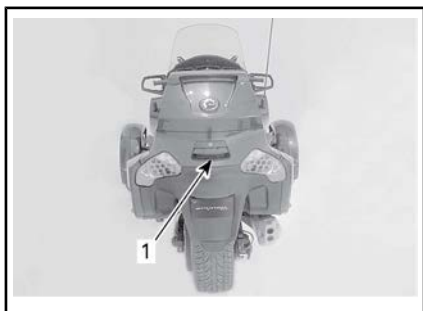
空気を逃がすためにサイド・ストレージ・コンパートメントカバーをゆっくり開けます。

カバーを閉鎖位置に持って行きます。

手をカバーの中央におき、押し込むとロックできます。

### 上部ストレージ・コンパートメントの開け方

上部ストレージ・コンパートメントのラッチは車両の後部にあります。



1. 上部ストレージ・コンパートメントのラッチ (掛け金)

ロックされている場合、イグニッションキーを左に回してすべてのラッチを同時にアンロックします。



1. 左に回して開錠します

ラッチを引っ張ります。



1. 上部カバーの開け方

ストレージコンパートメントカバーを開けます。

使用後は必ずカバーがロックされているか確認してください。

使用後、必要に応じてロックをかけてください。キーを右に回します。



1. 右に回してロックします

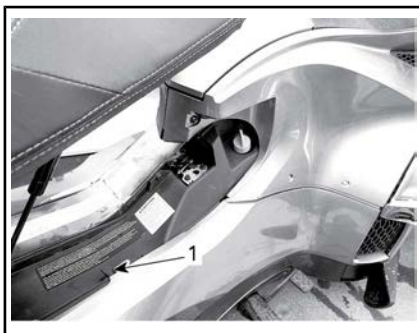
**注記:** カバーが開いたまま車両を絶対に運転しないでください。

## ヘルメット

### ヘルメットの固定の仕方

ヘルメットを固定するためにシート下に二つのヘルメット・フックがあります。

シートを開きます。

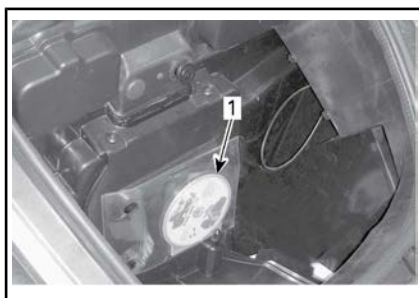


#### 1. 右ヘルメット・フック

ヘルメットのストラップ・バックルをフックに固定します。

ヘルメットを車両のサイドパネルにゆっくり置きます。

慎重にシートおよびラッチを閉じます。



代表的な例

#### 1. オペレーターズガイド

## 車載工具

### 車載工具の位置

車載工具は、シートの下にあります。

車載工具には、本オペレーターズガイドに記載されている基本メンテナンスに必要な工具が含まれています。

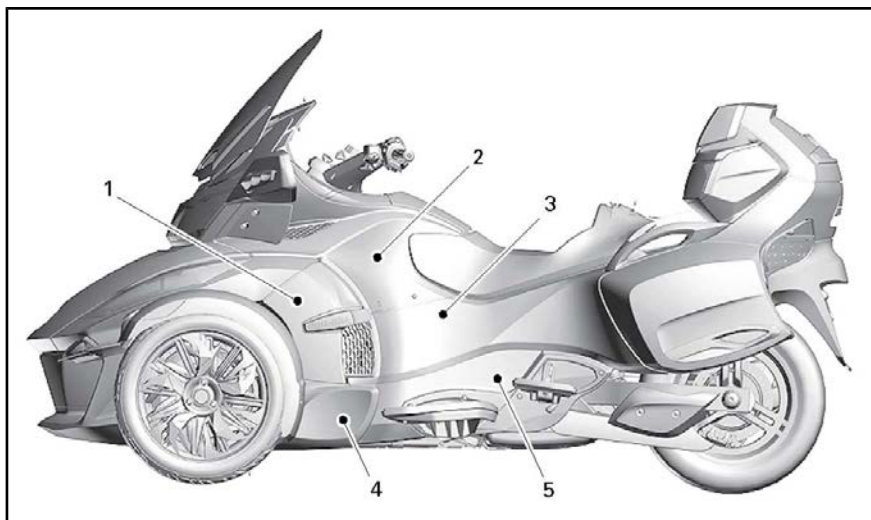
### オペレーターズガイド

オペレーターズガイドは安全に関する DVDと共にフロント・ストレージ・コンパートメントの中に保管されています。



## ボディパネル

メンテナンスのために車両のボディパネルを取り外すことができます。

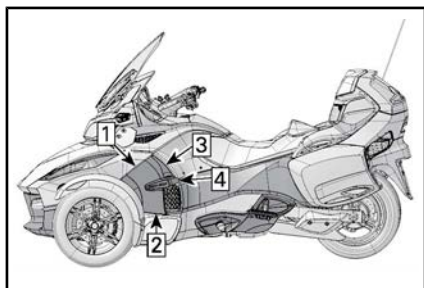


### 左サイドパネル

1. サイドパネル
2. 上部サイドパネル
3. リアサイドパネル
4. 下部フロントサイドパネル
5. 下部リアサイドパネル

## サイドパネル

### 取り外し

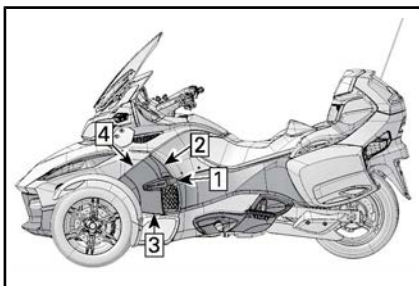


### 取り外し手順

1. パネル上部の前部をグロメットから引き外します。
2. パネル底部の前部をグロメットから引き外します。
3. パネル上部の後部を外します。
4. パネルの後部をグロメットから引き外します。



## 取り付け



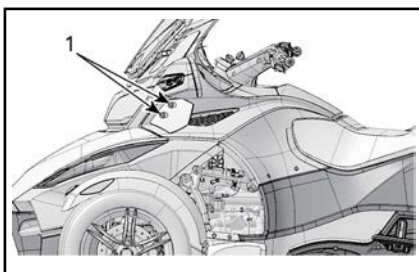
### 取り付け手順

取り外し順序の逆の順序でサイドパネルを再度取り付けます。

### 上部サイドパネル

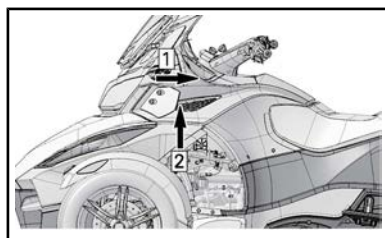
#### 取り外し

1. シートを開きます。
2. フロントストレージコンパートメントを開けます。
3. サイドパネルを取り外します。
4. 下部ウィンドディフレクターから留めネジを外します。



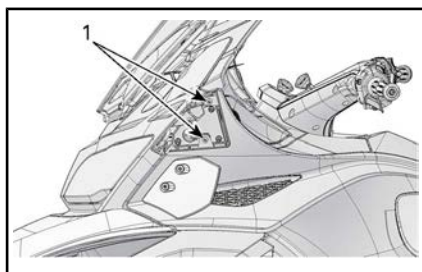
1. ウィンドディフレクターの留めネジ

5. ミラーを取り外す:
  - 5.1 車両の後部方向に目掛けてミラーの前面上部をしっかりと押しします。
  - 5.2 ミラーの最外部をしっかりと押し上げます。



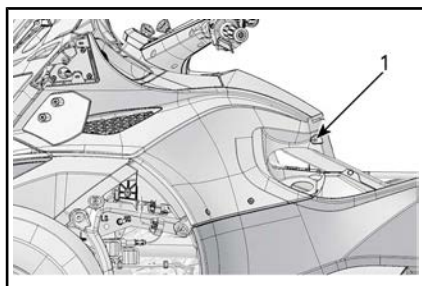
1. 後部方向に目掛けて押しします
2. 押し上げる

6. 上部サイドパネルから上部留めネジを外します。



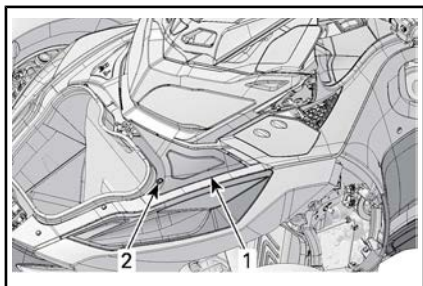
1. 上部留めネジ

7. 上部サイドパネルから後部留めネジを外します。

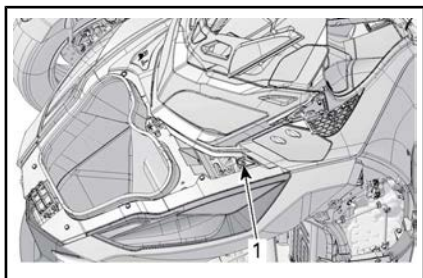


1. 後部留めネジ

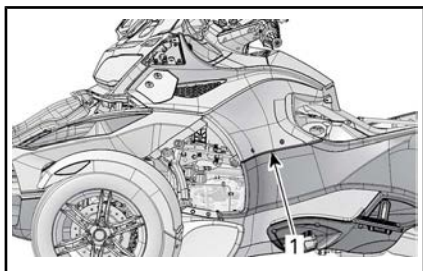
8. プラスチックリベットを取り外して左サービスカバーを取り外します。



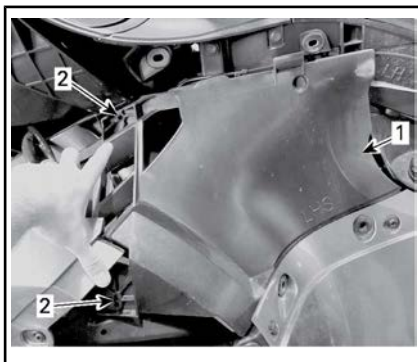
1. 左サービスカバー
2. プラスチックリベット
9. 上部サイドパネルからフロント留めネジを外します。



1. フロント留めネジ
10. 上部パネルの下部の留めネジを取り外します。
11. 上部サイドパネルを持ち上げて取り外します。



1. 上部サイドパネル
12. 遮音パネルから2つのネジを外します。



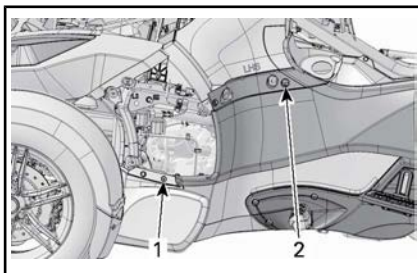
1. 遮音パネル
  2. スクリュー
  13. 遮音パネルを取り外します。
- 注: 上部サイドパネルには、取り外すことができない二つのビジュアル用ネジがあります。

**取り付け**  
取り外しの逆の順序で上部サイドパネルを再度取り付けます。

### リア・サイド・パネル

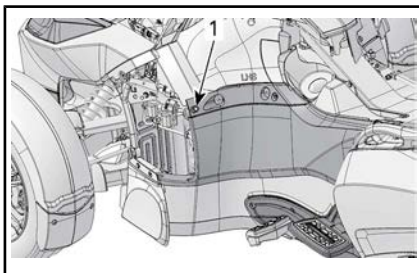
**取り外し**

1. サイドパネルを取り外します。
2. 上部サイドパネルを取り外します。
3. リアサイドパネルからフロント留めネジを外します。
4. リアサイドパネルから上部留めネジおよびワッシャを取り外します。

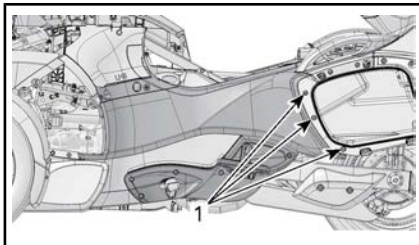


1. フロント留めネジ
2. 上部留めネジ

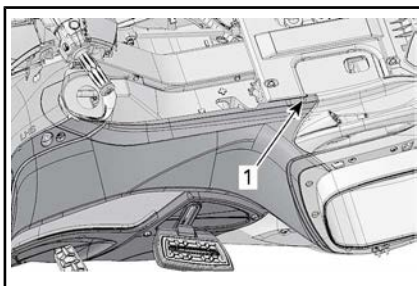
5. リアサイドパネルからフロントプラスチックリベットを取り外します。



1. フロントプラスチックリベット
6. サイドストレージコンパートメントカバーを開けます。
7. リアサイドパネルからリア留めネジを外します。



1. リア留めネジ
8. リア・サイドパネルから上部留めネジを外します。



1. 上部留めネジ
9. 車両からリア・サイドパネルを取り外します。

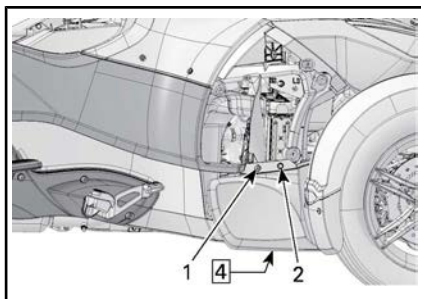
### 取り付け

取り外しの逆の順序でリア・サイドパネルを再度取り付けます。

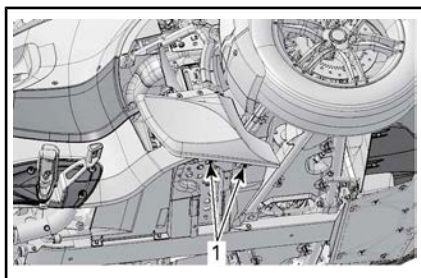
## 下部フロントサイドパネル

### 取り外し

1. サイドパネルを取り外します。
2. パネルから上部留めネジを外します。
3. パネルから上部プラスチックリベットを外します。



1. 上部留めネジ
2. 上部プラスチックリベット
4. 2つの底部プラスチックリベットをパネルから取り外します。



1. プラスチックリベット
5. 車両から下部フロントサイドパネルを取り外します。

### 取り付け

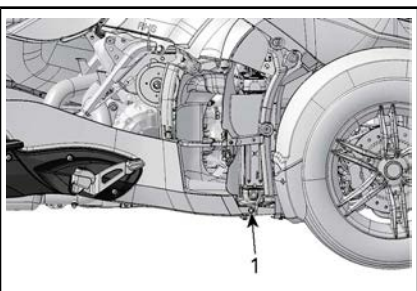
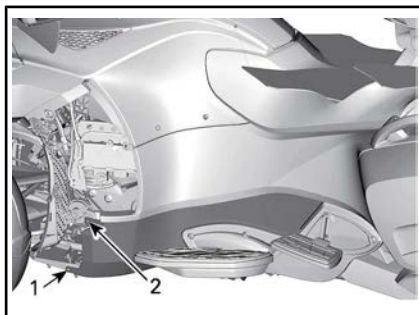
取り外しの逆の順序で下部フロントサイドパネルを再度取り付けます。

## 下部リアサイドパネル

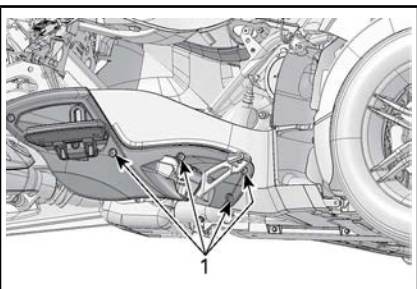
### 右下リア・サイドパネルの取り外し方

1. 中央サイドパネルを取り外します。

2. 上部サイドパネルを取り外します。
3. 右サイドパネルを取り外します。
4. 下部フロントサイドパネルを取り外します。
5. 右下リア・サイドパネルから留めボルトおよびナットを外します。



1. フロント留めナット
6. 右下リアサイドパネルから留めネジを外します。



1. 留めネジ
7. 車両から右下リアサイドパネルを取り外します。

#### 左下リアサイドパネルの取り外し

1. 中央サイドパネルを取り外します。
2. 上部サイドパネルを取り外します。
3. 左サイドパネルを取り外します。
4. 下部フロントサイドパネルを取り外します。
5. 左下リアサイドパネルから下部の留めネジを外します。

1. 下部の留めネジ
2. 上部留めネジ

6. 上部留めネジを緩めます。

注: 上部留めネジは下部パネルにつながったままにしておきます。

7. 下部リアサイドパネルブラケットから解除するために、パネルを前方に引っ張って車両から取り外します。

注: パネルの後部はブラケットおよびアルミ製サポートの間に挿入されます。

#### 取り付け

取り外しの逆の順序で下部リア・サイドパネルを再度取り付けます。

## 基本手順

### 同乗者用フットレストの調整の仕方

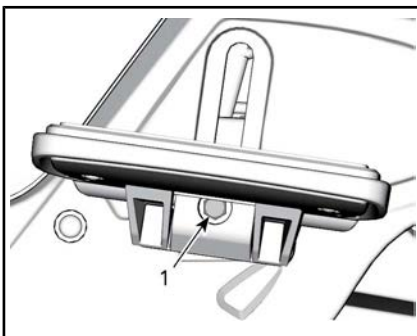
同乗者の快適さを保つために高さを調整することができます。

フットレストを上を持ち上げます。

ネジを緩めるためにレンチ（車載工具）で留めネジを左に回します。

注:フットレストを調整するために留めネジを完全に外さないでください。フットレストがスロットから外れるまでネジを緩めます。

お望みの高さにフットレストを調整します。



#### 1. 留めネジ

次に、留めネジを時計回りに締め付けます。

フットレストを下に戻します。

### エンジンの始動および停止

#### エンジンを始動させます



排気ガスには、密閉された場所または換気の悪いエリアで迅速に充満する有毒な一酸化炭素が含まれています。もし吸い込むと、重傷または死を招きかねません。

密封されていない場所、または換気の良い場所でのみエンジンを始動してください。一酸化炭素中毒の回避を参照。

#### SM6モデル

1. ブレーキペダルを踏み込み続けます。
2. キーをONに回します。

**注記:** 電気システムが初期化されている際はスロットルを外さないでください。

3. ドライバー自身、同乗者および車両の準備を整えるために安全カードをよく読み、MODEボタンを押してエンジンの始動準備をします。
4. エンジン・ストップ・スイッチをRUN/ONの位置にセットします。
5. クラッチレバーをにぎったままにします。
6. ニュートラルへのシフト。ニュートラルに入っているか確認するために多機能ゲージを確認します。
7. エンジンが始動するまでエンジン・スタート・ボタンを押し続けます。スタート・ボタンは15秒以上押し続けしないでください。始動しない場合、スターターをクールダウンさせるために30秒待ってから再度お試しください。

**注記:** エンジンの始動中にスロットルを外さないでください。

8. 問題がないか表示を確認し、オイルライトが消えているか確認します。
9. パーキングブレーキをかけます。多機能ゲージのブレーキ・インジケーター・ランプが消えていることを確認します。

#### SE6モデル

注: SE6モデルはブレーキペダルを踏んだままのギアからでも始動可能です。トランスミッションはエンジンが始動された時に自動的にニュートラルにシフトします。

1. ブレーキペダルを踏み込み続けます。



2. キーをONに回します。

**注記:** 電気システムが初期化されている際はスロットルを外さないでください。

3. ドライバー自身、同乗者および車両の準備を整えるために安全カードをよく読み、MODEボタンを押してエンジンの始動準備をします。

4. エンジン・ストップ・スイッチをRUN/ONの位置にセットします。

5. エンジンが始動するまでエンジン・スタート・ボタンを押し続けます。スタート・ボタンは15秒以上押し続けなくてください。始動しない場合、スターターをクールダウンさせるために30秒待ってから再度お試しください。

**注記:** エンジンの始動中にスロットルを外さないでください。

6. 問題がないか表示を確認し、オイルライトが消えているか確認します。

7. パーキングブレーキをかけます。多機能ゲージのブレーキ・インジケーター・ランプが消えていることを確認します。

## エンジンの停止方法

### SM6モデル

1. 第一ギアにシフトします。
2. エンジン・ストップ・スイッチをOFFにします。
3. パーキングブレーキをかけます。ブレーキ・インジケーター・ランプが点滅します。
4. キーをOFFになるまで回します。
5. 鍵を抜く前に、パーキングブレーキが完全に作動していることを確認します。クラッチをにぎったまま車両を前後に揺すります。

## 警告

必ずパーキングブレーキをかけます。パーキングブレーキがかかっておらず、トランスミッションがニュートラルに入っている場合、車両が勝手に動いてしまうことがあります。

### SE6モデル

1. ニュートラルにシフトします。
2. エンジン・ストップ・スイッチをOFFにします。
3. パーキングブレーキをかけます。ブレーキ・インジケーター・ランプが点滅します。
4. キーをOFFになるまで回します。

注: キーがOFFの状態でもパーキングブレーキがかかっていない場合、パーキングブレーキ・インジケーター・ランプが点滅し、ブザーがなります。

5. 鍵を抜く前に、パーキングブレーキが完全に作動していることを確認します。車両を前後に揺すります。

## 警告

必ずパーキングブレーキをかけます。車両はどのギアに入っているかに関係なく、パーキングブレーキがかかっていないと勝手に動くことがあります。停車状態ではクラッチは必ず解除されているので、トランスミッションだけでは車両の位置をそのまま固定することはできません。

### すべてのモデル

この車両にはETC (Electronic Throttle Control、「電子スロットル制御」)が搭載されています。

### 車両を手動で押す方法

注: 車両を押す前に、イグニッションキーがONの位置に入っているか確認します。

**⚠️注意** 斜面で車両を手動で動かすのは避けましょう。斜面で車両を手動で動かさなければならない場合、車両が転がり始めてしまったシナリオを想定してブレーキペダルの身近(車両の右側)で歩いてください。

エンジンを始動せずに車両を近距離動かす場合：

1. 車両に乗ったまま、ブレーキペダルを踏み続けます。
2. トランスミッションをニュートラルにシフトします(SM6モデル)。
3. パーキングブレーキを外します。
4. 車両の右側に体を置き、片足をブレーキペダルに残しておきます。
5. 必要に応じてブレーキを使いながら車両を前に押します。

**⚠️注意** ブレーキペダルがいつでも踏めるように、右側からしか押さないこと。熱いエキゾーストパイプには近づかないこと。車両を後方に引っ張る場合、前輪で足を轆いてしまわないように気を付けてください。

6. 車両の体勢を整え、上記のように停車させます。

## リバースでの運転

リバースでの安全な運転については、[安全上の取扱説明書](#)のセクションを参照。

## リバースへのシフト方法(SM6モデル)

1. エンジンが起動したまま、第一ギアにシフトします。
2. クラッチレバーを握ります。
3. リバースボタンを押し続けます。
4. ストローカー回分、シフトレバーを踏みます。
5. リバースボタンをリリースし、多機能ゲージに「R」が点滅

し、バックアップ・ライトがONになっていることを確認します。

## リバースへのシフト方法(SE6モデル)

1. エンジンが起動し、Spyder Roadsterを停車し、ブレーキを踏んだまま、第一ギアまたはニュートラルにシフトします。
2. リバースボタンを押し続けます。
3. リバースにシフトダウンするためにギアシフト・セレクターを手前に引きます。

## リバースでの運転

自分の後ろのエリアに何もなかったことを確認し、後ろを向いたままリバースします。低速度で運転し、長距離を走るのにリバースを使わないでください。

## リバースからシフトアウトする方法

### SM6モデル

リバースからシフトアウトするには、クラッチを踏んでシフトレバーを一回持ち上げ、第一ギアにシフトさせます。自動的にリセットするため、リバースボタンを使用する必要はありません。

### SE6モデル

リバースからシフトアウトするために、停車し、シフトアップ・セレクターを素早く押すとニュートラルにシフト、そしてより長く押すと第一ギアにシフトします。

注: リバースから第一ギアに入れるには、ブレーキを踏んでシフトアップします。

## 慣らし運転中の運転

この車両には1,000 kmの慣らし運転期間が必要です。

最初の300 kmでは、ブレーキを強く踏むことは避けてください。

## ⚠ 警告

新しいブレーキおよびタイヤは、慣らし運転が完了しないと最大効率で作動しません。ブレーキ、ステアリングおよびVSSの効率が低減される場合があるため、注意を余分に払ってください。ブレーキおよびタイヤを慣らすには、頻繁にブレーキおよびステアリングを使用して約 300 kmの走行が必要です。ブレーキおよびステアリングをそれほど使わない場合、ブレーキおよびタイヤの慣らし時間を多めに見積もってください。

最初の1,000 kmでは：

- スロットル全開での加速は避けてください。
- 長時間の走行は避けてください。
- のろのろ運転の際に冷却ファンが常に作動している場合、路肩に寄せてエンジンをシャットオフしてエンジンをクールダウンさせるか、速度を上げて風でエンジンをクールオフさせてください。

最初の5,000 kmを超えたら、車両をメンテナンススケジュールのサブセクションに従って点検しなければなりません。

## 燃料

### 燃料に関する要件

**注記:** 新しいガソリンを必ず使用します。ガソリンは放っておくと酸化します。酸化すると、オクタン、揮発性化合物の損失、およびガムおよびワニスの蓄積が起これ、燃料システムを損傷しかねません。

アルコールとの燃料の混合は国および地域によって異なります。ご使用されている車両は推奨される燃料を使用するために設計されていますが、次のことに注意してください。

- 政府の規制によって定められているアルコール割合を超えるアルコールを含む燃料を使用することは推奨されておらず、もし使用した場合、次のような燃料システムコンポーネントの問題が発生しかねません。
  - 始動および操作時の困難
  - ゴムまたはプラスチック部品の老化
  - 金属部品の腐食
  - 内部エンジン部品への損傷
- ガソリンのアルコール度が政府の現在の規制を超えていると疑った場合、燃料漏れまたはその他の燃料システムの異常がないか常に点検してください。
- アルコールが混合された燃料は水分を多く含む車があり、燃料の相分離につながる恐れがあり、エンジンの性能上の問題またはエンジンの損傷を引き起こす可能性があります。

### 推奨燃料

オクタン価が 91 の AKI (RON+MON)/2、またはオクタン価が91のRONを含んだプレミアム無鉛ガソリンを使用してください。

**注記:** 他の燃料を試したりしないこと。不適當な燃料を使用すると、エンジンまたは燃料システムの損傷を招きかねません。

**注記:** E85のラベルの燃料ポンプからの燃料は絶対に使用しないでください。

E15のラベルの燃料の使用は、U.S. EPA (米国環境保護庁) の規制により禁止されています。

### 燃料補給の手順

## ⚠ 警告

ガソリンは可燃性が高く、非常に爆発性があります。火または爆発のリスクを下げるために燃料補給の手順に従ってください。ガソリンにより火事や他の危険の回避を参照。

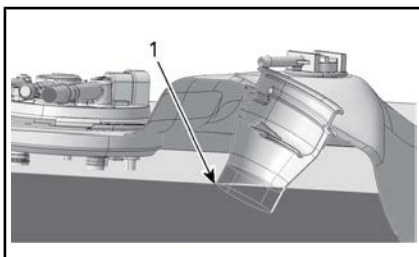


車両に燃料補給するには：

1. 燃料の補給は、炎、火の粉、煙草を吸っている人やその他の点火の原因から離れ、よく換気された屋外に停車して行ってください。
2. エンジンを停止させてください。
3. シートのロックを外して持ち上げます(機器のサブセクションを参照)。燃料キャップは左側にあります。



1. 燃料キャップ
4. キャップをゆっくり左に回し、取り外します。
5. 燃料レベルがフィルターチューブの高い方の点に達するまでタンクに給油します。



1. フィラーチューブの高い方の点

注:燃料タンクにぎりぎりまでガソリンを入れしないでください。温度の変化で燃料が膨張する場合がありますので、燃料タンクに若干の余裕を残してください。

6. こぼれた燃料は必ず拭き取ってください。燃料が体にかかった場合は、石鹸と水で洗い、衣服を着替えてください。
7. 燃料キャップをかぶせ、カチッと音がするまで時計回りに完全に締め付けます。決して、燃料キャップが外れたまま始動や運転をしないでください。
8. シートを閉じます。

## サスペンションの調整

### ACSリア・サスペンションの調整 (手動調整もあり)

一般的な操作においては、リアサスペンションは加圧されています。車両の荷重が変化(同乗者が乗ったり、積荷を増やしたりなど)またはよりソフトまたはハードな設定がお望みであれば、リア・サスペンションの圧力をお好みに合わせて調整することができます。

サスペンションの圧力は空気ばねを収縮または膨張させることで調整可能です。エアコンプレッサー(ガススタンドで使用可能)および圧力ゲージを使います。

サスペンションを和らげる場合、空気圧を下げ、サスペンションを固めにする場合、空気圧を上げます。

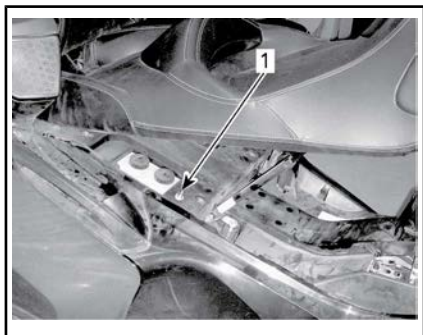
注:次のチャートはただのガイドラインとして参照してください。最大許容圧力を超えない限り、お好みに合わせて圧力を調整することができます。

**注記:** 最大許容圧力を超えないこと。これはエアサスペンションを損傷しかねません。

| 警告                                                           |         |         |         |         |         |         |
|--------------------------------------------------------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 最低圧力 70 kPa / 10 Psi<br>推奨圧力 70 kPa / 10 Psi を超えないようにしてください。 |         |         |         |         |         |         |
| 積載 (パッセンジャー + カーゴ) Kg / Lb 704204300                         |         |         |         |         |         |         |
| 積載                                                           | 0       | 45/100  | 70/150  | 90/200  | 115/250 |         |
|                                                              | Kg/Lb   | kPa/Psi | kPa/Psi | kPa/Psi | kPa/Psi | kPa/Psi |
| トイラー                                                         | 70/150  | 310/45  | 380/55  | 450/65  | 480/70  | 515/75  |
|                                                              | 90/200  | 345/50  | 415/60  | 480/70  | 515/75  | 550/80  |
|                                                              | 115/250 | 380/55  | 450/65  | 515/75  | 550/80  | 585/85  |
|                                                              |         |         |         |         |         |         |

注: 圧力を調整する際は、自分の体重を車両にかけず、積荷をストレージコンパートメントに乗せないこと。

空気ばねはシート下にある、シュレーター・バルブ付きのエアホースに直接つながっています。



#### 1. シュレーターバルブ

空気圧を変更するには、タイヤ圧の変更と同じやり方で行います。

完了後、キャップをバルブに再度取り付けるのを忘れないようにしてください。

### ACSリア・サスペンションの調整 (リモート調整)

#### 調整ガイドライン

リア・サスペンションは一般的な走行に対して調整されており、道路状況が変わったり、車両の荷重が変化した場合（同乗者や積荷が増えたりなど）などにおいて、この設定を保つために統合化コンプレッサーにより自動的に調整されます。

注: エンジンが起動中に圧力が解放されたり、空気コンプレッサーが動いている音が聞こえるのは普通です。これはサスペンションが自動調整していることを意味しません。

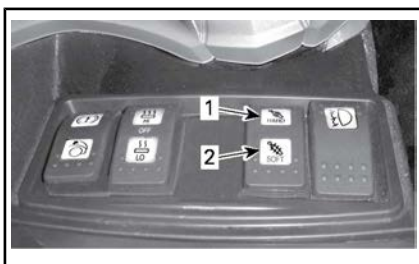
もし運転手が出荷時設定より柔らかい、または固い設定を望む場合、スイッチクラスターのACSスイッチを押してリア・サスペンションを調整することができます。ACS設定を変えることで、空気ばねの空気圧が変化され、カスタマイズされたサスペンションをお楽しみいただけます。

次のサスペンション設定が利用可能です。

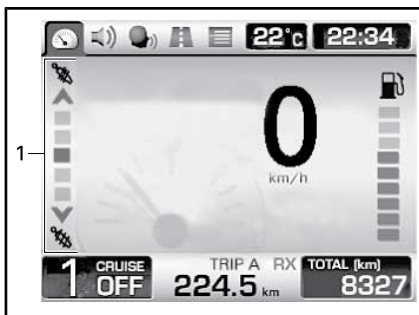
| ACSサスペンション設定      |              |
|-------------------|--------------|
| B多機能ゲージで表示される棒グラフ | ライディング・ポジション |
| 1 (上部)            | 一番低い         |
| 2                 | 低い           |
| 3                 | 中央           |
| 4                 | 高い           |
| 5 (下部)            | 一番高い         |

### サスペンションの調整 (走行中)

1. ACSスイッチを一回押します (UPまたはDOWNのいずれか)。デジタル表示はサスペンション調整モードに入ります。



1. 堅くするにはここを押します
2. 柔らかくするにはここを押します



通常例 - サスペンション調整モード

1. サスペンション設定
2. ハイライトされたインジケータは実際の設定を意味します。



代表的な例

1. 実際の設定
3. UPまたはDOWNのスイッチを押すと、ハイライトされたインジケータを一段ずつ動かします。スイッチを放すと数秒後にセットされた設定を維持します。

## サスペンションの調整

(停車の場合)

サスペンションの調整 (走行中)と同じ手順を踏んでください。

しかし、以下の条件を満たす必要があります。

- エンジン起動状態
- ブレーキがかかっている
- パーキングブレーキがリリースされている
- ギアボックスがニュートラルに入っていない

## 12Vの電源出力の使用

12Vの電源出力が車両についています。上部ストレージ・コンパートメントにそなえ付けてあります。

### LTDモデル

12Vの電源出力にアクセスするには、上部のストレージ・コンパートメントのアクセス・フラップを開きます。



1. アクセス・フラップ

## すべてのモデル



### 1. 電源出力

ジャック・コネクタには、12Vの電気器具が接続可能です。電流は常に流れています。

**注記:** 12Vの電源出力は3アンペア以上の電流を供給するためにデザインされていません。

注: エンジンが起動されていない状態で器具を接続させておくとバッテリーがやがて放電します。

注: 右ヒューズボックスにヒューズ6を取り付けた場合、12Vの電源出力はイグニッション・スイッチがONの状態では操作可能になりません。ヒューズ7を取り付けると、12Vの電源出力は常に使用可能となります。

## オーディオ-インジャックの使用

オーディオ入力ジャックが上部のストレージ・コンパートメントにあります。



### 1. オーディオ-インジャック

このジャックには、CDプレーヤー、iPodのモバイル・デジタル機器、またはMP3プレーヤーなどのオーディオ・プレーヤーを接続することができ、オーディオシステムを通して音楽を再生することができます。iPodのモバイル・デジタル機器はRECCによって部分的にコントロールすることができます。

注: 車両のオーディオジャックにオーディオプレーヤーを接続するには、アダプター（特定のモデルにはオプション）が必要です。

# 安全上の取扱説明書

# SPYDER ROADSTERのユニークな特長

Spyder Roadsterは特殊なタイプの車両です。このセクションでは、車両の特殊な特長および動作特性が説明されています。

## 安定性

車輪が3つある“Y”形状はモーターサイクルより低速度でのより優れた安定感が楽しめます。しかし、自動車などの車輪が4つある車両よりは安定ではありません。電気車両安定システム (VSS) などの駆動支援技術は操作中の安定性を保つ補助をしますが、極端な運転の仕方（高速度で急にターンしたりなど）またはどこぼこ面や物に当たってしまうなどとして、車両がコントロールを失い、転倒または転がってしまう可能性があります。さらに、急なターン、加速、ブレーキまたはインパクトにより、運転手または同乗者が転げ落ちてしまう恐れがあります。

## 道路状態に対する反応

Spyder Roadsterは特定の道路状況に対して他の車両とは違う反応を見せます。

- オフロード、氷または雪の中で走行しないでください。
- 水たまりと流水を避けてください。車両は車より簡単にハイドロプレーンします。水たまりがある道路で運転しなければならない場合は、減速してください。
- 砂利、泥および砂で覆われた道路では速度を落としてください。

詳細な指示は、**道路上の注意事項**のサブセクションを参照してください。

## ブレーキペダル

ペダル一つで三つの車輪すべてにブレーキをかけることができます。手動ブレーキがなく、前輪および後輪に別々にブレーキをかける方法はありません。Spyder Roadsterではモーターサイクルより簡単にブレーキおよびステアリ

ングを同時に行うことができます。車両は急に停止状態まで速度が落ちかねません - 同じ速さで減速できない車が後ろにいないか必ず注意を払ってください。

## アンチロック・ブレーキシステム (ABS)

車両には車両安定システム (VSS) の一環としてアンチロック・ブレーキシステム (ABS) が搭載されています。より素早い急ブレーキをかけるには、ブレーキペダルを踏み続けます。ABSは車輪がロックするのを防ぎます。

## パーキングブレーキ

パーキングブレーキは機械的に後輪だけにブレーキをかけ、作動するとロックした状態になります。これは駆動支援技術 (ABS, 電子制動力配分コントロールなど) によってコントロールされていません。

## ステアリング

### ダイレクト・ステアリング

Spyder Roadsterのステアリングでは、曲がる方向に必ずハンドルを切ってください。

モーターサイクル運転者—カウンター・ステアはモーターサイクルで行うテクニックのため、この車両ではしないでください。モーターサイクルとは違って、Spyder Roadsterはターン中に傾くことができます。モーターサイクル運転者であれば、ターンの仕方を学び直す必要があります。慣れるまですべての速度でターンの方向にハンドルを切る練習をしてください。

### ターン時の遠心力

モーターサイクルとは違って、Spyder Roadsterはターン中に傾くことができません。ターン時に遠心力によって体が車両外に向かつて引っ張られていくのが感じ取れます。バランスを保つには、運転

手および同乗者は両手でバランスを取り、両足をフットレストにしっかり乗せておく必要があります。急なターンでは、上体を前に突き出し、重心をターンの内側に置くことターンしやすいです。

## 幅

Spyder Roadsterは通常のモーターサイクルより幅が広いため：

- ターン時は前輪を自分のレーン内からはみ出ないようにします。カーブや他の車両を抜く際に前輪の位置に特に注目します。モーターサイクルの前輪がレーン端に近くなるような道筋を通ると、Spyder Roadsterの前輪はレーンからはみ出ている可能性があります。
- レーンを共用したり複数のレーンを同時に使用したりしないこと。モーターサイクル同士でも、グループでの走行は単縦列で行ってください。
- 障害物を避けるためにより長く脱線する必要があることを考慮してください。

## リバース（後退）



Spyder Roadsterは自動車のようなリバースが可能です。しかし、以下の重要な違いがあります。

- バックアップライトは車両がリバースに入っている時にONになります。他のモーターサイクル者があなたがバックアップを試みていることに気づかない可能性があることを考慮してください。
- 必要であれば、視認性を改善するために同乗者に一旦降りてもらいます。

- 前部は後部より幅広いことをお忘れなく。障害物にあまり近くバックアップしてしまうと、前輪が当たってしまうことがあります。
- 低速度で運転し、長距離を走するのにリバースを使わないこと。
- もし可能であれば、パーキングスペースからバックアウトする必要がないように停車してください。
- SM6モデル:エンジンをシャットオフする前に第一ギアにバックシフトします。

**⚠️注意** リバースで運転している最中は必ず両足をペグに置きます。バックアップ中は決して足を地面に置かないこと。

## 運転免許書および現地の法律

Spyder Roadsterの操作に必要な運転免許書の要件は地域によって異なります。現地の法律によっては、モーターサイクルの運転許可書、3輪車両の運転許可書、または標準の自動車運転免許書だけを必要とする場合があります。

車両を公道で運転する前に、適切な免許を持っているか地方自治体にお問い合わせください。

# 駆動支援技術

## 車両安定システム (VSS)

Spyder Roadsterには車両安定システム (VSS) が搭載されています。VSSは車両の方向をコントロールし、特定の状況において転倒またはスピンのおよびリスクを減少させます。VSSは次のコンポーネントから成ります。

- **アンチロック・ブレーキングシステム (ABS):** 急ブレーキ時に車両がロックされるのを防ぐことでステアリングのコントロールの維持を補助します。
- **電子制動力配分コントロール (EBD)システム:** 3つの車輪のすべてのブレーキにおけるバランスを自動的に調整します。ABSによって、EBDは方向制御を補助し、その時点での牽引力によってブレーキ力を最大限に活かします。
- **駆動伝達・コントロール・システム (TCS):** 激しいスロットルにより後輪が滑ってしまうことを防ぐ補助をします。TCSは、ハンドルを切った場合 (直線から外れて走行する) または車両の速度が50 km/hを超えた場合、後輪のスピンを制限します。スロットルを放すと (減速)、TCSは後輪がロックされてしまうのを防ぎます。
- **安定コントロールシステム (SCS)**は後輪の動力を制限し、個々の車輪にブレーキをかけるように設計されており、車両のコントロールを失ったり、転倒を防ぎます。

注: ゲージに表示されるVSSライトは、VSSが介入するとONになり、VSS介入から2秒間ONになり続けます。

### 制限

VSSはすべての状況においてコントロールを維持することはできません。

### 駆動伝達が悪い道路面

道路面でのタイヤのグリップは最大制動効率を制限します。ABSおよびEBDを利用して、駆動伝達の悪い道路面で運転したり、またはタイヤの空気圧およびトレッドの状態に気を配っていないと、停止距離は長くなります。

道路面でタイヤが駆動伝達を失ってしまうと、VSSを用いても車両のコントロールを失いかねません。

舗装路面の一部でも氷、雪または泥に覆われている場合、VSSを用いても車両のコントロールを維持できる駆動伝達はありません。雪、氷または泥がある道路では運転しないでください。

他のオンロード車両と同様に、この車両は水上ではハイドロプレーンします (水に覆われた道路面で駆動伝達を失ってしまう)。道路上の大きな水たまりや水の流れなど、水たまりに向かって早く走行しすぎると、車両を駆動伝達を失いスピンアウトしてしまい、VSSを用いてもコントロールを維持することはできません。大きな水溜りや水流を避け、大雨の場合は速度を落すか路肩に停車してください。水溜りの上を走行する必要がある場合、水溜りに到達する前にできるだけ速度を避けます。

泥、砂、砂利または水に覆われている舗装では駆動伝達が悪いいため、速度を落します。Spyder Roadsterはオフロード対応ではありません。車両は必ず適切な道路で使用してください。車両をその他の地面で使用しないでください。

### タイヤ

車両のVSSは、特定のサイズ、材料およびトレッドパターンのタイヤに対して最適な性能を発揮するために較正されています。BRPによって認定されていないタイヤと交換してしまうと、VSSの効果が無くなってしまいます。



Can-Am Spyder Roadsterの認定ディーラーからのみ入手可能なBRP推奨タイヤのみ使用してください。

特に緩いまたは濡れた表面では、駆動伝達を維持するために適切なタイヤの空気圧およびトレッドの管理が重要です。

### 急ターン

VSSはステアリング入力を制御または制限しません—急ターンを制御することはできません。ハンドルを大きく、急速に回すと車両がコントロールを失い、スピン、転倒または転がってしまう可能性があります。

### スピードの出しすぎ

VSSは、SCSがターンの時に介入する場合を除いて、車両速度をコントロールしません。VSSは車両があまりにも早くターンすることを制御することはできません。特定の状況において早く走行しすぎると、VSSを用いてもコントロールを失うことがあります。

## ダイナミックパワーステアリング (DPS)

ダイナミックパワーステアリング (DPS)は、電気モーターを使ってドライバーが必要とするステアリング入力量の最適化を図り、コンピューター制御された可変パワーアシストを提供します。

ステアリング・アシストの度合いはハンドルの力（ステアリング・トルク）、ステアリング・アングルおよび車両速度に依存します。

車両がリバース・ギアに入ってる状態では、車両速度が速くなるにつれパワーステアリング・アシストは低下します。

# 道路上のリスクの把握

Spyder Roadsterを使用される前に、交通事故における損傷または死亡のリスク、そのリスクを削減できる方法、およびリスクを取る覚悟があるかどうか考慮してください。リスクにはいくつかの要因があります。特定の要因はある程度コントロールすることは可能ですが、他の車両の運転の仕方など、その要因は自分の力ではどうすることもできません。以下はリスクに影響を及ぼすいくつかの要因の一覧です。

## 車両の種類

車両には様々な種類があり、大きさ、視認性、操縦性、および保護性が異なります。

Spyder Roadsterは小さくて操縦性の高い車両です。操縦性により、交通事故が避けやすくなります。しかし、小さい車両は他のドライバーからは見づらく、他のドライバーから衝突される可能性が増加します。いくつかの状況では、Spyder Roadsterはモーターサイクルより衝突に巻き込まれる可能性は低いです。例えば、低速度の走行中に転倒する可能性はより低いです。しかし他の状況においては、衝突する可能性が高くなります。例えば、車両の幅が広いため、モーターサイクルとは異なり幅狭い通路を通ることはできません。

乗用車やトラックでは、車両の構造によって衝突事故やその他の道路上の危険から身が守られます。さらに、同乗者はシートベルトを着用することでさらに身を守ることができます。Spyder Roadsterは乗用車の運転よりリスクが高く、損傷のリスクはモーターサイクルのリスクと類似していることをご了承ください。

モーターサイクルの走行と同じく、ヘルメットや保護服を着用することで傷害のリスクを減らすことができます。

## ドライバーの技術および判断力

各ドライバーは道路上のリスクに対応するように気を配ることが重要です。良い技術を取得したドライバーは車両をより効率よくコントロールすることができます。Spyder Roadsterを操縦するにあたって、モーターサイクル、乗用車、ATV、スノーモビルまたはその他の車両で培った技術に頼らないでください。この車両の異なる特徴に慣れてください。本オペレーターズガイドを読み、安全に関するDVDをご覧ください。もし可能であればトレーニング・コースを受けてください。コントロールに慣れ、実践練習を正確にこなせるようになってから実際の道路で運転してください。

公共の場で運転し始めたばかりのドライバーは、より簡単な道路状況（交通量が少ない、低速度、好天、同乗者が乗っていない状態）に始めは挑戦し、技術が磨かれていく毎に徐々に難しいチャレンジに挑戦してください。自分の運転レベルでは難しすぎる状態、または乗り越えられないようなリスクがある状態を避けるように先読みして運転してください。

熟練したドライバーでさえ衝突することはあります。例えば、極端な操縦や技を披露したりすると衝突のリスクが上がります。賢いドライバーは安全性を高めてリスクを最小限に抑えるために適切な判断を下します。道路上の注意事項のサブセクションに記載の安全運転に関する記述をご参照ください。

## ドライバーの状態

ドライバーは酔っていない、警戒態勢であり、体が運転できる状態である必要があります。薬物やアルコールを摂取した場合は、決してこの車両を使用しないでください。酔っている、疲れている、ま

たは正常に機能できない場合、衝突のリスクが高まります。

薬物、疲労、投薬、体調不良、眠気および感情的になることはすべて安全運転の阻害要因です。モーターサイクルの操縦と同様に、Spyder Roadsterの操縦は簡単ではありません - 乗用車を操縦するより体調およびメンタル状態が重要になります。一番安全な心構えは、集中力を保ち、完全に酔いがさめた状態でしか絶対に運転しないことです。血中アルコール濃度が法定上限を超えなくても、アルコール摂取により判断力と運転力が低下します。

車両を運転するには、すべてのコントロールが操作でき、ハンドルを完全に切ったり、乗り降りしたり、周囲を注意深く監視できる体調であることが必要です。

同乗者も高い集中力を持ち、酔いが完全に醒め、姿勢を維持し、カーブ、でこぼこの道路、加速および停止の際にしっかりと掴まったり対応できる体調であることが必要です。

## 車両の状態

車両をよい状態に保ってください。

使用前の点検および定期的メンテナンスを行ってください。車両を始動した時に多機能ゲージに表示されるメッセージに注目し、運転する前に問題に対処してください。

## 道路状況および天候

渋滞、視認性が悪い、または駆動伝達の悪い道路面ではリスクが高まります。ご自身の運転レベル、および挑戦したいリスク程度に見合った経路をお選びください。

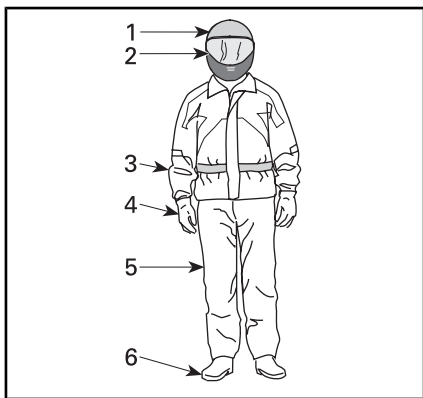
## 装備 (ライディング・ギア)

Spyder Roadsterのような3輪で体が露出されている車両を運転するにはモーターサイクルと同様に装備が必要です。低速度ではモーターサイクルより安定感のあるこの車両でも、車両から転がり落ちてしまう場合があります。

このセクションはMotorcycle Safety Foundation (MSF)からの資料に基づいたモーターサイクル運転者へのガイドです。

衝突の際にオートバイに乗るためのふさわしい服装をしていると怪我を防いだり、または軽減することができます。さらに状況に合った服装をしていると快適になり、気象要素から身が守られます。

ドライバーおよび同乗者に推奨される基本装備には、ブーツ、長いパンツ、ジャケット、およびグローブが含まれ、何よりも適切に目を保護する適切なヘルメットが推奨されます。



装備 (ライディング・ギア)

1. 使用許可されているヘルメット
2. 目および顔の保護
3. 長袖のジャケット
4. グローブ
5. 長いパンツ
6. ブーツ

ドライバーと同乗者の両者は、衝突が起きた時に適切な装備により損傷の重篤度を低減させることができます。

## ヘルメット

ヘルメットは頭および脳を怪我から守ります。ヘルメットはさらに同乗者の顔をドライバーのヘルメットの後部への衝撃から守ります。最高品質のヘルメットを使っても損傷から100%身を守ることはできませんが、統計によると、ヘルメットの使用は脳損傷のリスクを大幅に減少します。そのため、走行中は必ず安全運転でヘルメットを着用してください。

## ヘルメットの選び方

使用されるヘルメットはお住まいの州、行政区または国の標準を満たす必要があります。

顔を完全に覆ったヘルメットは顔と頭全体を守るため、衝撃に対する最大の保護を提供します。さらに異物、石、虫などから身を守ってくれます。

3/4ヘルメットまたはオープン・フェイス・ヘルメットもかなりの保護力があります。同じ基本的な材料から製造されていますが、顔を完全に覆ったヘルメットの顔および顎の保護は損なわれます。オープン・フェイス・ヘルメットを着用する場合、取り付け可能なフェイス・シールドまたはゴーグルの使用を推奨します。

注: 普通の眼鏡またはサングラスは、モーターサイクル運転者には十分な目の保護具ではありません。割れたり頭から外れたりし、目を風および空気中の異物から保護しません。

色付きのフェイス・シールド、ゴーグルまたは眼鏡は昼間中にしかならないでください。夜や照明が十分ではない場所で使用しないでください。色を見分ける能力が損なわれる場合、使用しないでください。

## その他の装備

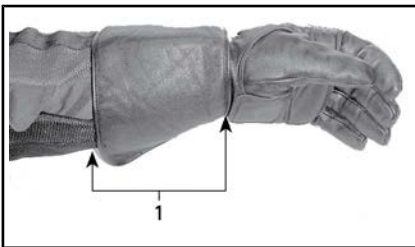
### フットウェア

つま先が保護されたフットウェアアを必ず履いてください。丈夫な丈夫の長いブーツは道路から舞い上がる石や熱いエキゾースト・パイプによる火傷などの運転中の様々な危険から身を守ってくれます。

ギアシフト・レバー、ブレーキペダルまたはその他の部品に絡まっさてしまう長い靴紐は避けてください。ゴム製の靴底およびローヒールの靴は足をフットレストに固定するのに適しています。

### グローブ

頑丈なグローブは手を風、太陽、熱、寒さおよび飛んでくる異物がから守ります。手にぴったり合うグローブはハンドルのグリップ感を向上させ、手を疲れにくくさせます。ハードプロテクションなモーターサイクル用グローブは転倒の際に手を保護します。モーターサイクル用グローブの外部の縫い目は手への刺激を抑え、曲がった形状はハンドグリップでの自然なグリップを実現します。グローブが分厚すぎる場合、コントロールしづらくなります。ガントレットは冷たい空気が袖に浸入するのを防ぎ、手首を保護します。



1. グローブ用ガントレット

### ジャケット、パンツおよびライディング・スーツ

ジャケット、長いパンツまたはカバーオールをライディング・スーツを着用してください。防風、防水、保温などの機能を備えた保護

具は快適さを提供し、疎ましい環境からの影響を低減します。衝突事故の場合、頑丈な素材でできた高質の保護具は損傷を防いだり、軽減します。いくつかのギアには、衝突における損傷のリスクをさらに軽減させるパディングやハードアーマーが仕込まれています。パンツの着用も熱い部品による火傷から身を守ります。

一般にモーターサイクル用の保護具は最適なフィットと保護の組合せを提供します。これらの衣服は運転中の座った姿勢に合ったデザインがされています。袖などの丈が長く、肩の部分の幅がより広がっています。ライディング・スーツはワンピースまたはツーピースのを選べます。

素材としては革は防風性など耐久性が強く、傷害に対して保護効果を発揮するため、よい選択肢です。合成繊維のその他の耐摩耗性保護具もよい選択肢です。動く部品に絡まってしまいかねないスカーフやゆったりとした、長い衣服は着用しないでください。

フラップやファスナーは風をシャットアウトします。チャック式のジャケットはボタンやスナップ付きのジャケットより防風性が強くなります。ジャケットのジッパーを覆うフラップは防風性を更に強めます。袖口およびウエスト部分がぴったり合うジャケットは、風の浸入を防ぐために推奨されます。より大きい、緩い襟は走行中にはためくため、肌を刺激したり目障りになる可能性があります。

涼しい天候では、低体温にならないように気をつけてください。低体温では、体の温度が低くなりすぎると集中力の低下、体の遅い反応、そしてスムーズで適切な筋力の動きの損失を招きかねません。涼しい天候では、防風ジャケットおよび絶縁的服装などの適切な保護具が不可欠です。適度な温度でも、走行中に発生する風によってとても寒くなります。

涼しい天候に適切な保護具は停止中だと暑く感じるはずで、後で脱げるように重ね着してください。防風のアウターを保護具の上に重ね着することで冷たい空気が皮膚に届くのを防ぐことができます。

装備はドライバーをより目立たせる効力もあります。明るい色を着るのは賢い選択です。薄暗いジャケットの場合、安価な反射ベストを上から着ることも可能です。常に余分な反射テープの付いた衣服を着るのは良い事故予防策です。

## 雨具

雨天時に運転する必要がある場合、レイン・スーツまたは防水ライディング・スーツが推奨されます。長時間の走行では、雨具を持つことが推奨されます。雨から守られたドライバーは、濡れて寒いドライバーより心地よく、より集中して運転することができます。

ワンピースやツーピースから選ぶことができ、特にモーターサイクル用の衣服が最適です。目につきやすいオレンジ色や黄色は良い選択肢です。ウエスト部分、パンツおよび丈がゴム製である物を探してください。丈の高い襟にジッパーが付いてて幅広いフラップがその部分を覆い隠すジャケットが最適です。レイン・スーツをお選びになる場合、防水グローブおよびフットウェアも考慮してください。

雨天の場合、運転しないことが最良の選択肢です。雨天の際に運転する場合、道路上に水が溜まり始めた時は停車する必要があることがあります。

## 聴覚保護

走行中に長い間、風およびモーター音に晒されていると永久的な難聴を引き起こす可能性があります。耳栓など、適切に着用された聴覚保護具は難聴の防止に役立ちます。聴覚保護具を使用する場合

は、使用する前に現地の法律をお確かめください。

# 必要とされる運転技術および実践演習

Spyder Roadsterを公共の場で運転する前に、道路上のリスクを抑える運転技術および対策を学ぶ必要があります。以下は車両の基本操作を学ぶための実践演習です。モーターサイクルやその他の自動車の操縦に経験がある場合、特に他の車両と比べてSpyder Roadsterの操作性およびパフォーマンスがどのように違うのかに注目してください。次の実践演習に進む前に各演習を上手にこなせるまで演習してください。トレーラーを牽引する場合、トレーラーを付けたまますべての演習を行ってください。このセクションには次の演習が含まれています。

## SM6モデル

1. エンジンの回転数を上げたり、エンジン・ストップウォッチの使用
2. 半クラッチおよび基本的な扱いの学習
3. 作動中のエンジンストップ
4. スロットルおよびクラッチの使用
5. 基本ターン
6. 急停止
7. スラローム
8. シフティング
9. 急カーブ
10. リバースでの運転

## SE6モデル

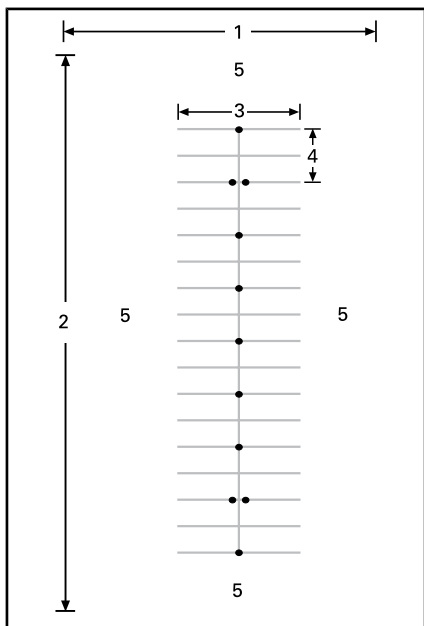
1. エンジンの回転数を上げたり、エンジン・ストップウォッチの使用
2. 始動、停止および基本的な取り扱い
3. 作動中のエンジンストップ
4. 基本ターン
5. 急停止
6. スラローム
7. シフティング
8. 急カーブ
9. リバースでの運転

## 演習場の選択

これらの演習は交通がない、最低でも76 m - 30 mの舗装エリアで行ってください。障害物（電柱、カーブなど）がない、閉鎖されていて地面にマーキングがされている駐車場は演習に最適です。駐車されていた車によって残されたオイルに注意してください。学校、教会、コミュニティー・センターやショッピング・センターなど、営業時間外の駐車場を探してください。私有地の不法侵入は避けてください。

適切な場所を見つけた後、その土地の所有者から使用許可を得てください。電柱や安全地帯などの障害物がある場合、以下の図に示されている道筋が障害物によって干渉されないように注意してください。

演習の準備をする際は、この駐車場の基本図を考慮してください。図には3 mのサイズの駐車場が描かれていますが、実際には異なるサイズの駐車場を使用することも可能です。お選びになった駐車場に線が引かれていない場合、または図の寸法よりはるかに大きいまたは小さい駐車場である場合は、以下の寸法をご参照ください。巻き尺、チョーク、または水や砂が含まれている容器またはパイロンなどを使ってマーキングしてください。



#### 通常の駐車場

1. 30 m以上
2. 75 m以上
3. 12 m
4. 6 m
5. 空地

閉鎖された場所でも、万が一、他の車が入ってこないか注意してください。演習を行う前に前方、左右および後方を確認してください。また、子供や動物に注意してください。

### 運転の準備

車両のすべての操縦システムの位置および操作方法を把握してください。

運転を開始する前に、走行前の点検を確認し、走行前に行うべき点検手順をご参照ください。

エンジンを始動および停止させるには、基本手順のサブセクションのエンジンの始動および停止に記載されている指示に必ず従ってください。

### 運転の姿勢

よい姿勢を取るとよりスムーズに運転ができます。操縦システムをスムーズに操作するには、両手と両足を必ず適切に配置してください。通常、手首は腕に対して真直ぐにします（これにより、お望みのスロットルの位置をより簡単に適用できます）。腕はリラックスして曲がった状態であるべきです。姿勢を伸ばし、頭と目を上に向けます。両足を操縦システムの近くのペグに配置します。

運転の適切な姿勢を取っていない場合、近距離でも車両を運転しないでください。



代表的な例 — 運転の姿勢

### 実践演習 (SM6モデル)

注: BRPトレーラーを使用される場合は、実際に使用する前に積荷を載せたトレーラーを付けたままこれらの演習を行うことを推奨します。車両の新しい特長を発見することでしょう。

#### 1) エンジンのふかし、エンジン・ストップ・スイッチの使用について

##### 演習の目的

- 演習の際に驚くことがないように、エンジンをふかしている時の音に慣れること。
- エンジン・ストップ・スイッチの使用に慣れること。



## 指示

- 車両をニュートラルに入れ、パーキングブレーキをかけ、右足でブレーキを踏んだまま、クラッチレバーを握ってその状態を維持します。タコメーターを見ながらスロットルを数回加え（手首を下げて回します）、RPMが4000を超えない程度まで上げます。クラッチが完全に作動している限り、電源は後輪に行き渡りません。
- エンジン・ストップ・スイッチを使って車両のすべての電源を止めます。手をハンドグリップに乗せたまま右手の親指でスイッチを押します。

## 追加練習のヒント

- エンジン・ストップ・スイッチを見ないまま押す演習をしましょう。

## 2)半クラッチおよび基本的な扱いの学習

クラッチを引くと後輪に電源がいなくなり、これらの演習の際にコントロールを失っていると感じた場合は、クラッチを引いて加速を止め、必要に応じてブレーキをかけて速度を落します。さらにエンジン・ストップ・スイッチを使って電源を完全に切ることもできます。

フリクション・ゾーン（半クラッチ）とは、クラッチが後輪に動力を伝達し始める部分から始まり、クラッチが完全につながられる直前で終了する、クラッチレバーの領域のことを意味します。クラッチをある程度作動すると、後輪に伝達されるエンジン出力を正確に制御することができます。適切な半クラッチの技術は、停止からスムーズに動けるようにします。

## 演習の目的

- クラッチおよび半クラッチの操作方法に慣れること。
- 低速での減速およびブレーキに慣れること。

## 指示

この演習では、スロットルを**絶対に**加えないでください。半クラッチおよびブレーキを使うこの演習では、車両の移動をクラッチのみでコントロールします。

初めは6m毎（マーカー毎/二つ目の線毎）に停止してください。

- エンジンを始動し、パーキングブレーキをかけます。
- ブレーキを踏み、クラッチレバーを引いたまま、シフトレバーをしっかりと押し下げてトランスミッションを第一ギアに入れます。
- フットブレーキを放します。
- 車両が前進し始めるまで**ゆっくり**クラッチレバーを放します。この時にクラッチレバーを維持します。これが半クラッチです。クラッチを放すのが早すぎると、エンストしたり車両が素早く前進したりします。**車両がストールしてしまった場合は、エンジンを再起動させて再度試してください。**次はクラッチを徐々に放します。
- 停止点に近づいてきた頃に、クラッチレバーを完全に引き、ブレーキペダルを踏んで停止します。クラッチは徐々に引かなくても結構です-素早く引いても構いません。
- 直線コースの終わりにたどり着いた時は、停止し、ハンドルを右に全開に回し、Uターンします。ターンの際にスロットルを加えないように気をつけます。反対方向の直線コースに並んだ時に停止します。
- 自信が付くまでこの演習を繰り返してください。

## 追加練習のヒント

- 半クラッチに慣れてきた場合は、12m（他のすべてのパイロン）毎に停止し、クラッチを完全に放す演習をしましょう。

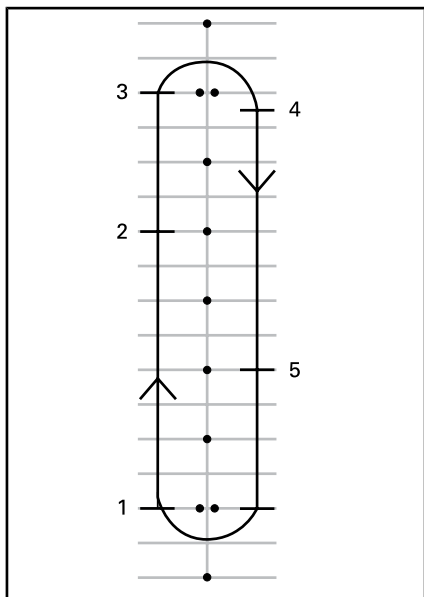
### 3) 作動中のエンジンストップ

#### 演習の目的

- 走行中にエンジン・ストップ・スイッチを使うことを演習し、後に使う場合に車両がどのように反応するか知っておくこと。

#### 指示

- 半クラッチで直線コースを走行中に、エンジン・ストップ・スイッチをOFFにし、停止します。
- エンジンを再起動させ、この演習を繰り返します。エンジン・ストップ・スイッチを使う前にクラッチをより遠くまで放し、より早く走行してみましょう。



1. 開始時点
2. エンジン・ストップ・スイッチを押す
3. 直線コースの終わりまで行って停止し、以前と同じようにUターンする
4. 停止
5. エンジン・ストップ・スイッチを押す  
エンジンを再起動させ、次の演習に移ります。

### 4) スロットルおよびクラッチの使用

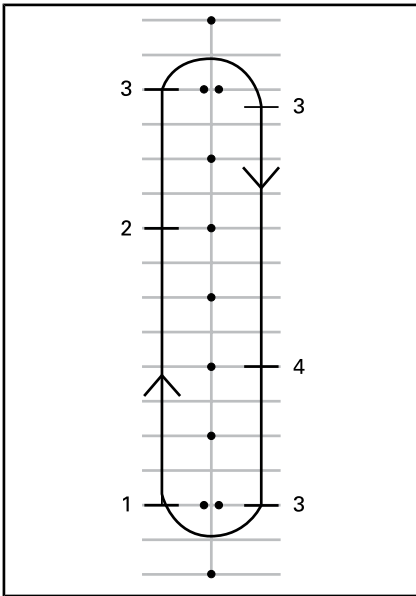
#### 演習の目的

- スロットルの操作に慣れること。
- スロットルおよびクラッチのバランスを学ぶこと。

#### 指示

この演習は半クラッチの演習を似ていますが、今回はスロットルを加えます。直線コース全体を走行し、終了地点でしか停止しないでください。

- 直線コースの開始地点で第一ギアに入れて停車した状態でこの演習を始めます。
- クラッチレバーを引き入れたまま、タコメーターが1500と2000RPMの間になるまでスロットルをゆっくり開きます。この範囲に維持する演習をします。
- この位置にスロットルを維持したまま以前と同様にクラッチレバーをゆっくり放します。RPMが2500を超えないようにします。
- クラッチレバーをより早く放せば放すほど、それだけ早く加速します。クラッチを放すのが早すぎると、エンストや車両が素早く前進してしまいます。スロットルを開けすぎると後輪がスピンしてしまい、急速に加速してしまいます。
- クラッチレバーを完全に放すと、スロットルによって速度をコントロールすることができます。
- 直線コースの終了地点間近では、スロットルを放し、クラッチレバーを引き入れ、ブレーキを踏んで停車させてください。
- スロットルを開けないで、Uターンし、反対方向の直線コースを走行し始めます。



1. 開始時点
2. スロットルを放す
3. 停止
4. スロットルを放す

### 追加練習のヒント

- クラッチレバーを放す動作、およびスロットルを開ける動作をコーディネートし、スムーズに走行を開始して加速をコントロールします。

## 5) 基本ターン

### 演習の目的

- 抑制を利かせたターンの方法に慣れること。

### 指示

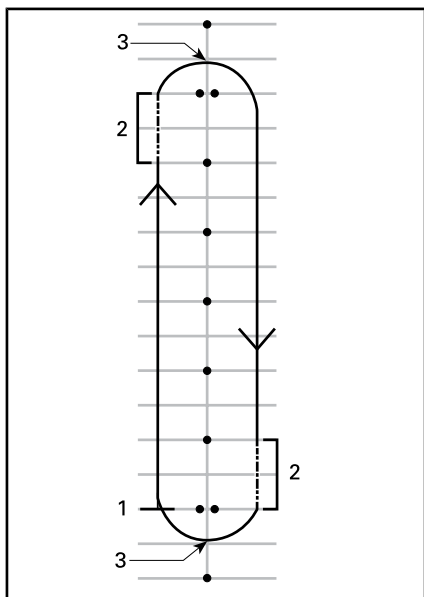
この演習は以前のと似ていますが、今回はターン毎に停車するのではなく、半クラッチでターンをします。

- 第一ギアで直線コースを走ります。直線コースの終わりに幅広くターンするために、パイロンから少し離れて運転します。

- カーブに近づいてきた頃に、クラッチレバーを引き、必要であればブレーキをかけて8km/h以下の速度に抑えます。
- 半クラッチ状態でクラッチレバーを維持し、低速度を維持します。
- カーブの方向に注目します。
- カーブの方向にハンドルを切り、ハンドグリップの内側を引っ張り、外側を押し出します。スロットルに対する手の位置を変えないように注意します。
- より簡単にハンドルを切るには、カーブおよび正面に対して体を寄せます。
- ターン後はハンドルを元通りにし、直線コースを進みます。



代表的な例 — ターン時の姿勢



1. 開始時点
2. 半クラッチ
3. 頂点

注: モーターサイクル運転者 —  
Spyder Roadsterでカーブを曲がることは、モーターサイクルとは異なります。車両はターン時に傾かないため、姿勢を保つにはターンの内側に重心を移行させる必要がある可能性があります。モーターサイクルと比べて、ハンドルをより力強く回す必要があります。ただし、モーターサイクルと比べて曲がる時はより簡単に停止できます。

#### 追加練習のヒント

- 一つの方法へのターンに慣れたら、今度は逆コースを走ります。左に曲がる時は、意図したよりもスロットルを開けないよう注意します。
- ターンの途中で停止してみて、カーブやターン時にブレーキをかける感覚を体験しましょう。

## 6) 急停止

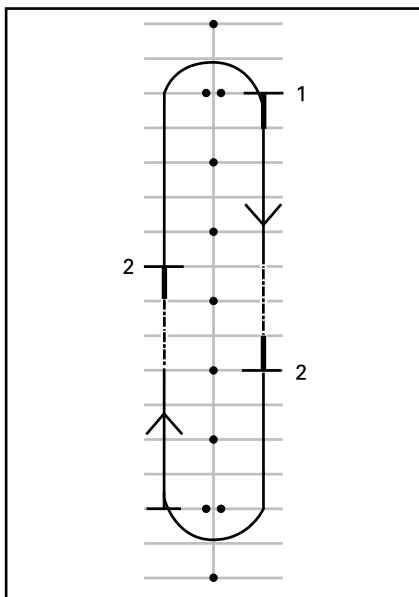
### 演習の目的

- 車両のブレーキ能力に慣れること。
- ブレーキの最大力を発揮させる方法を学ぶこと。

### 指示

この演習は以前と似ていますが、今回はブレーキをより強く踏み、最終的にはできるだけ強くブレーキを踏める段階に達するまで演習します。

- 直線コースの一方の端からスタートし、8km/hまで加速します。
- 直線コースを走行している途中にスロットルを完全に放し、ブレーキを素早く、しっかりかけます。
- 頭と目を上に向け、ハンドルを真直ぐの状態に維持します。
- これを繰り返します。次はより早く走行し、ブレーキをより強く踏みます。



1. 開始時点
2. 停止

### 追加練習のヒント

- ブレーキを強く踏む前にミラーを確認する演習をしましょう。

## 7) スラローム

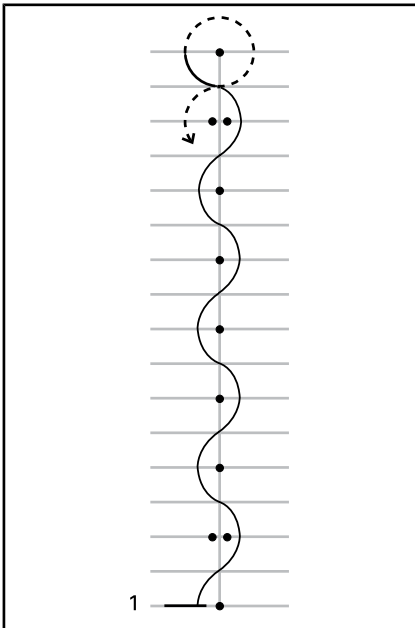
### 演習の目的

- 車両の扱いおよび姿勢に関する体験をすること。

### 指示

#### 6 m スラローム

1. 他のすべての駐車位置の各パイロンまたは交差点の間をスラロームします。スロットルを加えないでください-半クラッチの状態を維持します。
2. ターンをする度に体をターンの方向に傾け、グリップを引っ張ったり押したりしながら進みたい方向にハンドルを切りま

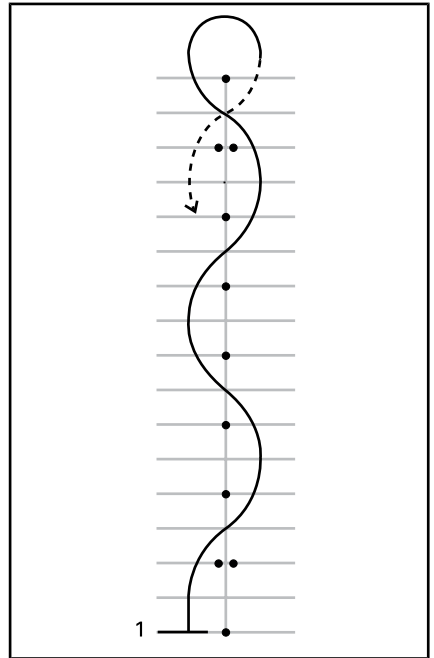


1. 開始時点

#### 12 m スラローム

慣れてきた場合は、一つおきのパイロンの間、または四つおきのパーキングスペースの間を通

て、12mのスラロームに挑戦してください。



1. 開始時点

### 追加練習のヒント

- 16 km/h-19km/hのスラローム速度に慣れてきたら、徐々に速度を高めるのもよいですが、終了地点でのUターンの時は速度を落としてください。

## 8) 変速

走行中は、エンジン速度と車両の速度を一致させるために変速する必要があります。

### 演習の目的

- 変速に必要な足の動きに慣れること。
- シフトアップおよびシフトダウンを学ぶこと。

### 指示

この演習は以前のと似ていますが、今回は直線コースでシフトアップし、コースの終了地点で停止する演習をします。この演習で

は、パーキングスペースより駐車場の通路を使うことを推奨します。

### 8a) 停車時でシフトレバーの使用を演習する

まず停車時に第一および第二ギア間の変速を左足で行う演習をします。

- 第一ギアで停車している際に、クラッチレバーを引きます。
- 左足のつま先をシフトレバーの下にスライドさせ、持ち上げる地点まで一回のしっかりしたストロークで第二ギアに変速します。
- シフトレバーを、一回のしっかりしたストロークで踏めるところまで踏み込み、第一ギアに変速します。
- 必要な足の動きに慣れるまで繰り返します。

### 8b) 第一から第二ギアにシフトアップする

直線コースで第一ギアで約16km/hまで加速します。

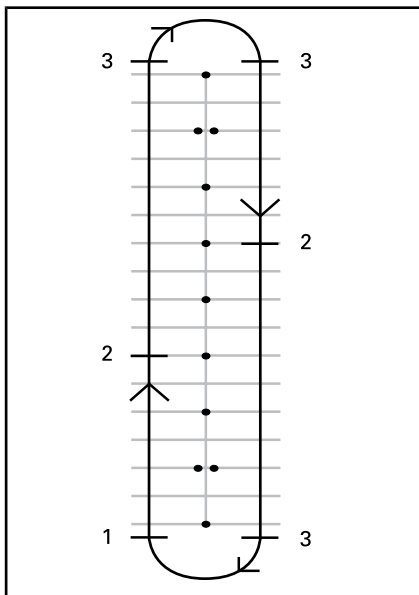
シフトアップするには：

- スロットルを放します。
- クラッチレバーを引きます。(スロットルを放す前にクラッチを引いてしまうと、エンジンが吹き上がる可能性があります-この場合はスロットルを放します)。
- 左足のつま先をシフトレバーの下にスライドさせ、持ち上げる地点まで一回のしっかりしたストロークで第二ギアに変速します。
- クラッチをゆっくり放します。
- スロットルを開ける必要はないですが、慣れてきてスペースが十分にあれば、スロットルを開けて第二ギアで加速してみることもできます。

直線コースの終了地点に近づいてきたら以下の停車の準備をします。

- スロットルを放します。

- クラッチレバーを完全に引きます。
- ブレーキをかけます。
- 停車後、シフトレバーを一回のしっかりしたストロークで踏めるだけ踏んで第一ギアにシフトダウンします。慣れてきたら、停車するたびに第一ギアにシフトダウンします。



1. 開始時点
2. 16 km/hで第二ギアに変速
3. 停止

### 8c) 第二から第一ギアにシフトダウンする

スペースが十分である場合は、第二から第一ギアへの変速演習を行ってください。

直線コースで約16 km/hまで減速します。

- スロットルを放してクラッチレバーを引きます。
- 第一ギアに変速するにはシフトレバーを踏みます。
- クラッチをゆっくり放します。
- 足をフットレストに戻します。

## 8d) 他のギア

スペースが十分である場合、より高いギアにシフトアップしたり、低いギアにシフトダウンしてみることもできます。同じ過程を踏み、ギアは一つずつシフトアップまたはシフトダウンしてください。

## 追加練習のヒント

より多くの経験を積んで変速技術を磨き上げることで、より良いコントロールで車両を運転することができます。

- シフトダウンの場合は、スムーズにクラッチを放しながらスロットルを多少開けることで、エンジンを吹き上げさせて車両速度と同等のレベルまで上昇させることでシフトダウンをよりスムーズにさせ、後輪の横滑りを防ぐことができます。
- スロットルを空けないで低ギアにシフトダウンすると車両の速度を落すことができます。これをエンジン・ブレーキと呼びます。エンジン・ブレーキを行うには、ギアを一つずつシフトダウンさせ、シフトダウン毎にクラッチを少しずつ放します。エンジン速度が安定するまで半クラッチ状態を維持し、次のシフトダウンの準備ができるまでレバーを少しずつ放します。
- 通常はギアを一つずつ変速しますが、行いたいギア変速の回数だけアップまたはダウンストロークを続けて行い、クラッチを握ることでギアを一つ以上変速させることも可能です。

VSSはエンジン・ブレーキを制御しないことをご了承ください。高速であまりにも低いギアに変速してしまった場合は、後輪が滑ってしまうことがあり、特にカーブなどでは車両のコントロールを失い、車両がスピンアウト、転倒または転がってしまう可能性があります。

## 9) 急ターン

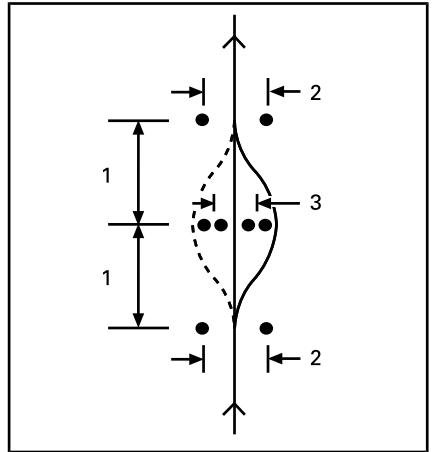
## 演習の目的

- 極端な操縦での車両の扱いに慣れること。
- ブレーキおよび急ターンの様々なバリエーションを試すこと。

## 指示

以下の図に示されている通りにパイロンを配置します。この演習には、固定された、または固い、重い物を使用しないでください。

- 約8 km/hの速度で2つのパイロン間を走行し、その速度を維持します。
- 一連のパイロンの周りを走行してみます。
- 二重パイロンの第二セットからコースを出ます。
- この演習は数回行い、両方向での急ターンに挑戦してください。



1. 6 m
2. 3 m
3. 2.5 m

## 追加練習のヒント

- 開始速度を徐々に上げ（13 km/h～19 km/hの速度に抑え）、いくつかのバリエーションを試します。例えば、コース直前の速度を調整したり、急ターン時にブレーキをかけたりなど。
- 助手に手伝ってもらうことで、どの方向にターンするか、またはどこで停車させるかなど指示してもらい、よりダイナミックな演習となります。助手には安全な距離を取ってもらいます（演習場より多少離れた位置など）。パイロンの第一セットの直前で助手はどの方向にターンするか、または停車すべきかなど、手信号で指示してもらいます。
- 急ターンをする前にミラーや死角を確認する演習をしましょう。

## 10)リバースでの運転

### 演習の目的

- リバースでの旋回半径および車両の取り扱いに慣れること。

### 指示

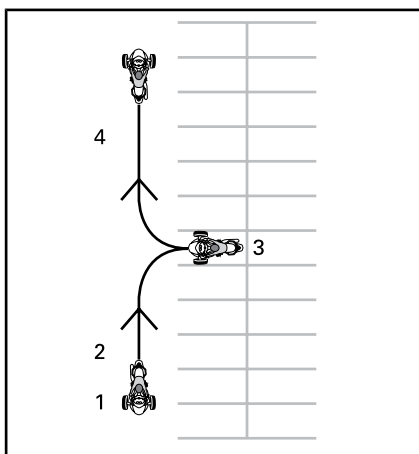
リバースにシフトします。基本手順のサブセクションのリバースでの運転を参照。

クラッチをゆっくり切りながら背後に何もなければ確認します。後退させながら前輪で物に当たらないように注意します。通常の動作と同様に、速度を落とし、クラッチおよびブレーキの使用を止めます。

100cmから200cmずつ後退し、間に停止させます。

低速度で運転し、長距離を走るのにリバースを使わないこと。

後退に慣れたら、以下の図のようにパーキングスペースに後退させてください。



1. 開始時点
2. リバース（後退）
3. 停止
4. 前進

### 安全な場所で行える追加演習

上記のすべての演習に慣れたら、スペースと条件が許す限り、他のいくつかの演習を試みてください。これらの演習は、リスクを負わないで駐車場などの安全な場所で行ってください。

- **クイック・スタート:** 迅速に加速し、ギアをシフトアップします。
- **高速度から急停止する場合:** 急停止の演習と似ていますが、緊急停止などより高速度で行います。
- **傾斜登り:** これには半クラッチになるまでクラッチレバーを放しながらブレーキペダルを踏み続けます。これは後ろに倒れないようにします。

## 実践練習 (SE6モデル)

### 1) エンジンのふかし、エンジン・ストップ・スイッチの使用方法

#### 演習の目的

- ねじれスロットルの操作に慣れること。



- 様々なRPMのエンジン音に慣れること。これによってエンジン音に応じていつシフトアップおよびシフトダウンすべきなのか把握できます。
- エンジン・ストップ・スイッチの使用に慣れること。

### 指示

- 車両をニュートラルに入れ、パーキングブレーキをかけ、右足をブレーキペダルに配置します。多機能ゲージを確認してニュートラルに入っているか確認してください。第一ギアに入っている場合は、スロットルを開くとRoadsterは前進し始めます。
- タコメーターを見ながらスロットルを数回加え（手首を下げて回します）、RPMが4000を超えない程度まで上げます。3000RPM前後を維持するようにスロットルを優しくかつ円滑に開けたり閉じたりする演習をします。トランスミッションがニュートラルに入っている限り、電源は後輪に行き渡りません。
- エンジン・ストップ・スイッチを使って車両のすべての電源を止めます。手をハンドグリップに乗せたまま右手の親指でスイッチを押します。

### 追加練習のヒント

- エンジン・ストップ・スイッチを見ないまま押す演習をしましょう。

## 2) 始動、停止および基本的な取り扱い

### 演習の目的

- スロットルのコントロールおよび車両の動かし方を学ぶこと。
- 低速での減速およびブレーキに慣れること。

### 指示

これらの演習を行う際にコントロールを失っていると感じた場

合、加速を止めるためにスロットルを閉じ、必要に応じてブレーキをかけて減速してください。さらにエンジン・ストップ・スイッチを使って電源を完全に切ることもできます。

### 2a) スロットルを開けた直前に放す指示

最初は、スロットルを少しの間使用し、放して惰行運転します。

- エンジンを始動し、パーキングブレーキをかけます。
- ブレーキペダルを踏んだまま、ギアセレクターを前方に押し、トランスミッションを第一ギアにシフトさせます。
- ブレーキを放します。
- 車両が少しずつ前進し始めるまでスロットルをゆっくり開けます。動き始めた直後、スロットルを話して惰行運転し、ブレーキを踏んで停車します。直線コースの終点にたどり着くまで繰り返します。
- 直線コースの終点でUターンするには、停車し、ハンドルを右に完全に切り、スロットルを多少開けて放して、惰行運転でターンします。完全にターンするにはスロットルを一回以上開ける必要がある場合があります。反対方向の直線コースに並んだ時に停止します。
- スロットルを開けて放すのに慣れるまで、演習のこの部分を演習し続けてください。

### 2b) 12 m毎にスロットルをホールドし、放して停車する

次はスロットルをより長くホールドし、12 m毎に停車します（他のすべてのマーカー毎、または四つに一つの線毎に）。

- この場合も、車両が少しずつ前進し始めるまでスロットルをゆっくり開けます。今回はこの時点までスロットルをホールドします。

- 停止地点が近づいてきたら、スロットルを放してブレーキをかけ停車します。
- 以前と同様に直線コースの終点でUターンしますが、今回はターン時にスロットルを放す必要はありません。ターンする際に安定したスロットルの位置を維持することに焦点を当ててください。反対方向の直線コースに並んだ時に停止します。

2c)スロットルをホールドし、放して終点で停車

次に、直線コース全体を走行し、終了地点でしか停止しないでください。スロットルは適度に開けておきます。

### 3) 作動中のエンジンストップ

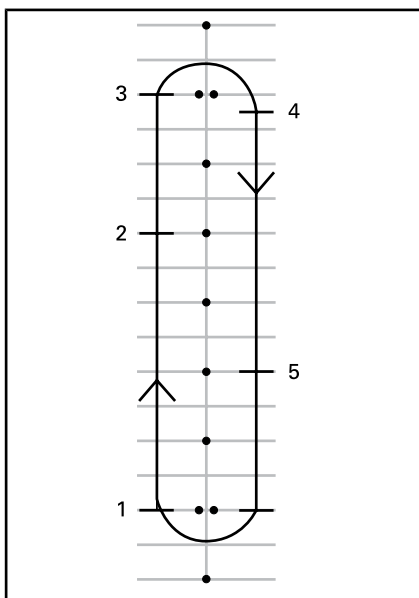
演習の目的

- 走行中にエンジン・ストップ・スイッチを使うことを演習し、後に使う場合に車両がどのように反応するか知っておくこと。

指示

- 8km/hの速度で直線コースを走行している間に、エンジン・ストップ・スイッチをOFFにし、停車します。
- エンジンを再起動させ、この演習を繰り返します。エンジン・ストップ・スイッチを使う前に加速(最大20 km/h)してみてください。

注: SE6モデルはブレーキペダルが踏まれていないとギアに入れることはできません。



1. 開始時点
2. エンジン・ストップ・スイッチを押す
3. 直線コースの終わりまで行って停止し、以前と同じようUターンする
4. 停止
5. エンジン・ストップ・スイッチを押す

エンジンを再起動させ、次の演習に移ります。

### 4) 基本ターン

演習の目的

- 抑制を利かせたターンの方法に慣れること。

指示

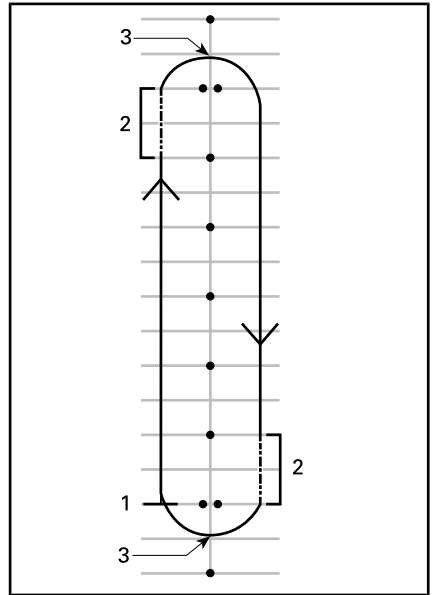
この演習は以前のと似ていますが、今回はターン毎に停車するのではなく、低速度でターンをします。

- 第一ギアで直線コースを走ります。直線コースの終わりに幅広くターンするために、パイロンから少し離れて運転します。
- カーブに近づいてきた頃に、スロットルを放して必要であればブレーキをかけることで速度を8 km/h以下まで落します。
- 低速度を維持するためにスロットルをホールドします。

- カーブの方向に注目します。
- カーブの方向にハンドルを切り、ハンドグリップの内側を引っ張り、外側を押し出します。この間、スロットルを空けないように気をつけます。
- より簡単にハンドルを切るには、カーブおよび正面に対して体を寄せます。
- ターン後はハンドルを元通りにし、直線コースを進みます。



代表的な例 — ターン時の姿勢



1. 開始時点
2. 半クラッチ
3. 頂点

注: モーターサイクル運転者 — Spyder Roadsterでカーブを曲がることは、モーターサイクルとは異なります。車両はターン時に傾かないため、姿勢を保つにはターンの内側に重心を移行させる必要がある可能性があります。モーターサイクルと比べて、ハンドルをより力強く回す必要があります。ただし、モーターサイクルと比べて曲がる時はより簡単に停止できます。

### 追加練習のヒント

- 一つの方法へのターンに慣れたら、今度は逆コースを走ります。左に曲がる時は、意図したよりもスロットルを開けないよう注意します。
- ターンの途中で停止してみて、カーブやターン時にブレーキをかける感覚を体験しましょう。

## 5)急停止

### 演習の目的

- 車両のブレーキ能力に慣れること。
- ブレーキの最大力を発揮させる方法を学ぶこと。

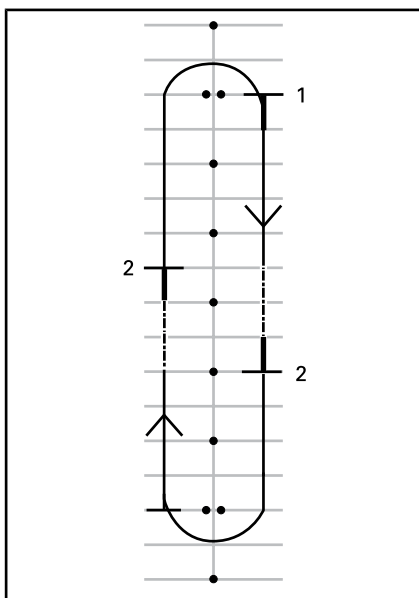
### 指示

この演習は以前と似ていますが、今回はブレーキをより強く踏み、最終的にはできるだけ強くブレーキを踏める段階に達するまで演習します。アンチロック・ブレーキシステム (ABS)は最大制動力がかかっている場合に車輪がロックされるのを防ぎ、ステアリング・コントロールを維持するのに役立ちます。SE6で急停止をする場合は、必ずスロットルを完全に放します。スロットルを開けたまま同時にブレーキをかけた場合、停止距離は長くなります。

- 直線コースの一方の端からスタートし、8km/hまで加速します。

直線コースを走行している途中にスロットルを完全に放し、ブレーキを素早く、しっかりかけます。ABSによって車輪ロックが防止されるため、絶対にポンピング・ブレーキを行わないでください。

- 頭と目を上に向け、ハンドルを真直ぐの状態に維持し、完全に停車するまでブレーキを放さないでください。
- これを繰り返します。次はより早く走行し、ブレーキをより強く踏みます。



1. 開始時点
2. 停止

### 追加練習のヒント

- ブレーキを強く踏む前にミラーを確認する演習をしましょう。

## 6)スラローム

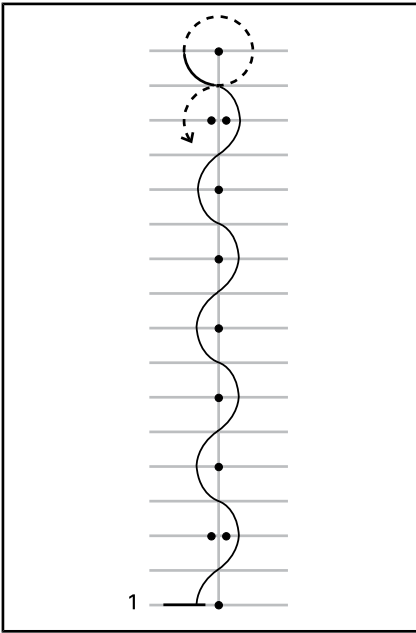
### 演習の目的

- 車両の扱いおよび姿勢に関する体験をすること。

### 指示

6 m

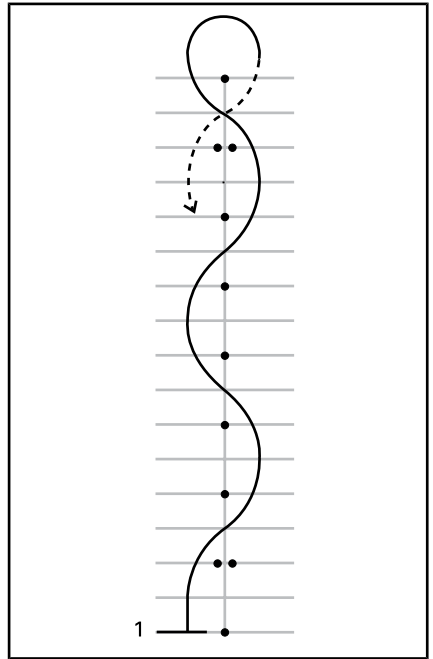
1. 他のすべての駐車位置の各パイロンまたは交差点の間をスラロームします。方向変更に慣れるまで、最初は低速で演習します。
2. ターンをする度に体をターンの方向に傾け、グリップを引っ張ったり押ししたりしながら進みたい方向にハンドルを切りまします。



1. 開始時点

12 m スラローム

慣れてきた場合は、一つおきのパイロンの間、または四つおきのパーキングスペースの間を通過して、12mのスラロームに挑戦してください。



1. 開始時点

追加練習のヒント

- 16 km/h-19km/hのスラローム速度に慣れてきたら、徐々に速度を高めるのもよいですが、終了地点でのUターンの時は速度を落としてください。

## 7)変速

走行中は、エンジン速度と車両の速度を一致させるために変速する必要があります。マニュアルの乗用車やトラックと同様に、低速ギアは低速度に、高速ギアは高速で使用します。

SE6はエンジン速度が1800RPM以下になると自動的にシフトダウンします。

演習の目的

- シフトアップおよびシフトダウンを学ぶこと。

指示

この演習は以前のと似ていますが、今回は直線コースでシフト

アップし、コースの終了地点で停止する演習をします。この演習では、パーキングスペースより駐車場の通路を使うことを推奨します。

#### 7a) 停車時でギアセクターの使用を演習する

まず停車状態でリバース、ニュートラルおよび第一ギア間のシングルシフトを演習します。次に、以下の演習を行います。

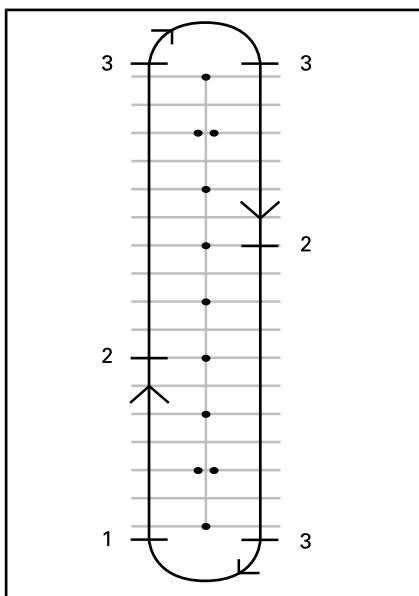
- リバースから第一ギアにダブルシフトする。
- 第一ギアからリバースギアにダブルシフトする。
- 慣れるまで繰り返します。

#### 7b) 第一から第二ギアにシフトアップ

- 直線コースでエンジン速度が3000 RPMに達するまで加速します。
- 第二ギアにシフトするにはギアセクターを前方に押します。SE6では、シフト中にスロットルを放す必要はありません。
- 慣れてきてスペースが十分であれば、スロットルを調整して第二ギアで加速してみることもできます。

直線コースの終了地点に近づいてきたら以下の停車の準備をします。

- スロットルを放します。
- ブレーキをかけます。
- SE6はRoadsterの速度が落ちると自動的にシフトダウンします。ギアセクターを手前に引っ張ることで手動でシフトダウンすることもできます。



1. 開始時点
2. 25 km/hで第二ギアに変速
3. 停止

#### 7c) 十分なスペースがある場合、走行中に第一ギアにシフトダウンする演習

直線コースで：

- スロットルを放さないでギアセクターを手前に引っ張ります。
- スロットルなしでシフトダウンするとエンジン・ブレーキの感触がよりリアルに伝わります。

#### 7d) その他のギア

スペースが十分である場合、より高いギアにシフトアップしたり、低いギアにシフトダウンしてみることもできます。同じ過程を踏み、ギアは一つずつシフトアップまたはシフトダウンしてください。

注: シフトダウン中にもう少しスロットルを開けることで、エンジンを吹き上げさせて車両速度と同等のレベルまでより素早く上昇させることでシフトダウンをよりス

ムーズにさせることができます。シフトダウン中にスロットルを開けないと、エンジン・ブレーキによって車両の速度が落ちます。これを利用して減速することもできますが、VSSはエンジン・ブレーキを制御しないことを考慮してください。高速度であまりにも低いギアに変速してしまった場合は、後輪が滑ってしまうことがあり、特にカーブなどでは車両のコントロールを失い、車両がスピンアウト、転倒または転がってしまう可能性があります。

## 8) 急ターン

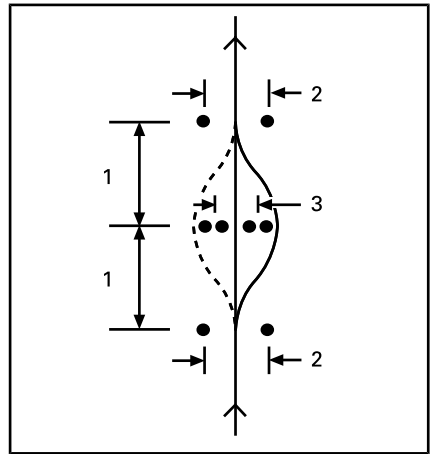
### 演習の目的

- 極端な操縦での車両の扱いに慣れること。
- ブレーキおよび急ターンの様々なバリエーションを試すこと。

### 指示

この演習を行うには、コースを再配置する必要があります。以下の図に示されている通りにパイロンを配置します。この演習には、固定された、または固い、重い物を使用しないでください。

- 約8 km/hの速度で2つのパイロン間を走行し、その速度を維持します。
- 一連のパイロンの周りを走行してみます。
- 二重パイロンsh毀の第二セットからコースを出ます。
- この演習は数回行い、両方向での急ターンに挑戦してください。



1. 6 m
2. 3 m
3. 2.5 m

### 追加練習のヒント

- 開始速度を徐々に上げ (13 km/h ~ 19 km/h以下の速度に抑え)、いくつかのバリエーションを試します。例えば、コース直前の速度を調整したり、急ターン時にブレーキをかけたりなど。
- 助手に手伝ってもらうことで、どの方向にターンするか、またはどこで停車させるかなど指示してもらい、よりダイナミックな演習となります。助手には安全な距離を取ってもらいます (演習場より多少離れた位置など)。パイロンの第一セットの直前で助手はどの方向にターンするか、または停車すべきかなど、手信号で指示してもらいます。
- 急ターンをする前にミラーや死角を確認する演習をしましょう。

## 9) リバースでの運転

### 演習の目的

- リバースでの旋回半径および車両の取り扱いに慣れること。

### 指示

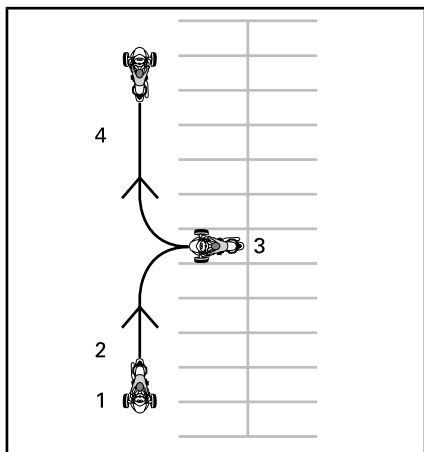
- リバースにシフトします。基本手順のサブセクションをご参照ください。
- 背後に障害物がないか確認します。後退中も背後を見続けます。後退させながら前輪で物に当たらないように注意します。通常の動作と同様に、スロットルを放してブレーキをかけて減速し、停車します。
- 100cmから200cmずつ後退し、間に停止させます。
- 低速度で運転し、長距離を走るのはリバースを使わないこと。
- 後退に慣れたら、以下の図のようにパーキングスペースに後退させてください。

の戦略」をご覧ください。次に、リスクが比較的に低い場所を見つけて演習を開始します。

以下のようなよりリスクが低い条件で運転し始めます。

- 短距離
- 好天
- 交通が少ない場所
- 昼間
- 低速度
- 同乗者なし

上達してきたら徐々によりリスクの高い状況で演習してください。



1. 開始時点
2. リバース（後退）
3. 停止
4. 前進

## 高度運転技術の取得

基本運転技術をマスターした後は、より高度な技術の取得を開始することができます。まず、次のセクションに記載の「道路走行上



## 道路走行上の戦略

このセクションでは、道路走行上のリスクを軽減するための戦略について説明します。これらの多くの戦略はモーターサイクルで走行する際の戦略と似ています。

このセクションはMotorcycle Safety Foundation (MSF)からの資料に基づいたモーターサイクル運転者へのガイドです。しかし、Spyder Roadsterとは戦略が異なるため、熟練したモーターサイクル運転者でもこのセクションをお読みください。

### 走行の計画

車両に乗る前に必ず天候を確認します。いかなる天候に備えるために適切なギアを持っていきます。

自分の技術に見合った経路および運転状況を選択します。

車両には26 Lの燃料タンクがあります。燃料低下インジケーター・ライトが点滅し始めたら、燃料タンクの供給をできるだけ早く行ってください。特に人けの少ない場所では、ガソリンスタンドなどの場所を事前に確認します。

### 安全運転

モーターサイクルと同じく、安全運転は衝突事故を防ぎます。常次警戒する必要があります。背後も含めて、周囲への注意を怠らないでください。必ず潜在的な危険性がないか確認し、先読みし、問題を回避するために必要な距離と時間を計算します。他の運転者が常に交通規則を守るだろうと決め付けないでください。

### 車間距離

最適な運転状況では、前の車両とは2秒間の車間距離を必ず取ってください。これは、道路上の固定物と比較して前の車両の位置に最低でも2秒後に通過することを意味します。

制動距離が長くなる状況、または視認性が悪い場合、より安全な対策を取るためにより長い車間距離

を取ってください。例えば、滑りやすい路面、下丘、または車両の重量がより重たい場合は、制動距離がそれだけ長くなりますし、霧、カーブまたは夜間では視認性が制限されます。

### 前方を見渡す

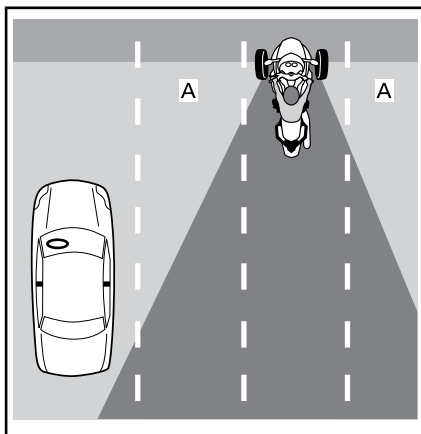
隣の車両と適切な車間距離を保つことに加えて、前方を見渡して通り道を事前に考慮しておきます。

最低でも4秒後の通り道を計算しておきます。道路上にある物体や他の車両など、自分の通り道に危険性がないか気を配ります。

予想した通り道で潜在的に危険な状況が起こる前にそれを見越すために、12秒先の距離も見通しておきます。例えば、他の車両が現れる可能性のある交差点や、歩行者が横断する可能性のある箇所などを識別します。もし危険な状況に遭遇した場合、瞬時に回避できる準備をしておきます。

### 背後および両側の確認

すべての方向から他の車両や危険が迫ってきます。周囲を常に見渡します。背後になにかがあるか常にミラーを確認します。さらに死角を監視するために常にヘッドチェック（振り返って確認する）を行います。



A. ドライバーの死角

ブレーキをかける際は、Spyder Roadsterのように素早く停止できない、背後にいる普通の車両などを特に注意します。

### 視線を動かす

周囲を把握するには、視線を一つの方向に集中してはいけません。常に視線を動かし、道路、道路標識、機器および他の車両に注意します。すべての方向において、近くと遠くを見ます。

### トラブルを予想する

潜在的な危険性に気が付いた時は、回避方法を検討します。これには速度や車線での位置を調整したり、車線変更する必要がある場合があります。なにかが通り道に侵入してきた場合は、急ターンやブレーキなどの回避行動を瞬間に取る準備をしておきます。問題に対応できるように、十分な距離をとって、十分に反応できる時間を常に確保しておきます。

### 視認性を高める

ドライバーにはモーターサイクルなど小さい車両をあまり注目しない性質があります。そのため、他のドライバーから見えやすいようにすることも戦略の一つです。

### 他のドライバーから見えやすいする方法

#### 照明およびリフレクター

車両のヘッドライト、走行用ライトおよびテールライトが適切に作動することを確認してください。使用されている車両のフェンダー、両側および後部にはリフレクターが付いています。すべてのリフレクターが清浄であり、壊れていたり欠損していないことを確認します。

昼と夜の両方で使用可能なときはハイビームを使います。夜に他のドライバーの目をくらますのを避けるために、または霧で光が反射しすぎている場合にロービームを使います。

### シグナル

ウインカーを使って他のドライバーに自らの意図を知らせます。Spyder Roadsterには自動キャンセル式ウインカーが付いていますが、短いターンではキャンセルしないことがあります。操作の完了後にウインカーがOFFになっていることを確認します。完了後にONになっていると他のドライバーを混乱させてしまいます。

できれば、減速する前や交差点にたどり着く前にブレーキライトを点滅させ、背後のドライバーに警告します。

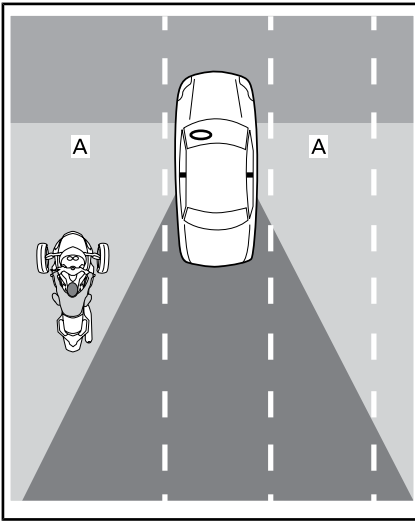
必要に応じてハザードランプを使って他のドライバーから見えやすくします。

さらにクラクションの使用を試みて、他のドライバーに自らの居場所を伝えることもできます。

他のドライバーがあなたのライト、シグナルまたはクラクションの音に気づいたと決め付けなくてください。

### 死角

他の車両の死角に運転するのは避けましょう。前方に走っているドライバーがミラーからあなたを見えやすいように自分の位置を設定します。トラックまたはバスを追跡している状況などの特定の場合は、前方の車両との間の車間距離を多めにとりましょう。



A. 他の車両の死角

### 時刻と天気

夜、夜明けや夕暮れなどの照明が薄い場合、および雨または霧などの悪い天候の場合は、他のドライバーから見えにくい場合があります。夜明け、夕暮れまたは非常に明るい日光からのまぶしい光によって、他のドライバーから見えにくくなります。

### 衣服

明るい色または蛍光衣類は視認性を高めます。

### 他のドライバーから見えていても 気をつけましょう

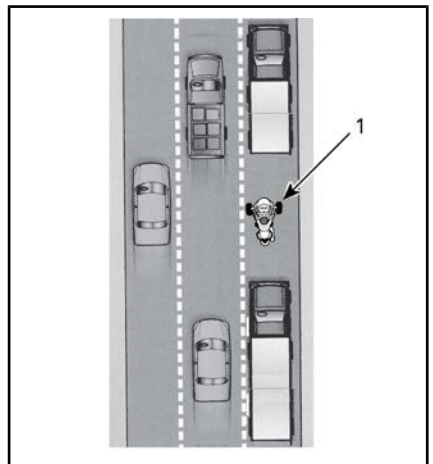
他のドライバーがあなたの存在に気づいていても、衝突のリスクを作るような運転の仕方をする可能性があります。防衛運転をし、他のドライバーが安全運転をすると決め付けないことです。

### 車線の位置

通常は、Spyder Roadsterを車線の中央に位置付けます。このポジションは前輪を車線内に留めます。これは他の車線にいる車両との車間距離をとり、大型車両からの風の影響を低減し、車線変更した車両から衝突されるリスクも軽

減します。このポジションは車線の中央の滑りやすい箇所から前輪を遠ざけ、ブレーキおよびステアリング能力を維持します。Spyder Roadsterの席は車両の真ん中に位置しており、乗用車と視線が異なるため、乗用車の運転に慣れている方は注意してください。

危険を避けるために車線の左側または右側に移動したり、他の車両やカーブから距離を置きます。さらにより良い眺めを得るため、または他のドライバーの視線を得るために車線の左側または右側に移動することもできます。Spyder Roadsterの中央にある席と幅によって、車線の端にいても周りの交通が見えづらい場合があります。幅が広い、または背が高い車に対してより多く車間距離をとる必要があることがあります。周りの交通を把握するために車輪を車線の外にはみ出すのは避けましょう。前方のドライバーから見える車間距離をとるには、あなたが相手のミラーを見る距離でなければなりません。大型車両によって追跡されている場合は、車線の左側にいないと通行車両があなたを識別できない可能性があります。



1. 車線の左側にある車両

Spyder Roadsterはモーターサイクルより幅が広いいため、車線内では限られた位置付けしか行えませ

ん。車線の左または右側で走行する場合は、前輪が車線内に留まっていることを確保します。

多車線の道路では、車の流れにのったあなたの速度に見合った車線を選び、視認性を重視し、回避行動用（他の車線または路肩に急ターン）の通り道を考えておきます。

## 一般的な運転状況

### 交差点

路地や私道をつなげる小さい交差点など、交差点には横断歩道があるため、更なるリスクがあります。常に全方向の交通に注意してください。背後、前方および左右を監視します。

交差点で停止する場合は、次の角を曲がる場合でも、車線の真ん中で停車します。これにより他のドライバーから見やすくなり、あなたの周りを運転しようとする行為を妨げます。背後から迫る車両に気を付けてください。迫ってくる車両に対してブレーキライトを点滅させます。第一ギアにいい、必要であれば衝突を避けるための回避準備をしておきます。

### 車線変更および追い越し

Spyder Roadsterはモーターサイクルより幅が広く、他の車両を追い越すには車線の幅をより必要とすることを考慮してください。この車両は乗用車より見えにくいいため、十分余裕を持ってウインカーをつけ、ミラーおよび死角を確認することが特に重要です。車線変更後にウインカーをOFFにし忘れないようにします。車線変更だけではハンドルが十分に切られず、シグナルが自動的にキャンセルされません。

2車線（スプリットレーン）の間の上を絶対に走行しないでください。車両の幅が広がります。

路肩に沿って他の車両を絶対に追い越そうとしないでください。車輪が一つでも道路からはみ出た場合、コントロールを失いかねません。

### ターン

ターンの時は減速し、周りをよく見てきちんとステアリングを制御することを忘れずに。

- **減速：**ターンする前に、スロットルを放し、ブレーキを使ったリ低速にシフトダウンすること  
で必要に応じて速度を落します。維持できる範囲の速度でターンを開始します。  
Spyder Roadsterはモーターサイクルよりターン時のブレーキの効率が良いですが、それでもターンやカーブを曲がる最中よりその前に減速することが重要  
です。ブレーキとターンの両方  
には駆動伝達が必要で  
す。ブレーキに駆動伝達を使えば使う  
ほど、同時にターンするだけの  
駆動伝達が無くなります。  
ターンやカーブの曲がり方が早  
すぎると、前輪の内側が舗装か  
ら浮き上がり、VSSがエンジンの  
出力を制御し始める音が聞こ  
える場合があります。VSSはコ  
ントロールの維持に役立ちます  
が、ターンが早すぎるとスピン  
したり転がり落ちてしまう可  
能性があります。
- **周りをよく見る：**ターンの全過  
程において周囲に注目し、視線  
を動かし続けます。ターン全体  
をできるだけ早く評価します -  
表面特性、ターンの切れ味およ  
び全体の交通状況 - こうするこ  
とで、速度および位置に対して  
決定を下す時間が確保できま  
す。時には、ターンの方向に頭  
を傾けることで全体の把握がよ  
り可能となります。
- **ステアリング：**ハンドルを切っ  
てターンの方向に車両を操縦し  
ます。Spyder Roadsterはモ  
ーターサイクルとは異なるため、  
カウンター・ステアができず、  
車両を傾けさせることはできま  
せん。ターンによる横力を経験  
するため、この間に姿勢を保つ  
にはターンの内側に重心を移行  
させる必要がある可能性があります。  
モーターサイクルと比べて、  
ハンドルをより力強く回す  
必要があります。

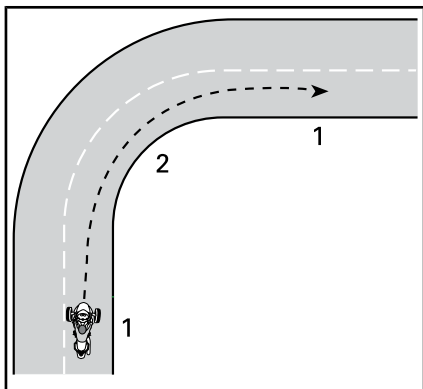
## SM6モデル

ターンの際に変速する場合は、クラッチレバーをあまりにも早放さないようにします。エンジンおよび車両の速度を一致させるためにクラッチレバーをスムーズに放しながらスロットルを調整します。クラッチを放すのが早すぎたり、スロットルを開けすぎると、後輪が駆動伝達を失い、横滑りしただしてコントロールを失いかねません。駆動伝達・コントロール・システム(TCS)は車両がスピンし始めるのを検出し、後輪に伝達される動力を削減します。この介入は後輪に駆動伝達を取り戻されることを意図し、車両を意図された旋回半径に維持するための、不要なオーバ・ステアリングの補正を可能にします。

## カーブ

Spyder Roadsterは乗用車より幅が小さいため、カーブでの通り道を正すために車線内を左右に動き回することもできます。ただ、Spyder Roadsterはモーターサイクルより幅が大きいので、左右の動きは限られます。重要なのが前輪が車線からはみ出ないことです。

通常のカーブでは、アウト、イン、アウトの通り道がベストです。



通常のカーブの通り道

1. アウト
2. イン(内側)

## 坂

傾斜に適切なギアを選択します。低速ギアは、坂を登る時に十分な動力を維持することができます。ダウンヒルの場合、低速ギアに入るとエンジンブレーキが速度のコントロールに役立ちます。

## SM6モデル

傾斜の上ですでにいる場合は、クラッチレバーを半クラッチにさせるまで車両の位置をブレーキで維持させます。次に、クラッチレバーを放してスロットルを開けながらブレーキをスムーズに放します。

## SE6モデル

SE6モデルは停車時に、どのギアに入っているかに関係なく、転がり落ちてしまう可能性があります。SE6モデルは停車状態でクラッチが必ず解除されているので、トランスミッションだけでは車両の位置をそのまま固定することはできません。傾斜上で停車している状態では、ブレーキペダルを押し続けます。傾斜上で始動するには、スロットル開度を増加しながらブレーキペダルを踏み続けます。クラッチが作動したと感じたら(約1500 RPM)、ブレーキペダルを放します。

## 夜間の運転

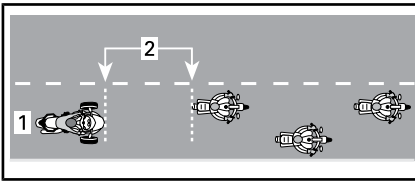
他のドライバーからの注目を引くためにライトやシグナルを使う他にも、夜間の視認性も考慮してください。適切な時にハイビームを使用します。スピードの出しすぎに注意しましょう(スピードを出しすぎて、停止距離までよく見えない状態)。他の車両のヘッドライトを利用して前方を見渡すこともできます。

夜間には着色のバイザーまたはレンズを使用せず、バイザーに傷や汚れがなように特に気をつけます。

## グループでの走行

グループでの走行は単縦列でのみ行ってください。モーターサイクルとも車線を絶対に共用しないでください。

モーターサイクルと走っている際は、前方のモーターサイクルが同じ車線の隅にいる場合でも、適切な車間距離をとります。カーブでは、モーターサイクルの通り道を辿らないでください。モーターサイクルはカーブで車線の端により近づくことができます。それをこの車両で辿ってしまうと、前輪が車線から出てしまいます。モーターサイクルはSpyder Roadsterより早くカーブを曲がるができます。モーターサイクルの速度に合わせないでください。



グループ走行のポジション

1. 車線の中央
2. 2秒後の距離

特にカーブが多い場合は、Spyder Roadsterの使用者はモーターサイクル運転者より早く疲れてしまう場合があります。モーターサイクルに追いつこうとして体力の限界を超えようとししないでください。疲れたら停車して休んでください。

## 道路状況および危険性

### 氷、雪およびぬかるみ

凍結した道路、雪道、またはぬかるみの上では走らないでください。VSSを用いても、これらの滑りやすい表面ではコントロールを維持する駆動伝達がありません。Spyder Roadsterは乗用車より滑りやすい表面ではスピンアウトしてコントロールを失ってしまいます。

### 砂利、土および砂

砂利、土または砂で覆われた道路では、余分に注意し、特にカーブでは速度を落します。これらの表面は舗装道路のような駆動伝達がないため、VSSを用いてもコントロールを失ってしまいます。

### 湿潤路面および水溜り

通常は、舗装上に水溜りがない限り（水が流れているなど）、湿ったり濡れた舗装ではコントロールを維持できるだけの駆動伝達がありません。その他の車両と同じく、Spyder Roadsterは道路上の水溜りの上を早く運転しすぎてしまうというハイドロプレーンしてしまいます。ただ、他の乗用車やモーターサイクルと比べてより低い速度でハイドロプレーンが起きます。ハイドロプレーンはより深い水溜りの上で起こりやすいです。深さを確認するには、他の車両が通った時の水の動きに注意してください。

ハイドロプレーンが起きた場合は、一つ以上の車両が水上に浮き上がり、道路との接触を失います。これが後輪に起きた場合は、後輪が横にずれているように感じるかもしれません。ハイドロプレーンした車輪は車両をコントロールするために必要な駆動伝達を提供しません。コントロールを失ってスピンアウトしてしまい、VSSでもコントロールを維持することはできません。

大きな水溜りや水流を避け、大雨の場合は速度を落すか路肩に停車してください。水溜りの上を走行する必要がある場合、水溜りに到達する前にできるだけ速度を避けます。

水の上を通った後は、ブレーキの動作を確認します。必要であればブレーキを数回かけ、摩擦によりブレーキパッドを乾燥させます。

適切にメンテナンスされたタイヤはハイドロプレーンのリスクを抑えます。必ず以下の推奨されるタ

イヤの空気圧を維持してください。

| 冷間時のタイヤ空気圧 |                  |
|------------|------------------|
| 前輪         | 138 kPa ± 14 kPa |
| 後輪         | 193 kPa ± 14 kPa |

注: 左右のタイヤの圧力の差は3.4 kPa以上超過させないでください。

ハイドロプレーンのリスクを最小限に抑えるために、最後のトレッドウェアインジケータが見える場合は、タイヤをすぐに交換してください。

雨が降り出した最初の数分間は油や汚れが水と結合するため、車線の中央は特に滑りやすくなります。雨水が多い場合は、磨耗した舗装に蓄積されることがあります。これらの駆動伝達が少ない箇所は避けます。できれば前輪を駆動伝達が一番良い箇所に留めておきます。

### オフロードでの使用

Spyder Roadsterをオフロードで使用しないでください。車両はオフロードの駆動伝達が少ない、でこぼこの粗面には耐えられません。簡単に動けなくなったり、コントロールを失ったり、あるいは転倒してしまいます。さらに、特定の地域ではオフロードで使用することは違法である場合があります。

### 障害物、穴やでこぼこ面

できれば障害物、穴やでこぼこ面の上を走らないでください。もし避けられない場合は、そこに到達するまえにできるだけ減速し、ブレーキを放しながら進みます。より幅広い障害物やでこぼこ面に対しては、できればストレートにアプローチし、両方の前輪が同時に直面するようにします。両方の前輪で障害物、でこぼこ面や穴の上を走行する場合は、乗り手はペグの上に少し立ち上がり、足を使っ

て衝撃を和らげるような姿勢をとります。車輪が障害物にぶつかるかもしれないことを想定して準備しておきます。より幅が狭い障害物、でこぼこ面や穴に対しては、後輪で乗り上げる方がよいです。前輪で乗り上げる場合は、ハンドルをしっかりと握り、スロットルを誤って開けてしまわないようにし、必要であれば軌跡を調整する準備を整えておきます。

かなり大規模の障害物、でこぼこ面または穴に直面してしまった場合、衝撃によって車両が跳ね上がったって乗り手に車両部分があたってしまい、乗り手が車両から放り出されたり、コントロールを失ったり、スピニングや転倒してしまう場合があります。

車両を回避するために完全に停止できない場合は、急ターンして回避してください。必要であれば急ターンとブレーキを同時に行うこともできます。

鹿などの大型動物が道路上にいる場合は、その箇所に到達する前に停車し、動物がいなくなるまで待ちます。犬が追いかけてきた場合は、犬が近づくにつれて減速し、犬と直面する直前に加速して回避することが推奨されます。

### 道路上での緊急事態

走行中に車両の異常や予期しない出来事が起こります。メンテナンスの行き届いた車両は異常のリスクを軽減させますが、その緊急事態に備えておくことが推奨されます。

- オペレーターズガイドおよび工具キットを必ず車両の中に入れておきます。走行中の問題に関する技術的ガイドラインについては、道路側での修理をご参照ください。



- 道路の上で停車する場合は、次の注意事項に従ってください。
  - 道路に舗装された路肩がある場合は、高速から降りるシグナルをだし、交通速度に近い速度で車線からでて、完全に停車するまで減速します。
  - 路肩が舗装されていない場合は、右折のシグナルをだし、安全な速度まで減速してから舗装道路をでます。
  - 注目度を高めるためにハザード警告灯ライトをONにします。
- 携帯電話やその他の通信機器を持っている場合、長距離の旅にでる前に完全に充電させてください。
- 衝突事故に関わってしまった場合、BRPは再度使用する前に車両をお近くのCan-Am Roadsterのディーラーに持って行き(車両の移送を参照)、安全性に関する点検をしてもらうことを強く推奨します。
- BRPの事故報告書に記入します。

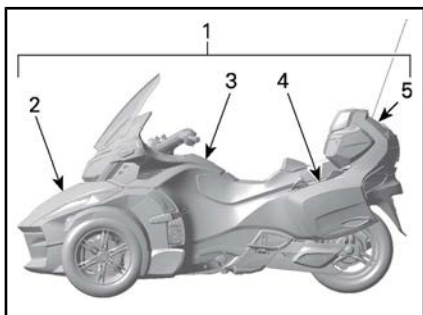
## タイヤの故障

タイヤが故障したり急にパンクした場合は、ハンドルをしっかりと握り、徐々に低速し、安全な場所に慎重に進み、停車します。急ブレーキをかけたり、シフトダウンや急なハンドルの扱いは避けてください。前輪が故障した場合、車両は故障したタイヤの方向に引っ張られる可能性が高いため、車両のコントロールを維持するにはハンドルをしっかりと握る必要があります。タイヤ修理の指示については、道路側での修理のセクションをご参照ください。

# 同乗者や積荷を乗せる、またはトレーラーの牽引

## 重量制限

乗り手および積荷の重量制限を超えないでください。



1. 224 kg
2. 16 kg
3. 2 kg
4. 7 kg (各側)
5. 9 kg

| 重量制限                                                 |        |
|------------------------------------------------------|--------|
| 車両積載重量制限<br>(ドライバー、同乗者、積荷<br>および追加されたアクセサ<br>リも含みます) | 224 kg |
| フロントストレージコン<br>パートメント                                | 16 kg  |
| グローブボックス                                             | 2 kg   |
| サイド・ストレージ・コン<br>パートメント (各側)                          | 7 kg   |
| 上部ストレージコンパート<br>メント                                  | 9 kg   |

超過重量は：

- 加速、ブレーキおよびターンの効率が妨げます。
- VSSの効率が妨げます。
- 重すぎたり、重量が後部に集中している場合、反転のリスクが高まります。
- 地上高を減少させ、高さが低い障害物やでこぼこ面に直撃するリスクが高まります。
- タイヤの故障のリスクを高めます。

## 超過重量で運転する場合

同乗者や重い荷物を乗せることは、車両がより重くなってしまい、重量配分が不均一になってしまうため、車両の動きが左右されてしまいます。

1. より素早く加速できなくなってしまう可能性があります。他の車両を追い越す場合はより時間と車間距離を必要とします。
2. より素早く停止できなくなってしまう可能性があります。前方車両との間の車間距離を最低でも3秒間まで引き伸ばします。理想的な運転状況でない場合は（視界不良、コンディションの悪い路面など）、より長い車間距離をとります。
3. よりシャープなターンや、高速でのターンを行うことはできなくなります。ターンの前は通常異常に低速し、急ターンを避けます。
4. Spyder Roadsterはより不安定になる場合があります。後部に片寄った重量配分（同乗者の乗せた場合など）で極端な操縦をした場合は、転倒や転がり落ちるリスクが高まります。

## 同乗者を乗せた運転

Spyder Roadsterはドライバーの後ろに同乗者が一人乗れるように設計されています。複数の同乗者を絶対に乗せないでください。

あらゆる場面で一人で走行し、車両を適切に操縦できるまで、同乗者を乗せないでください。

同乗者は酔いが完全に醒め、集中できる状態にあり、適切にフットレストや取っ手を使い、バランスを保ち、極端な操縦時にしっかりとつかまり、ドライバーの気をそらさないことが必要です。

同乗者はドライバーの指示に従い、オーディオコントロールを使用する必要があります。

同乗者も適切な保護具を着用している必要があります。同乗者は特

にヘルメットなど、ドライバーに推奨されるすべての保護具を着用する必要があります。顔を完全に覆ったヘルメットが推奨されます。急停止時に、同乗者の顔がオペレーターのヘルメットの後部に当たってしまう恐れがあるためです。

同乗者の姿勢が整うまでブレーキをかけておき、トランスミッションをニュートラルに入れておきます。

運転し始める前に同乗者に乗り方を教えます。同乗者に次のルールに従ってもらいます。

1. 適切な姿勢を保つこと。常に同乗者用の取っ手につかまり、足を同乗者用のフットレストに乗せておくこと。同乗者用のフットレストの高さは調整可能です。同乗者用フットレストの調整の仕方を参照します。同乗者がドライバーにつかまってしまうと、過度の横力にドライバーが耐えられない可能性があるため、避けてください。特定の操作に対して取っ手の握り方を変えてみるとより効果的な場合があります。(ターンでは片手を取っ手の正面に、もう一方の片手を反対側の取っ手の裏面を握ったり、その他の状況においては両手をさらに前方または後方に位置付けるなど)



A. 取っ手の様々な握り方

2. エキゾースト・パイプ、後輪およびドライブ・ベルトに近づかないでください。
3. ターンの際にバランスを保つ時以外は、後ろに振り向いたり傾いたりしないでください。予期しない操作の時は、通常の姿勢をとっていない同乗者は転がり落ちてしまう確率がより高くなります。
4. 先方をしっかり把握し、今後の道路状況に対応します。遠心力に抵抗するために必要に応じてカーブの方向に体を傾けます。障害物、穴またはでこぼこ面の土を走る場合は、肘をロックしないまま席から多少立ち上がります。

特に経験のない同乗者を乗せている場合、急な加速、ブレーキおよびターンは避けてください。予期しない急な操作は同乗者が転がり落ちてしまう要因となります。

## 荷物を乗せる場所

次のコンパートメントに荷物を乗せることができます。車両にBRPの承認されたアクセサリが搭載されている場合を除いて、他の箇所に荷物を乗せないでください。

次のコンパートメントに燃料などの可燃性のものを絶対に積まないでください。

各コンパートメントの積載重量制限を必ず守ってください。重量制限をご参照してください。

## グローブボックス

グローブボックスは小さい私物の保管に最適です。

運転中に(通行料金など)瞬時に必要な物を保管するのにとても便利です。

注: BRPのオプションのトレーラーに使用できるキーシリンダーがグローブ・ボックスに入っています。これは車両のキーをトレー

ラーに使用することを可能にします。

## フロントストレージコンパートメント

フロント・ストレージ・コンパートメントは最も広々として、ヘルメット二つや他の物が保管できます。フロント・ストレージ・コンパートメントには本オペレーターズガイドを保管する指定箇所が設けられています。

運転する前にコンパートメント・カバーのラッチが固定されていることを確認してください。

## サイド・ストレージ・コンパートメント

サイド・ストレージ・コンパートメントはヘルメットまたはその他の軽い物を保管する場所です。



運転する前にストレージ・コンパートメント・カバーのラッチが固定されていることを確認してください。

## 上部ストレージコンパートメント

上部ストレージ・コンパートメントはヘルメットまたはその他の軽い物を保管する場所です。



### 代表的な例

運転する前にストレージ・コンパートメント・カバーのラッチが固定されていることを確認してください。

## トレーラーの牽引

RTシリーズの車両は、BRPのオプションのトレーラー（BRPのオプションのヒッチ付き）が牽引できるように設計されています。

Roadster RTシリーズのVSS（車両安定システム）には、適切な車両安定コントロールを維持しながらBRPトレーラーが牽引できるようにプログラムされています。

Roadster RTシリーズに特別にデザインされたBRPのトレーラー、またはBRPにより承認されている同等のトレーラーのみ使用してください。これは通常の操作でRoadsterの安定性が確保され、車両安定システムに支障がでないようにするためにトレーラーとRoadsterの安定性を確保するため重要なことです。

**注記:** 推奨されない配線ハーネスの使用は車両電気システムの故障につながる恐れがあります。

**警告**

その他のトレーラーの使用は車両の損傷、または車両安定システムの適切な操作に支障がでてしまいます。トレーラーの牽引時にクルーズコントロールを使用することは推奨されません。

トレーラーの牽引は、重量の大きさや重量配分の違いによって車両の扱い方に大きく影響します。

- 他の車両を追い越す場合はより時間と車間距離を必要とします。
- ブレーキに対してより長い距離をとってください。
- 前方車両との間により長い車間距離をとってください。
- ターンの前は減速し、通常異常に低速し、急ターンを避けます。
- 過度の操縦では、転倒や転がり落ちるリスクが高まります。

他の車両に追い越されたり横切られた時に発生する横風と乱気流によってステアリングが影響され、トレーラーが揺れることがあります。この効果を最小限に抑えるために、一定の速度で運転し、急に曲がったりブレーキを調整したりしないでください。

カーブを曲がる前に減速します。

コーナリングの時は、より大きな半径をとってターンしてください。トレーラーを付けてターンする場合は、より大きなスペースを必要とします。

トレーラーを付けたまま後退しなくてはならない状況を防ぐために、先読みしながら運転します。

後退する時は、必ずゆっくり後退します。できるだけ他の人に指示してもらいます。まず最初に空地で練習してください。必要とされる運転技術および実践演習をご参照ください。

できれば、急ターン、捻じ曲がり、ターンや急ブレーキを避けてください。これはトレーラーが折り曲がったり、転倒してしまう恐れがあります。空のトレーラーはより簡単にバランスが崩れます。加速する場合は、過度のエンジン負荷を避けるためにより高いRPMでシフトすることは一般的な操作です。

**注記:** 後輪をスピンすることは避けてください。石や砂利がトレーラーにかかってしまい、損傷させてしまう恐れがあります。

**坂の特性**

できれば上り坂を登っている最中に停止するのは避けてください。

停止状態から坂を登るには、エンストを防ぐためにクラッチ滑りがより必要となります。

坂を登る際は、速度変化を最小限に抑えるためのエンジンの十分な動力を確保するためにシフトダウンをより頻繁に行う必要があります。

下り坂の場合は、ブレーキを常に踏むよりも一回以上ギアをシフトダウンさせ、エンジン・ブレーキを利用して減速します。減速または停車させるにはより長くかかります。

**積載重量制限****警告**

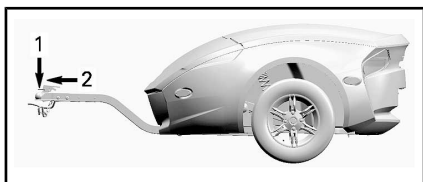
転倒のリスクが高まるため、トレーラー・カバーに荷物を絶対に乗せないでください。すべての荷物はトレーラー内に保管します。

積載重量制限は適切な牽引機器で確認する必要があります。

| 牽引仕様            |       |
|-----------------|-------|
| トレーラーの接合部への最大重量 | 18 kg |

| 牽引仕様               |        |
|--------------------|--------|
| 最大牽引重量(トレーラーおよび積荷) | 180 kg |

注: トレーラーに積載できる荷物の最大重量については、CAN-AM FREEDOM トレーラーのオペレーターズガイドをご参照ください。



1. 18 kg
2. 180 kg

トレーラーに荷物が積み込まれた場合は、接合部に負担がかかります。車両に接合されていない状態で接合部にかかる重量を測定するにははかりを使用することもできます。荷物を乗せた後トレーラーにまだ余裕がある場合は、トレーラーの前部に荷物を積み始め、接合部の重量限度に達した場合は、残りの荷物をトレーラーの後部に積みます。トレーラーの重量配分は接合部にかかる重量に影響します。接合部にかかる重量の仕様を充たすために、トレーラー内の重量を再配分します。接合部に重量がかかりすぎると、ステアリング制御が低減されます。接合部に重量がかからなすぎると、トレーラーが不安定になり、揺れてしまいます。

## 警告

最大牽引重量を超えてしまうと、車両のハンドリングおよび効率に深刻な影響を及ぼします。トレーラーの牽引により、車両のハンドリング、安定性、加速および制動距離が影響されます。正しい積載および重量配分が重要です。絶対に不適切に過負荷、牽引または荷物を積んだりしないでください。車両を操作する前に荷物がトレーラーに適切に配布され、安全に固定されていることを必ず確認してください。より高い重心からの影響を低減させるために、できるだけ積荷を必ず固定します。ここに記載されている推奨事項に従わないと、車両のハンドリングが影響され、車両のコントロールを失いかねません。

**注記:** 最大牽引重量を超えてしまうと車両またはトレーラーを損傷しかねません。車両を損傷しかねない、鋭角の重い部品を運ぶのは避けてください。トレーラーが牽引されている際に荷物が動かないように配置してください。

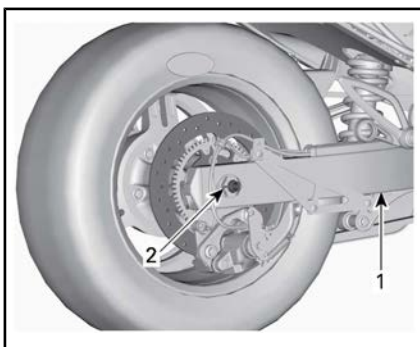
## ヒッチ

BRP製のヒッチまたはBRPに承認された同等品のみ使用してください。BRPヒッチは車両のスイングアームに適切に適合し、車軸にしっかりボルトで固定します。

**注記:** 推奨されていないヒッチを使うと、リヤ・スイング・アームの故障につながりかねません。

## 警告

車両からヒッチを取り外した後は、必ず車軸ナットを固定するために新しいコッターピンを取り付けます。



より分かりやすく説明するために、車軸キャップおよびマフラーは省略されています

1. スイングアーム
2. 新しいコッターピンはここに取付けます

### 安全ケーブル

トレーラーを牽引する場合は必ず安全ケーブルを使用します。トレーラーおよびヒッチに固定し、接合部の下を通るようにします。トレーラーがコーナーを曲がれるようにケーブルがある程度たるむようにします。トレーラーと車両が直線で結ばれている時は、チェーンが地面に接触しないようにします。

# 知識セルフテスト

以下の質問は、本ガイドで習った情報の復習です。これにはすべての情報は含まれませんが、車両および操作に関する一般的な理解を得ているか知ることができます。

解答は、質問ページの次のページをご参照ください。

## 質問

1. 急停止する場合は、ブレーキペダルを踏んでパーキングブレーキを作動させます。

○  x

2. 走行前の点検は一週間に一回は行うべきだ。

○  x

3. VSSはどの天候でも車両を使用できるようにする。

○  x

4. タイヤを交換する場合は、Can-Am Roadsterの認定ディーラーディーラより入手したBRP認定のタイヤのみ使用するべきだ。

○  x

5. 同乗者が同乗者の意識がはっきりして、酒を飲んでいない状態であることが重要だ。

○  x

6. 傷害の危険性を低減させる保護具を六つ挙げてください。

1) \_\_\_\_\_

2) \_\_\_\_\_

3) \_\_\_\_\_

4) \_\_\_\_\_

5) \_\_\_\_\_

6) \_\_\_\_\_

7. 保護具は、傷害を防ぎ軽減させ、快適さを保ち、気象要素から身を守るために欠かせません。

○  x

8. 以下のなかで車両をコントロールしないものを挙げてください。

a. ハンドル

b. ねじれスロットル

c. フロント・ブレーキ・レバー

9. 視認性を高めるために昼間でもロービームのライトをONにし続けるべきだ。

○  x

10. 通常は、車両を車線の中央に位置付けるべきだ。

○  x



11. 通常のモーターサイクルとは異なり、ブレーキをかけながらターンすることを習慣にするべきだ。  
○ x
12. 通常の状況では、車間距離は最低\_\_\_\_\_であるべきだ。  
a. 1秒 ○ x  
b. 2秒  
c. 3秒
13. 承認された容器に入っているも、ガソリンなどの引火性液体をストレージ・コンパートメントに保管してはいけません。  
○ x
14. 他のドライバーから注目を得る5つの方法を挙げてください。  
1) \_\_\_\_\_  
2) \_\_\_\_\_  
3) \_\_\_\_\_  
4) \_\_\_\_\_  
5) \_\_\_\_\_
15. 駆動伝達が良好ではない道路面でブレーキをかける場合は、車両のコントロールを維持するためにポンピング・ブレーキを行うべきだ。  
○ x
16. 乗り手、荷物およびアクセサリを含めた車両の最大荷重は224 kgだ。  
○ x
17. 最大牽引重量が180kgを超えない限り、車両は安全にトレーラーを牽引することができる。  
○ x
18. 同乗者はドライバーにつかまらなければならないべきだ。  
○ x
19. Spyder Roadsterの運転は乗用車の運転と同じくらい安全だ。  
○ x
20. ABSは車輪をロックさせないでブレーキペダルを強く踏めるようにさせる。  
○ x

## 解答

1. x

急停止するには、ブレーキペダルのみ踏みます。

2. x

乗る前に必ず走行前の点検を行うべきです。

3. x

ハイドロブレーンを起こすほど氷、雪、泥または水が道路を覆ってる場合は、VSSを用いてもコントロールを維持することはできません。

4. ○

5. ○

6. 1) ヘルメット

2) 目および顔の保護

3) 長袖のジャケット

4) グローブ

5) 長いパンツ

6) できれば丈が長い、つま先を覆ってるフットウェア

7. ○

8. c. フロント・ブレーキ・レバー

車両にはフロント・ブレーキ・レバーはありません。

9. x

昼間中はハイビームを使用するべきです。

10. ○

11. x

必要であればブレーキとターンを同時に行うこともできますが、通常はターンの前にブレーキをかけることが推奨されます。

12. b. 2秒

通常の状況では、車間距離は2秒以上とるべきです。

13. ○

14. 1) ライトおよびリフレクターが掃除されてあることを確認します。

2) 可能な限りハイビームを使います。

3) ウィンカーを使います。

4) 減速する前にブレーキライトを点滅させます。

5) 必要に応じてハザードランプを使います。

6) クラクションを鳴らして他のドライバーに自らの存在を知らせます。

7) 死角の中で運転するのは避けれます。

8) 明るい色および蛍光衣類を着用します。

15. x

ポンピング・ブレーキではなく、ブレーキ・ペダルを踏み続けるべきです。車両には、車輪のロックを防ぐABSが搭載されています。

16. ○

17. ○

すべての推奨事項が厳密に従われている限り、トレーラーを牽引することは可能です。

18. x

同乗者は必ず取っ手につかまるべきです。

19. x

乗用車およびトラックでは、車の構造が身を守ります。さらに、同乗者はシートベルトを着用することでさらに身を守ることができます。Spyder Roadsterは乗用車の運転よりさらにリスクが高く、損傷のリスクはモーターサイクルのリスクと類似していることをご了承ください。

20. ○

# 車両に記載されている安全情報

この車両には、重要な安全情報が記載されている下げ札およびラベルが付いています。

この車両に乗る人は必ずこの情報をよく読み理解した上で乗ってください。

## 下げ札



### 警告

**Spyder ロードスターは、通常とは異なるタイプの車両です。 - 特別なスキルと知識が必要となります。**  
**Spyder ロードスターの違いを学んでください。**

オペレーターズガイド(フロントストレージコンパートメント内にある)を読み、安全に関するビデオを見てください。  
トレーニングコース(利用可能な場合)を終了し、**練習を積んで**、車両をうまくコントロールできるようになったら、適正な免許を取得してください。乗車の前に、安全カードを参照してください。

**常に、ヘルメットを着用し、乗車に適した装備をしてください。**

このタイプの車両では、ライダーは自動車の運転者より高い道路上のリスクに曝されます。高い運転技術を備えたライダーであっても、他の車両に衝突されて制御不能になる場合もあります。この車両は、衝突事故において運転者を保護しません。

#### 運転の限界と道路条件

車両の限界を超えた運転が行われた場合、車両安定システム(VSS)は制御不能、転倒、あるいは転落を防止することはできません。様々な道路条件での限界について氷上、雪上、オフロードで運転しないで下さい。道路上の水溜りや、流水を避けてください。このタイプの車両は、水上でハイドロプレーニングを起し、道路を覆った砂利、泥、砂でスリップする可能性があります。このような路面を走行しなければならない場合、速度を落としてください。

このハングタグは、車両の所有者によってのみ取り外すことができます。

704904124

## 安全カード

安全カードは多機能ゲージの上部にあります。乗る前にそれを引き出して内容を確認し、読み終わったしっかりと元に戻してください。

重要情報を確認するために、そして新しいドライバーや同乗者に車両の乗り方を教える時に安全カードをご参照ください。これには頻繁に参照される情報も記載されています。

注: このオペレーターズガイドに使用されている以下の図は参考までです。使用されているモデルは異なる場合があります。

**警告**

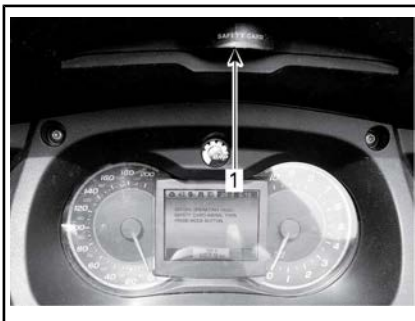
Spyderロードスターは異なるタイプの車両です - それには特別なスキルや知識が必要とされます。Spyderロードスターがどのように真なるのかを学んでください。オペレーターズガイドをよくお読みになり(フロントストレージコンパートメント内にあります)、そして安全に関するビデオをご覧ください。(利用可能な場合)トレーニングコースを修了してください。そして、練習し、制御方法に熟練し、適切な免許を取得してください。乗車する前に必ず次の手順を実行してください。

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>道路状況を確認してください。</b><br/>車両の駆動範囲を超えた場合、車両安定システム(VSS)によっても、操縦者が制御不能になったり、転倒および落下するのを防ぐことはできません。様々な道路状況での駆動範囲を把握してください。凍結した道路、雪道、またはオフロードでは乗らないでください。水溜りと流水を避けてください。この種の車両は水で覆われた道路でハイドロプレーニングを起こしたり、砂利、泥および砂で覆われた道路でスリップするおそれがあります。これらの道路状況で運転しなければならない場合は、減速してください。</p> <p><b>常にヘルメットとライディングギアを着用してください。</b><br/>このタイプの車両では、乗員は乗用車内の場合よりも道路での高い危険にさらされています。熟練した操縦者でさえ、他の車両に衝突されたり、制御を失うことがあります。この車両は事故時にライダーを保護しません。</p> | <p><b>乗客を指導してください。</b><br/>常に取っ手を握り、ベグに足を置いてください。<br/>• 道路を注意して見てください。カーブを曲がる時に体を傾けてください。<br/>道路の隆起部では身を引き締めてください。<br/><b>常に以下のことを心がけてください:</b><br/>• フットペダルを使ってブレーキをかけてください。<br/>• トレーラーを牽引している場合は、減速してください。<br/>• デンタル面を見る前に、周囲に障害物がなく、安全であることを確認してください。<br/>• 曲がる方向にハンドルを切ってください。カウンターステアをしないでください(カーブの向きとは逆にハンドルを切らないでください)。<br/>• 車線内にすべての車輪を保持し、常に単一の車線を走行し、単一の車線を他の車と一緒に走行(すり抜け)しないでください。<br/><b>走行前点検を行ってください</b></p> |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|



704904045

### 安全カード



1. 安全カード・タブの場所



代表的な例 - 安全カードが引っ張られている状態


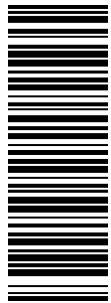
## 安全ラベル

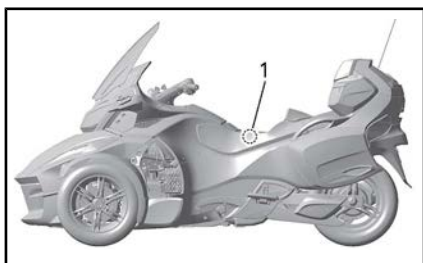
これらのラベルは、オペレーター、同乗者(2UP)または周囲の人々の安全のために車両に貼付されています。

以下のラベルは車両に付いており、車両の一部として扱ってください。ラベルが剥がれたり読めなくなったりした場合は、新しいラベルに交換してください。Can-Am Roadsterの認定ディーラーまでお問い合わせください。

注:このガイドおよび車体にいかなる不一致がある場合、車体の安全性ラベルはこのガイドのラベルより優先されます。

### ラベル 1

|                                                                                                                      |                                                                               |                   |                                           |                           |                                                                                                |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|-------------------|-------------------------------------------|---------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                      | <b>タイヤと積載量の情報/<br/>RENSEIGNEMENTS SUR LES PNEUS ET LE CHARGEMENT</b>          |                   |                                           |                           | 704904244<br> |
|                                                                                                                      | この車両はチューブレスタイヤを装備しています/<br>CE VÉHICULE EST ÉQUIPÉ DE PNEUS SANS CHAMBRE À AIR |                   |                                           |                           |                                                                                                |
| 乗車定員 /<br>NOMBRE DE PLACES                                                                                           |                                                                               | 合計:2席             | フロント<br>AVANT 1席                          | リア<br>ARRIÈRE 1席          |                                                                                                |
| 乗員と貨物を合わせた重量が 224 kg または 494 lbs を超えてはなりません<br>LE POIDS TOTAL DES OCCUPANTS ET DU CHARGEMENT NE DOIT JAMAIS DÉPASSER |                                                                               |                   |                                           | 224                       | 494                                                                                            |
| オペレーターズ<br>ガイドをお読みください<br>VOIR GUIDE<br>DU CONDUCTEUR                                                                | タイヤ/PNEU                                                                      | サイズ/<br>DIMENSION | 冷間時のタイヤ空気圧/<br>PRESSION DES PNEUS À FROID | タイヤメーカー<br>MARQUE DE PNEU | リムサイズ/<br>DIMENSION DE<br>LA JANTE                                                             |
|                                                                                                                      | フロント/AVANT                                                                    | MC165/55R15 55H   | 138 ± 14 kPa / 20 ± 2 psi                 | KENDA KR31                | 381 x 127mm<br>(15 x 5)in                                                                      |
|                                                                                                                      | リア/ARRIÈRE                                                                    | MC225/50R15 76H   | 193 ± 14 kPa / 28 ± 2 psi                 | KENDA KR21                | 381 x 178mm<br>(15 x 7)in                                                                      |
|                                                                                                                      | スペア/PNEU DE<br>SECOURS                                                        | なし/AUCUN          | なし/AUCUN                                  | なし/AUCUN                  | なし/AUCUN                                                                                       |



1. ラベル 1の位置



1. ラベル 2の位置


### ラベル 2

**通知**

フロントガラスの損傷を防ぐには、アルカリまたは酸洗浄剤、ガソリンまたは溶剤で清掃しないでください。  
オペレーターズガイドを参照してください。

704903339

### ラベル 3

 **警告**

オーバーロード(過荷重)にしないでください。

**35 lbs (16 kg)**


積載重量制限

704903109



1. ラベル3はフロント・ストレージ・コンパートメント内にあります

### ラベル 4

 **警告**

オーバーロード(過荷重)にしないでください。

**15 lbs (6.8 kg)**


積載重量制限

704903112



1. ラベル4はサイド・ストレージ・コンパートメント内にあります

### ラベル 5

 **警告**

オーバーロード(過荷重)にしないでください。

**20 lbs (9 kg)**


積載重量制限

704903114



1. ラベル5は上部ストレージ・コンパートメント内にあります

### ラベル 6

 **注意**

エンジンルーム内のエンジンオイルと特定のコンポーネントは高温の場合があります。直接接触すると、皮膚を火傷するおそれがあります。

エンジンオイルレベルのチェック：

- **エンジンが運転温度に達していることを確認してください。**
- 手順のためを参照してください。オペレーターズガイド
- 少なくとも乗る 15 km (9 miles).
- ロードスターは平面上になければなりません。
- 10分間ほどアイドリングさせてから
- エンジン进行を止めます。
- エンジン停止後2分以内に測定してください。
- オイルレベルを確認する前に、オイルゲージを完全にねじ込んでください。
- XPS シンセティックブレンドオイルのサマーグレードまたは同等のオートバイ用オイルを使用してください。

70490324



1. ラベル6は席の下にあります

## ラベル7



クーラント・リザーバ・キャップ



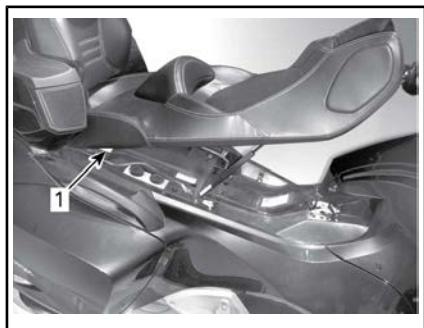
1. ラベル7はサービスカバーの下にあります

## ラベル8

**⚠ 警告**

取り外す前に燃料タンクキャップを清掃してください。  
密閉容器に入っているDOT4のブレーキ液のみ使用してください。

704903119



代表的な例

1. ラベル8は席の下にあります

## ラベル9

**⚠ 警告**

最低圧力 70 kPa / 10 Psi  
推奨圧力 70 kPa / 10 Psi を超えないようにしてください。

| 積載       |         | (1バツセンジャー+カーゴ) Kg / Lb <small>704904300</small> |        |        |        |         |        |
|----------|---------|-------------------------------------------------|--------|--------|--------|---------|--------|
|          |         | 0                                               | 45/100 | 70/150 | 90/200 | 115/250 |        |
| 1バツセンジャー | Kg/Lb   | 70/150                                          | 310/45 | 380/55 | 450/65 | 480/70  | 515/75 |
|          | kPa/Psi | 90/200                                          | 345/50 | 415/60 | 480/70 | 515/75  | 550/80 |
|          | kPa/Psi | 115/250                                         | 380/55 | 450/65 | 515/75 | 550/80  | 585/85 |



代表的な例

1. ラベル9は席の下にあります



---

## 安全面での欠陥の報告

あなたの安全はBombardier Recreational Products Inc. (BRP)にとって非常に重要です。質問がありましたら、即時にBRPの顧客サービスまでお問い合わせください。

米国では、衝突、傷害または死亡を招きかねない車両の欠陥を発見した場合は、直ちに高速道路交通安全事業団 (NHTSA、「National Highway Traffic Safety Administration」) Bombardier Recreational Products Inc.にご連絡ください。

NHTSAは他のドライバーから似たような苦情を受け取った場合、調査を開始する場合があります。特定の車両に安全面における欠陥を見つけた場合は、製品回収と救済キャンペーンを実施する場合があります。ただ、NHTSAはあなたと、あなたのディーラーまたはRecreational Products Inc.の間に生じた個人的な問題に関わることはできません。

NHTSAのトールフリーのセーフティー・ホットライン、1888-327-4236 (TTY: 1-800-424-9153)までお問い合わせください。または、次のサイトにアクセスしてください：[www.safercar.gov](http://www.safercar.gov) または、次の住所宛てにご連絡ください：

Administrator  
NHTSA  
4007 Street SW  
Washington, DC 20590

さらに[www.safercar.gov](http://www.safercar.gov)から車両の安全に関する情報を入手してください。

---

**このページは  
意図的に空白になっています**

# 走行前の点検

# 走行前のチェックリスト

## 警告

毎回乗車前に、操作中に発生する可能性がある問題を検出するために乗車前の点検を実施します。乗車前の点検により、問題になるような磨耗や劣化を監視できます。発見した問題に対処して、故障または事故のリスクを低減します。必要に応じてCan-Am Roadsterの認定ディーラーまでお問い合わせください。

### 以下のものを点検してください。

- **タイヤ:** 損傷がないか点検。タイヤの空気圧およびトレッドの消耗を点検。メンテナンスの手順のサブセクションを参照してください。
- **車輪およびラグナット:** 損傷がないか点検。手で各前輪のラグナットをひねって緩くないか確認します。後輪車軸ナットが適切な場所にあるか確認します。
- **駆動ベルト:** ほつれ、切り傷、刺し傷および歯が失われていない確認。アラインメントを確認。更なる詳細については、メンテナンスの手順のサブセクションを参照してください。
- **漏れ:** 車両の下に漏れがないか確認。
- **ストレージ・コンパートメント・カバーおよびグローブボックス:** これらのコンポーネントのすべての掛け金を引っ張り、しっかりかかっているか確認します。
- 席の掛け金が正しくかかっていることを確認します。
- **ミラー:** 掃除および調整します(機器のサブセクションのミラーをご参照ください)。
- **ブレーキペダル:** 押ししてしっかり抵抗力があるか確認します。リリースするとペダルが完全に戻らなければなりません。

- **スロットルのハンドル:** 数回ひねります。自由に動き、リリース後にアイドリング・ポジションに戻ることを確認。
- **クラッチレバー:** (SM6モデル): ご都合に合わせて調整します(基本コントロールのサブセクションを参照)。普通に操作できるかどうか握って試し、リリース後に完全に元通りになるか確認します。
- **ギアシフト・セレクター** (SE6モデル): ギアシフトセレクターが両方向に対して正常に操作でき、リリース後に中央に戻るか確認します。
- **同乗者用フットレストの高さの調整:** 同乗者がフットレストの高さに満足していることを確認します。必要に応じて調整してください。
- **重量:** 車両総重量(ドライバー同乗者、荷物および付随されたアクセサリーも含めて)が224kgを超えないように確認します。
- **トレーラー:** トレーラーを牽引する場合は、荷物が適切に積まれて固定され、カバーの掛け金がかかっている、トレーラーおよび安全ケーブルが車両のヒッチに適切にかかっている、トレーラーのすべてのライトが作動し、リフレクターが掃除されていることを確認します。トレーラーのタイヤの状態および空気圧を確認します。
- **ラジエーター用ファン・グリル:** グリルに蓄積された破片を取り除きます。高圧洗浄器はラジエーター・フィンを損傷してしまいかねないため、使用しないでください。圧縮空気のみで掃除します。

**イグニッション・キーをONのポジションに入れます:**

- **多機能ゲージ**：ゲージ、インジケーター、メッセージおよび燃料レベルを確認します。
- **ライト**：ヘッドライト、テールライト、ブレーキライト、ウインカーおよびハザード警告ライトの操作を確認します。
- **クラクション**：作動を点検
- **ステアリング**：エンジンをスタートし、ステアリングが自由に動くか確認します。
- **エンジン・ストップ・スイッチ**：エンジン・ストップ・スイッチが正常であるか確認します。
- **パーキングブレーキ**：エンジンをスタートし、パーキングブレーキをリリースし、多機能ゲージでブレーキ・インジケーター・ランプがオフになっていることを確認します。
- **ブレーキ**：ゆっくり近距離を運転し、ブレーキをかけてテストします。

安全カードを元の位置に必ず固定させます。

---

**このページは  
意図的に空白になっています**

# メンテナンス

## メンテナンスのスケジュール

車両を安全な作動状態に保つために、メンテナンスが非常に重要です。**修理工場、または所有者任意の個人が、排出ガス制御装置およびシステムのメンテナンス、交換、または修理**を実施できます。これらの手順には BRP または Can-Am Roadster 認定ディーラーによるサービスやコンポーネントは必要ありません。Can-Am Roadster 認定ディーラーは、Can-Am Roadster のサービスに関する高度な知識とツールを有していますが、排出ガス関連保証は、Can-Am Roadster 認定ディーラーまたは BRP と取引のある工場の使用を条件としていません。排出ガス関連保証の請求では、BRP は排出ガス関連部品の診断と修理を Can-Am Roadster 認定ディーラーに制限しています。詳細は、本書に記載された米国 EPA 排出ガス性能保証を参照してください。適切なメンテナンスを行うことは、所有者の責任です。所有者による不適切なメンテナンスや使用が原因で問題が起こった場合などは、保証請求が拒否されることもあります。

本書の給油セクションに記載されている燃料に関する要件の指示に従ってください。容量パーセントが10パーセントを超えるエタノールを含有するガソリンが広く販売されている場合でも、米国 EPA は容量パーセントが10パーセントを超えるエタノールを含有するガソリンの使用を禁止しており、この車両にも適用されています。このエンジンに容量パーセントが10パーセントを超えるエタノールを含有するガソリンを使用すると、排出ガス制御システムを損傷する恐れがあります。

定期的な点検を実施し、メンテナンスのスケジュールを守ってください。スケジュール通りにメンテナンスを行っていても、始業点検は必要です。



メンテナンスのスケジュールや手順に従って適切に車両を維持しないと、安全な作動を損ねます。



| 初期点検 - 5 000 km                                                              |
|------------------------------------------------------------------------------|
| 故障コードを確認します。                                                                 |
| エンジンオイルおよびオイルフィルターを交換します。                                                    |
| クラッチ液レベルを点検します <b>(SM6モデルのみ)</b> 。                                           |
| ブレーキ液のレベルを点検。                                                                |
| リバース機構の作動を確認します。                                                             |
| エンジンクーラントレベルを点検します。                                                          |
| スロットルのツイストグリップ操作を点検します。                                                      |
| 照明装置(ブレーキライト、ハザード警告灯、方向指示灯、ポジションライト、ライセンスプレートライト)を点検します。ブレーキ・ライト・スイッチを掃除します。 |
| コントロールスイッチの機能を点検します。                                                         |
| 駆動ベルトの状態および張力を点検します。必要であれば、調整します。                                            |
| 前輪のラグナットの締め付けトルクを点検します。                                                      |
| 後輪車軸ナットの締め付けトルクを点検します。                                                       |
| パーキングブレーキの機能を点検します。必要に応じて調整します。                                              |
| 車輪の磨耗を確認します。必要であれば前輪の位置を合わせます。                                               |
| タイヤの空気圧を点検します。必要に応じて調整します。                                                   |
| ブレーキパッドおよびディスクの状態を点検します。                                                     |
| 同乗者の取っ手の緩みを確認します。                                                            |
| フットレストの緩みを確認します。                                                             |
| 車体パネルの緩みを点検します。                                                              |
| ストレージコンパートメントのラッチ、ヒンジおよびキーバレルの機能を点検します。                                      |

| 毎1,500 km      |
|----------------|
| オイルのレベルを点検します。 |

| 毎15,000 km、または1年ごと（どちらか先に訪れた時期）に   |
|------------------------------------|
| 故障コードを確認します。                       |
| エンジンオイルおよびオイルフィルターを交換します。          |
| クラッチ液レベルを点検します <b>(SM6モデルのみ)</b> 。 |

|                                                                              |
|------------------------------------------------------------------------------|
| 毎15,000 km、または1年ごと（どちらか先に訪れた時期）に                                             |
| ブレーキ液のレベルを点検。2年毎に交換します。                                                      |
| ブレーキ・ホースを確認します。                                                              |
| リバース機構の作動を確認します。                                                             |
| ラジエーター、ホースおよびウォーターポンプを点検します。                                                 |
| エンジンクーラントレベルを点検します。                                                          |
| 冷却システムの圧力テストを行います。                                                           |
| スロットルのツイストグリップ操作を点検します。                                                      |
| 照明装置(ブレーキライト、ハザード警告灯、方向指示灯、ポジションライト、ライセンスプレートライト)を点検します。ブレーキ・ライト・スイッチを掃除します。 |
| コントロールのスイッチおよび同乗者用のスイッチの動作を確認します。                                            |
| 燃料ホース、燃料気化線およびキャニスターの状態を確認します。                                               |
| バッテリー接続の締め具合を点検します。                                                          |
| 駆動ベルトの状態および張力を点検します。必要であれば、調整します。                                            |
| エキゾースト・パイプ、締め付けリング、つなぎ目およびガスケットの状態を確認し、締め付けます。                               |
| 異常がないか、ステアリングを点検します。                                                         |
| タイロッドの状態を点検。                                                                 |
| 漏れやその他の損傷がないか緩衝器を点検します。                                                      |
| 前輪のラグナットの締め付けトルクを点検します。                                                      |
| 後輪車軸ナットの締め付けトルクを点検します。                                                       |
| ボールジョイント状態を点検します。                                                            |
| 前輪のベアリング状態を点検します。                                                            |
| パーキングブレーキの機能を点検します。必要に応じて調整します。                                              |
| 車輪の磨耗を確認します。必要であれば前輪の位置を合わせます。                                               |
| タイヤの空気圧を点検します。必要に応じて調整します。                                                   |
| ブレーキパッドおよびディスクの状態を点検します。                                                     |
| 同乗者の取っ手の緩みを確認します。                                                            |
| フットレストの緩みを確認します。                                                             |
| 車体パネルの緩みを点検します。                                                              |

毎15,000 km、または1年ごと（どちらか先に訪れた時期）に

ストレージコンパートメントのラッチ、ヒンジおよびキーバレルの機能を点検します。

毎30,000 km

エアフィルターおよびエアフィルターハウジングを取り換えます。

クラッチ液を交換します**(SM6モデルのみ)**。

燃料フィルターを交換します(または5年ごとに)。

毎45,000 km

油圧制御モジュール(HCM) のオイルフィルターを取替えます**(SE6モデルのみ)**。

キャニスターの前置フィルターを交換します。

エンジン・クーラントを交換します(または5年ごとに)。

スパークプラグを交換します。

フロント・サスペンション・アームのラバーブッシュを確認します。

---

## 初期点検

最初の5 000 kmの運転の後、Can-Am の認定ディーラー、修理工場、または任意の個人により車両の点検を行うことを推奨します。このメンテナンスは非常に重要であり、怠ってはなりません。

注: この初期点検は車両のオーナーの費用負担で行われるものです。

初期点検を行った Can-Am 認定ディーラー、修理工場、または任意の個人に署名してもらうことを推奨します。

---

点検日

---

Can-Am 認定ディーラー、修理工場、  
または個人の署名

---

Can-Am 認定ディーラー、修理工場、  
または個人の名前

## メンテナンスの手順

このセクションでは、基本的なメンテナンスの手順を説明します。

### 警告

メンテナンスを行う場合は、まずエンジンを止めて、以下のメンテナンス手順に従ってください。適切なメンテナンス手順を守らないと、高温の部品、稼動部分、電気的、化学的あるいはその他の危険により負傷する恐れがあります。

## エンジンオイル

### 推奨エンジンオイル

同等のオイルがSE6モデルのエンジン、ギアボックス、クラッチおよび油圧制御モジュール (HCM) に使用されています。

XPS4ストローク合成ブレンドオイル (SUMMER) (P/N 293 600 121)、またはSL, SJ, SH, SGまたはそれ以上のAPIサービス要件を満たすモーターサイクル用の5W40の半合成(最小要件)または合成オイルを使用してください。必ずオイル容器のAPIサービスラベルを確認します。

**注記:** 推奨オイルにはオイル添加物を混入しないでください。さもないと、ギアボックスおよびクラッチに以上が発生する恐れがあります。

### エンジンオイルレベルの確認

エンジンオイルのレベルを検証するには、エンジンは通常の運転温度でなければなりません。

1. 少なくとも15 km運転します。
2. 車両を平面上に停車します。
3. エンジンを10分ほどアイドリングさせます。

### 警告

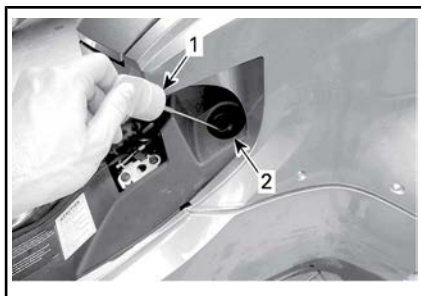
排気ガスには、密閉された場所または換気の悪いエリアで迅速に充填する有毒な一酸化炭素が含まれています。排気ガスを吸い込むと、重大な怪我や死亡事故の原因になることがあります。密封されていない、換気の良い場所でのみエンジンを始動してください。

**注記:** 冷たいエンジンでオイルのレベルを調整すると過剰に補給してしまいます。

4. エンジンを止めます。

注: エンジンオイルのレベルの検証は、エンジンを停止してから2分以内に行ってください。

5. シートを開きます。機器のサブセクションに記載のシートの開け方をご参照ください。
6. オイルレベルゲージを取り外して引き抜きます。



1. オイルレベルゲージ
2. オイル・フィルター・チューブ
7. レベルゲージを拭き取ります。
8. オイルレベルゲージを再度挿入し、完全にねじ込みます。
9. オイルレベルゲージを再度緩めて取り外します。
10. オイルレベルゲージのオイルレベルを確認します。



1. 上部マーク (MAX)
2. 下部マーク (MIN)
3. 動作範囲

下部マーク (MIN) と上部マーク (MAX) の間のオイルレベル：

1. オイルを追加しない。
2. オイルレベルゲージを適切に挿入して締め付けます。
3. シートを閉じます。

MIN マークより下のオイルレベルの調整：

1. 推奨されるオイルを約500ml追加します。

注: MIN マークと MAX マークの間のオイルの量は、500 mlです。

2. エンジンを再始動し、10分ほどアイドリングさせます。

### 警告

排気ガスには、密閉された場所または換気の悪いエリアで迅速に充満する有毒な一酸化炭素が含まれています。排気ガスを吸い込むと、重大な怪我や死亡事故の原因になることがあります。密封されていない、換気の良い場所でのみエンジンを始動してください。

**注記:** 冷たいエンジンでオイルのレベルを調整すると過剰に補給してしまいます。

3. エンジンを停止させてください。

注: エンジンオイルのレベルの検証は、エンジンを停止してから2分以内に行ってください。

4. オイルのレベルを再点検します。

5. オイルレベルがレベルゲージの上部マークと下部マークの間になるまで上記の手順を繰り返します。**入れすぎではありません。**

6. オイルレベルゲージを適切に挿入して締め付けます。

7. シートを閉じます。

### エンジンオイル交換

1. エンジン交換の前に、車両が平面上にあることを確認します。

**注記:** エンジンオイルおよびエンジンオイルフィルターは同時に取り換えなければなりません。オイル交換はエンジンが温まっている状態で行う必要があります。

**注意** エンジンオイルはとても熱くなります。

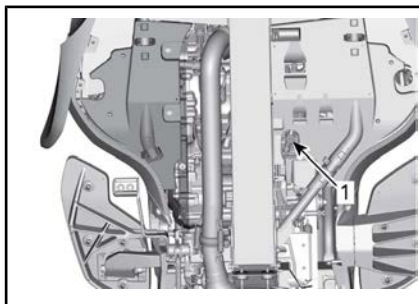
2. 次の右側ボディパネルを取り外し、ボディサブセクションをご参照ください。

- 中央サイドパネル
- 上部サイドパネル
- 音響パネル。

3. オイルサンプカバー下のドレンプラグの周辺を清掃します。

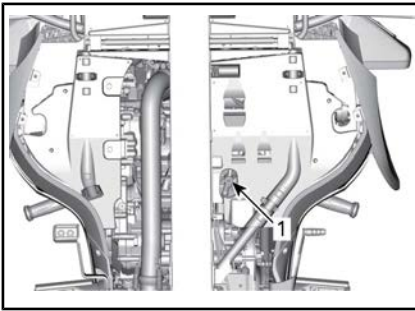
4. オイルサンプカバー下に適切なドレインパンを配置します。

5. ドレンプラグを取り外し、シーリングワッシャとOリングを処分します。



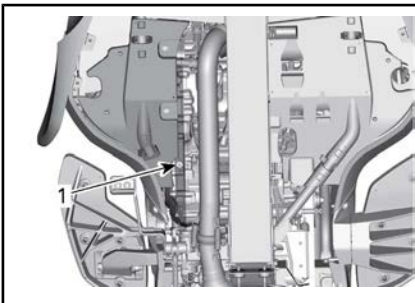
代表的な例 - SE6 モデル

1. エンジンオイルドレインプラグ



代表的な例 - SM6 モデル

1. エンジンオイルドレインプラグ
6. レベルゲージを取り外してください。
7. オイルが完全に排出されるまで待ちます。
8. クラッチカバーの磁気ドレインプラグの周辺を清掃します。
9. クラッチカバー下に適切なドレインパンを配置します。
10. 磁気オイルドレインプラグを取り外し、シーリングリングを処分します。



代表的な例 - SE6 モデル

1. クラッチカバー磁気ドレインプラグ
- エンジンオイルフィルターを交換。詳細はこのセクションのエンジンオイルフィルターの取り外しを参照してください。
11. クラッチカバーからオイルが完全にドレインされるまで待ちます。
  12. オイルフィルターキャビティに汚れや汚染物がないか点検し、清掃します。

13. 磁気ドレインプラグのマグネットを清掃します。
  14. **新しい**シーリングワッシャおよびOリングを使い、両方のドレインプラグを取り付けます。
- 注記:** ドレインプラグのシーリングワッシャおよびOリングは絶対に再使用しないでください。必ず新しいものと交換します。
15. 仕様通りにドレインプラグを締め付ける。

| ドレインプラグ (オイルサンパカバー) |                |
|---------------------|----------------|
| シーリングリング            | 新規             |
| Oリング                | 新規             |
| 締め付けトルク             | 28 N・m ± 2 N・m |

| 磁気ドレインプラグ (クラッチカバー) |                |
|---------------------|----------------|
| シーリングリング            | 新規             |
| 締め付けトルク             | 20 N・m ± 1 N・m |

エンジンオイルフィルターを再取り付け。エンジンオイルフィルターの取り付けを参照してください。

16. 以下の量の推奨されるオイルをオイルタンクに入れます。

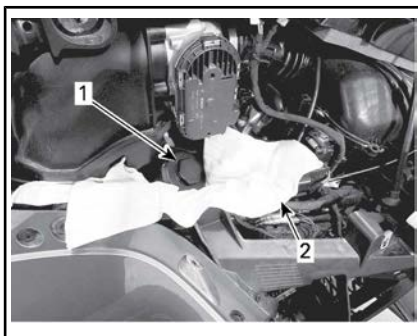
| オイル量 |                                       |       |
|------|---------------------------------------|-------|
| モデル  |                                       | 量     |
| SE6  | エンジンオイルとエンジンオイルフィルターの交換               | 4.7 L |
|      | エンジンオイル、エンジンオイルフィルター、およびHCM表面フィルターの交換 | 4.9 L |
| SM6  | エンジンオイルとエンジンオイルフィルターの交換               | 4.5 L |

## エンジンオイルフィルター

### エンジンオイルフィルターの取り外し

1. 必要なボディ・パネルの取り外しに関しては、エンジンオイル交換を参照してください。
2. オイルフィルターのカバーを緩めます。

注: カバーの周りにウエスをおいてオイルがコンポーネントに接触しないようにします。



1. オイルフィルターのカバー
2. ウエス
3. Oリング付きオイルフィルターカバーを取り外します。Oリングを処分します。
4. オイルフィルターを取り外します。
5. 現地の環境規制の基づいてフィルターを処分してください。

### エンジンオイルフィルターの取り付け

取り付けは取り外しと逆の順序で行います。しかし、次の点に注意を払ってください。

1. 汚れや汚染物がないか、クランクケースのオイルインレットおよびアウトレット開口部を点検および清掃します。
2. **新しい**エンジンオイルフィルターを挿入します。
3. **新しい**Oリングをオイルフィルターカバーに取り付けます。

17. このサブセクションのエンジンオイルレベルの検証を参照し、エンジンオイルレベルを調べます。

**注記:** エンジンスタートから5秒以内にオイル圧力の警告灯が消えることを確認。オイル圧力警告灯が5秒以上ONの場合、エンジンを止め、オイルを500 ml追加して、その後、エンジンを再始動し、10分アイドリングさせた後でオイルレベルを再確認します。

18. エンジンオイルフィルターカバー、磁気ドレンプラグ（クランチカバー）およびドレンプラグ（オイルサンプカバー）が漏れていないか確認します。

19. 取り外したすべてのボディパネルを再度取り付けます。

20. 現地の環境規制の基づいて使用済みオイルを処分してください。



| オイルフィルターのカバー |                |
|--------------|----------------|
| Oリング         | 新規             |
| 締め付けトルク      | 25 N・m ± 3 N・m |

より簡単な組み立て、および取り付け時にOリングをなくすのを防ぐために、Oリングおよびオイルフィルターにオイルを少し塗り、次の手順を行ってください。



1. ここにオイルを適用

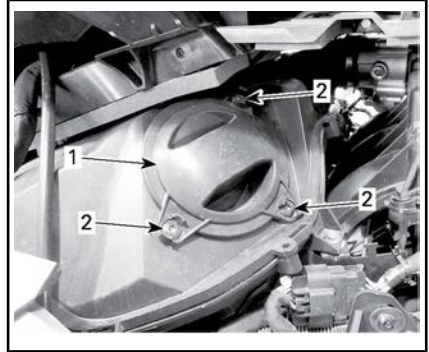
## エアフィルター

### エアフィルターの取り外し

1. エアフィルターにアクセスするには次のボディパネルを取り外します。機器のサブセクションに記載のボディパネルをご参照ください。

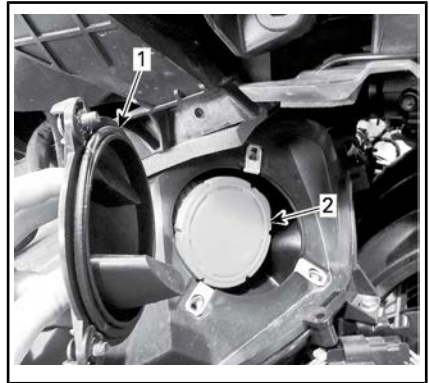
- 左サイドパネル。
- 左上部サイドパネル

エアフィルターのカバーから3つのネジを外します。



1. カバー  
2. スクリュー

エアフィルターカバーおよびフィルターを取り外します。



1. カバー  
2. フィルター

### エアフィルターの点検

エアフィルターの清潔さおよび損傷を確認します。

**注記:** ペーパーフィルターに圧縮空気を吹きかけることは推奨されていません。これは紙繊維を傷つけ、ほこりの多い環境ではろ過能力が低下してしまいます。

**注記:** ペーパーフィルターを洗浄液で洗浄しないでください。

必要に応じてエアフィルターを交換します。

## エアフィルターの取り付け

エアフィルターをかける位置に慎重に取り付けます。

注:エアフィルターは正しい位置に取り付けなければなりません。エアフィルターを挿入する前に、インテークホースのシート/容器が変形していないことを確認してください。

エアフィルターカバーを適切な位置に配置し、すべてのネジで固定します。

| 締め付けトルク       |                 |
|---------------|-----------------|
| エアフィルターカバーのネジ | 2.5 N・m ~ 3 N・m |

取り外した順序の逆で部品を再度取り付けます。

## エンジン・クーラント

### エンジン・クーラント・レベルの確認



**警告**

リザーバーを開ける時は、クーラントが非常に熱く、エンジンが熱いと噴出することがあります。火傷を防ぐには、エンジンの温度が低い時にクーラントのレベルを確認します。

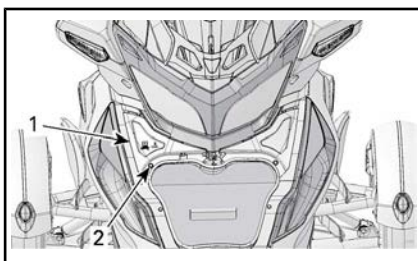
冷却システムは蒸留水と不凍液の水溶液（蒸留水および不凍液の50%ずつ）で満たされていなければなりません。

最高の性能を得るには、LONG LIFE ANTIFREEZE (P/N 219 702 685) または同等のものを使用してください。

エンジンが冷たい状態で、次のようにクーラントのレベルを確認します。

1. 車両をしっかりと平面上に停車します。

2. フロントストレージコンパートメントカバーを開けます。
3. 右サービスカバーからプラスチックリベットを取り外します。



1. 右サービスカバー
2. プラスチックリベット
4. フロントのダッシュボードから上部タブを解除するために、凹部を利用してサービスカバーを下に押し下げます。



5. 後部タブを引き抜きます。
6. サービスカバーを持ち上げて取り外します。

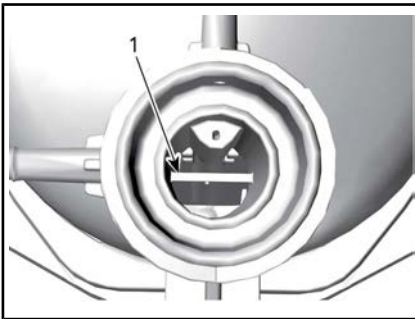
**注記:** FCSスイッチを損傷させないように注意してください。

7. 右側のクーラントレベルを確認します。クーラントはCOLDレベルのマーキングより多少上にある必要があります。

注: エンジンが熱い場合は、クーラントはHOTレベルのマーキングより下にある必要があります。



1. クーラント・リザーバ・キャップ
8. 必要であれば、リザーバー内のCOLDレベルのマーキングより少し上になるまでクーラントを継ぎ足します。こぼさないように、じょうごを使ってください。**入れすぎではありません。**
9. クーラントがチューブに現れ始めたら、クーラントの継ぎ足しを止めます。



1. HOTクーラントレベルの基準線
10. サービスカバーを再度取り付けます。

注: 頻繁にクーラントの補充が必要な場合は、クーラント・システムが漏れているか、エンジンに問題があることを示しています。

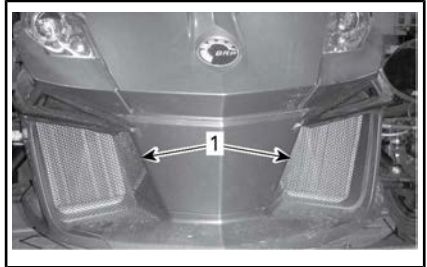
Can-Am Roadsterの認定ディーラーまでお問い合わせください。

## ラジエーター・ファン

### ラジエーター・ファンの掃除

グリルに蓄積された破片を取り除きます。

注: 高圧洗浄器はラジエーター・フィンを損傷してしまいかねないため、使用しないでください。後方からの圧縮空気（後部から前部に向けて空気を吹き付け）のみで清掃してください。



1. ラジエーター用ファン・グリル

注: エンジンが起動したまま車両が停車されているか低速で動いている時は、ラジエーターファンは空気を車両の前部に押し流します。車両がより早い速度で走行している場合は、ファンは空気を車両の後部に押し流します。

## クラッチ液 (SM6モデル)

### クラッチ液レベルの確認

クラッチが通常通りに作動しない場合、またはギアシフトレバーでギアをシフトしづらい場合は、クラッチ液のレベルを確認します。

クラッチ液のリザーバは左ハンドルのリバーズ・ボタン付近にあります。

次のようにクラッチ液のレベルを点検します。

1. 車両をしっかりと平面上に停車します。

- クラッチ液のリザーバーの上部が水平になるようにハンドルを真直ぐにします。
- キャップ部分を拭き取って清掃します。
- 工具キットの中にあるプラスドライバーを使います。
- キャップの留めネジを外します。



- キャップを慎重に取り外します。キャップのシールを落とさないように注意してください。
- 液量を確認するためにリザーバの中を覗きます。

リザーバー内のクラッチ液レベルを確認します。

- 液量は供給線（リザーバ壁の突起）まで達している必要があります。



明確に表示するため、液は表示されていません

- Fill level線

## クラッチ液の継ぎ足し

- 液レベルが仕様範囲より低い場合、供給線までリザーバーに液を足します。DOT 4のブレーキ液のみ使用してください。
- 必要に応じて、液を追加してください。**入れすぎではなりません。**

**注記:** こぼれたものは直ちに拭き取ります。

- キャップ内のシールをめくりまします。
- キャップをリザーバに再度取り付けます。
- キャップのネジを締め付けまします。

## バッテリー

### バッテリーの位置

バッテリーはフロントストレージコンパートメント内にあります。

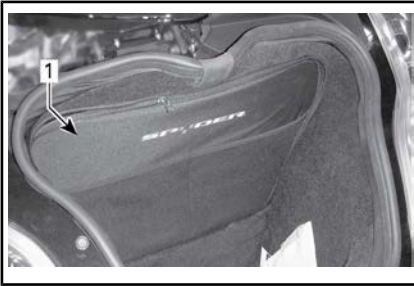
バッテリーにアクセスするには、フロントストレージ・コンパートメントを開けます。



フロントストレージコンパートメントが開いた状態

アクセス・カバーを開けます。

該当する場合は、ジッパーを開けます。



1. ジッパー

ネジを緩めてバッテリー・アクセス・パネルを開けます。

### バッテリーの充電

車両には完全に密封されている、メンテナンス・フリーのバッテリーが搭載されています。電解液のレベルを調整するために水を足す必要はありません。車両が一ヶ月以上乗られていない場合は、バッテリーを充電する必要がある可能性があります。

バッテリーを交換する場合は、必ずCan-Am Roadsterのディーラーにお求めください。

### 警告

従来の鉛蓄電池型電池は使用しないでください。従来の鉛蓄電池型電池では、バッテリー出口から酸が漏れ出す可能性があります。バッテリーのケースが割れたり損傷していたりすると、重傷の火傷を起こしかねない酸が漏れ出すことがあります。

バッテリーは車両に取り付けられたまま充電することもできます。

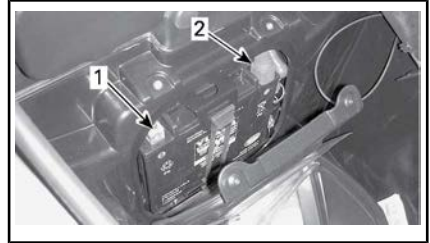
**注記:** バッテリー・チャージャーに付随された指示に従ってください。不適切な充電はバッテリーを損傷してしまう恐れがあります。

バッテリーを充電するには、以下の手順を踏んでください。

1. フロントストレージコンパートメントを開けます。
2. バッテリーアクセスパネルを取り外します。

3. まず、プラス(+)ケーブルを該当する端子に接続します。
4. そしてマイナス(-)ケーブルを該当する端子に接続します。

**注記:** 車両の電気システムの損傷を防ぐには、まずプラス (+)ケーブルを必ず接続します。



1. マイナス (-)端子
2. プラス (+)端子

5. バッテリー・チャージャーを起動させます。充電時間は充電率によります。

バッテリーが充電されたら：

6. 最初にマイナス(-)ケーブルを外します。
7. そしてプラス(+ )ケーブルを外します。

**注記:** 車両の電気システムの損傷を防ぐには、まずマイナス (-)ケーブルを必ず外します。

8. バッテリーのアクセスパネルおよびフロントストレージコンパートメントを閉じます。

標準のバッテリーチャージャーを使用することもできます。推奨される充電率は2Aです。バッテリーが上がってしまった場合は、車のバッテリーでジャンプスタートさせることができます (道路わきでの修理セクションをご参照ください)。

自宅での充電においては、「細流」充電器を使ってバッテリーをより遅く充電させることも可能です。この種類のチャージャーはバッテリーを損傷させないで長時間接続させることができます。チャージャーの説明書に推奨され



ている充電時間に必ず従ってください。

## 駆動ベルト

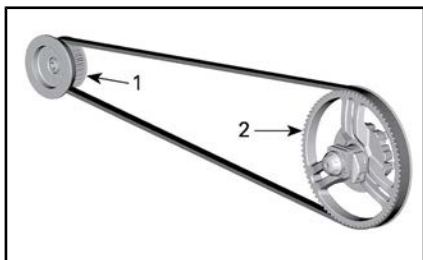
毎回乗る前にベルトのラインメントおよび状態を目視点検してください。

ベルトのラインメントおよび偏向調整は、必ずメンテナンス・スケジュールに従ってCan-Am Roadsterの認定ディーラーに実施してもらってください。

### 駆動ベルトのラインメント

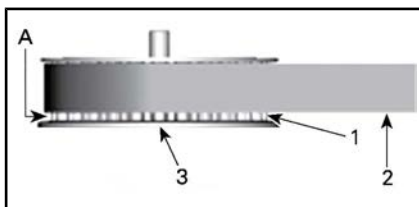
ベルトおよびスプロケットの内部フランジ間の隙間は「X」+「Y」= 3.25 mm ± 2.75 mmである必要があります。ベルトがスプロケットの外側をはみ出している場合は、できるだけ早くCan-Am Roadsterの認定ディーラーにベルトを適切に整列してもらってください。

注:ベルトは片方のスプロケットの片方のフランジのみしか接触させてはなりません。



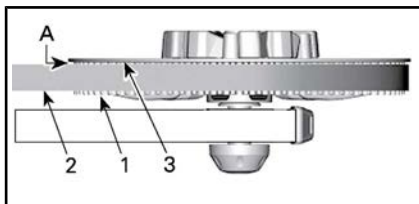
代表的な例

1. フロントスプロケット
2. リアスプロケット



代表的な例 - フロント・スプロケット

1. フロント・スプロケットの歯
  2. ベルト
  3. スプロケットの内部フランジ
- A. 隙間「X」

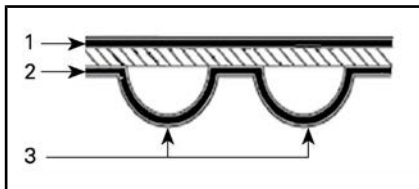


リア・スプロケット

1. リア・スプロケットの歯
  2. ベルト
  3. スプロケットの内部フランジ
- A. 隙間「Y」

### 駆動ベルトの磨耗









車両をニュートラルにいれ、エンジンOFFの状態です。スペースが十分にある平らな表面で駆動ベルトを点検します。ベルトの全長を確認するには車両を前後に転がす必要があります。



駆動ベルトの表面

1. 外面
2. 歯側表面
3. 歯

次の状態がないか点検します。

| 磨耗状態                                                                                | 必要な対策    |
|-------------------------------------------------------------------------------------|----------|
| 良い状態                                                                                | なし       |
|    |          |
| 細長い割れ目                                                                              | 状態を監視する  |
|    |          |
| 軽い切れ端                                                                               | 状態を監視する  |
|    |          |
| 開かれた割れ目                                                                             | ベルトを交換する |
|    |          |
| フックの磨耗                                                                              | ベルトを交換する |
|    |          |
| 歯が欠けている                                                                             | ベルトを交換する |
|  |          |
| ベルトの織物が擦り切れていて、内部のコンポーネントを露出している                                                    | ベルトを交換する |
|  |          |
| 石からの損傷                                                                              | ベルトを交換する |
|  |          |

注:細長い割れ目はベルトの交換を必要としないが、密接に監視する必要があります—開いた割れ目または歯の欠損を招きかねないため、ベルトの交換を必要とします。ベルト中央の損傷はやがてベルトの交換を必要としますが、割れ目がベルトの端まで行き渡ってしまった場合、ベルト不良は差し迫ります。

駆動ベルトを交換する場合、スプロケットも交換し、新しい駆動ベルトの寿命を延ばします。

### 駆動ベルトの張力

走行中、ベルトから振動を感じたり音が聞こえたり、またはベルトのスプロケット歯が飛んでいる場合は、Can-Am Roadsterの認定ディーラーによりできるだけ早くベルトの張力を調整してもらってください。慣らし運転期間（最初の1,000km）に特に注意してください。

### 車輪およびタイヤ



推奨されていない種類のタイヤ、損傷したり磨り減っているタイヤ、最低トレッドウエアインジケーターより幅が低いタイヤ、または適切に膨らまされていないタイヤの使用は、コントロールを失う恐れがあります。

新しいタイヤは慣らし運転が完了するまで最大効率に達しません。ブレーキ、ステアリングおよびVSSの効率が低減される場合がありますため、注意を余分に払ってください。タイヤを慣らすには、頻繁にブレーキを使用して約300 kmの走行が必要です。ブレーキをそれほど使わない場合、タイヤの慣らし時間を多めに見積もってください。

タイヤはSpyder Roadsterのために特別に設計されています。Can-Am

Roadsterの認定ディーラーからしか入手可能なBRP推奨タイヤのみ使用してください。

リアタイヤを取り外したり交換した後後は、次の行動を取ります。

- リア・スプロケット・ベアリングを確認し、掃除します。損傷または破損している場合は、交換します。
- 後輪車軸受を確認し、掃除します。損傷または破損している場合は、交換します。
- 後輪車軸のベアリング・シールを交換して潤滑します。
- 後輪車軸のOリングを交換して潤滑します。
- 後輪車軸の耐摩耗性スリーブを確認し、掃除します。損傷または破損している場合は、交換します。

後輪を取り外したり交換した後後は、次の行動を取ります。

- 後輪のナットを交換します。
- 後輪車軸のベアリング・シールを交換して潤滑します。
- 後輪車軸のOリングを交換して潤滑します。
- ゴムダンパの状態を確認します。損傷または破損している場合は、交換します。

## タイヤ空気圧

車両を使う前にタイヤが**冷たい**状態で空気圧を確認します。タイヤの空気圧は空気の温度によって変化します。温度が変わった後に空気圧を再確認します（大幅な気象変化、山の中の走行など）。

| 冷間時のタイヤ空気圧 |                  |
|------------|------------------|
| 前輪         | 138 kPa ± 14 kPa |
| 後輪         | 193 kPa ± 14 kPa |

注: 左右のタイヤの圧力の差は3.4 kPa以上超過させないでください。

## タイヤの損傷

次の損傷がないかすべてのタイヤを点検します。

- タイヤの切り傷、切り込みおよび亀裂。
- タイヤの側面またはトレッドのでこぼこまたは膨らみ。
- タイヤの側面またはトレッドに釘やその他の異物が刺さっている。
- 合わないリム、または不良タイヤバルブによる空気漏れ（シーツという音）。

上記のいずれかが発生した場合は、Can-Am Roadsterの認定ディーラーによってできるだけ早くタイヤを修理または交換してもらってください。

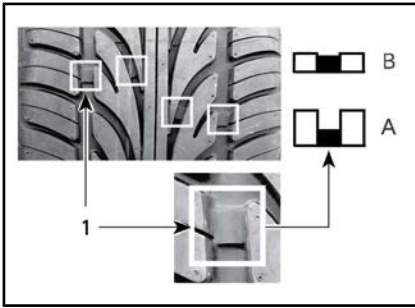
## タイヤのトレッドの磨耗

トレッド磨耗インジケーター（以下の図の1 に示されている通り、トレッドのベースに成形されている硬いゴム・バー）を使ってタイヤ溝の最小深さを確認します。タイヤトレッドの次の3つの位置で点検します。

- 外縁
- 中央
- 内側エッジ。

トレッド磨耗インジケーターは最小タイヤ溝深さに達したトレッドに現れます。トレッドにトレッド磨耗インジケーターが最低でも1つ現れている場合、タイヤをできる限り早くCan-Am Roadsterの認定ディーラーに交換してもらってください。





### タイヤのトレッドの磨耗

1. トレッド磨耗制限インジケーター
- A. 適切な溝深さ  
B. 最小タイヤ溝深さ。タイヤを交換します。

車両の運転の仕方および道路状況によって、タイヤは一般でない磨耗をしていることは一般的にあります。車両がスムーズまたは積極的に運転されたかによって、前輪の外縁および内縁、そして後輪の中央スレッドは不規則に磨耗します。

### タイヤのローテーション

トレッド溝の深さが4mmに達した場合、前輪をローテートします。これはタイヤの寿命を最大限に引き伸ばします。

## 警告

タイヤは一方のみ回るために設計されています。左右の前輪を入れ替えないこと。タイヤをローテートするにはタイヤを車輪から取り外す必要があります。タイヤが間違っただけに取り付けられると、静止摩擦が減り、コントロールを失う危険があります。

**注意** 車輪およびブレーキキャリアパーの間に指が挟まれる恐れがあるため、車輪のスパーク中は前輪スパークを手で持たないでください。

### タイヤ登録用紙

タイヤがリコールされた場合は、氏名と住所を登録されたお客様に

しかご連絡をさしあげることにはできません。車両メーカーとして、BRPは車両識別番号 (VIN) (車両の識別を参照) に関連するタイヤ識別番号 (TIN)、および現在の所有者の情報の記録を保管しています。

車両のタイヤを交換する場合は、「タイヤ登録用紙」にご記入いただき、タイヤメーカーのお客様サービスグループに提出する必要があります。「タイヤ登録用紙」はCan-Am Roadsterの認定ディーラーでお求めいただけます。

## ブレーキ

### 警告

新しいブレーキは、慣らし運転が完了しないと最大効率で作動しません。ブレーキの効率が最適でない場合があるため、注意を余分に払ってください。ブレーキを慣らすには、頻繁にブレーキを使用して約300 kmの走行が必要です。ブレーキをそれほど使わない場合、ブレーキの慣らし時間を多めに見積もってください。

### ブレーキ液レベルの検証

密閉容器に入っているDOT4ブレーキ液のみを使用してください。

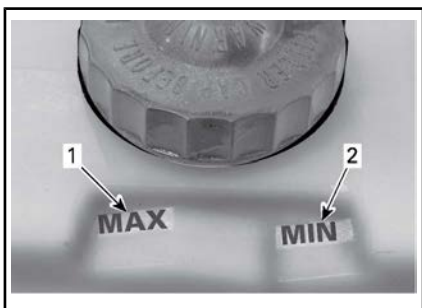
次のようにブレーキ液のレベルを点検します。

1. 車両をしっかりした平面上に停車します。
2. 席のラッチを外し、持ち上げます (シートの開け方を参照)。



代表的な例

1. ブレーキリザーバー
3. シートの裏付近にある両方のレザーパーのブレーキ液レベルを確認します。両方がMIN.マーク以上のレベルに達している必要があります。



1. ブレーキ液MAX.レベルのマーク
2. ブレーキ液MIN.レベルのマーク



A. 動作範囲

4. 必要に応じて、液を追加してください。ブレーキ液の供給のサブセクションを参照してください。

注: ブレーキ液のレベルが低いことは、漏れやブレーキパッドの磨耗を意味します。Can-Am Roadster

の認定ディーラーまでお問い合わせください。

ブレーキ液の継ぎ足し  
フィルター・キャップを取り外します。

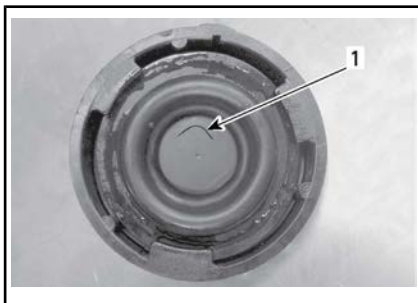
**警告**

除去する前に、燃料タンクキャップをきれいにしてください。密閉容器に入っているDOT4ブレーキ液のみを使用してください。

1. 液をMAXレベルまで継ぎ足します。

**注記:** ブレーキ液は塗面またはプラスチックの部品を損傷させません。こぼれた液は直ちに拭き取ります。

2. 次のようにフィルター・キャップを再度取り付けます:
  - 2.1 Vの切り口の状態が良好であることを確認します。
  - 2.2 ダイアフラムが適切に位置付けられていることを確保します。



代表的な例

1. V型の切り口



代表的な例

1. 正しい位置付け
2. 不正な位置付け
3. シートを締めて、完全にラッチが固定されていることを確認します。

### ブレーキシステムの検査

前輪および後輪は油圧式ディスクタイプです。これらのブレーキは自己調整し、手動で調整する必要がありません。

ブレーキペダルの調整も必要ありません。

ブレーキの状態を良好に保つには、メンテナンス・スケジュールにおける次の事項を点検します。

- 液漏れがないかブレーキシステムの全体を点検
- ブレーキペダルのスポンジ感触
- ブレーキ・ディスクの過度の磨耗および表面の状態
- ブレーキパッドの磨耗、損傷または緩み。

### RT-SおよびRT LTD SE6モデル

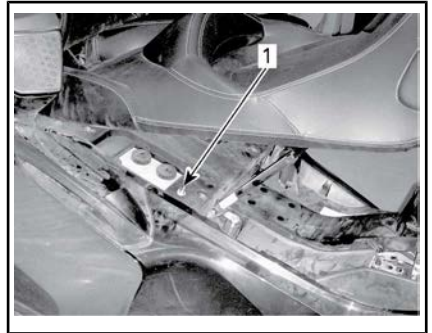
1. フロアボードの下のラッチを外します。
2. 前部を手動で押し下げてフロアボードを旋回させます。
3. ラッチが元通りになるまでフロアボードを後ろに戻します。自由に動くことが重要です。

ブレーキシステムに問題がないか確認するために、Can-Am Roadsterの認定ディーラーに点検してもらいます。

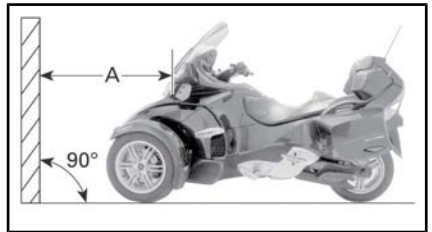
## ヘッドライト

### ヘッドライト光軸の検証 (北米向けモデル)

1. タイヤに正しく空気が入っていることを検証してください。仕様を参照してください。
2. シート下にあるシュレーダーバルブを使ってリアサスペンションの空気圧を0 kPaに設定します。



1. シュレーダーバルブ
3. 図示のように、試験面の前に車両を位置付けます。車両が平らな地面上に停車していることを確認します。



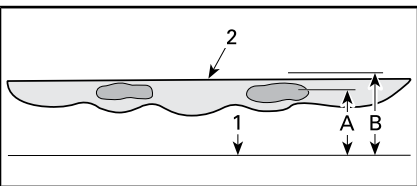
A. 10 m



次のように試験面に並列な線を2列トレースします。

| 試験面に描いた線 |               |
|----------|---------------|
| A線       | 地面からの高さ703 mm |
| B線       | 地面からの高さ773 mm |

- ロービームを選択します。
- ヘッドライトの反射の最上線がA線とB線の間にあるとき、ビームの光軸は正しく設定されています。



試験面の通常のヘッドライトの反射（両方のヘッドライト）

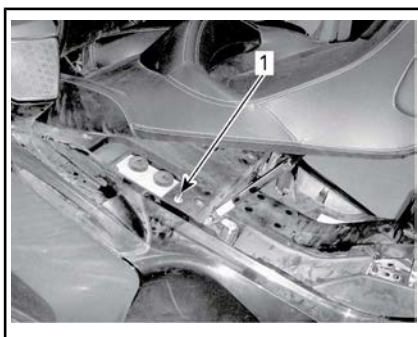
- 地面
  - 最上線
- A. 703 mm  
B. 773 mm

### ヘッドライト光軸の検証 (ブラジル、オーストラリア、日本向けモデル)

#### ロービーム

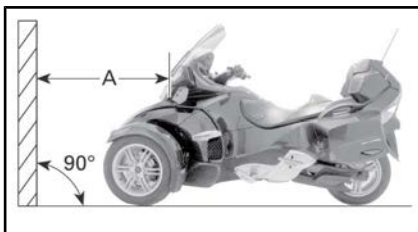
注:この認証は、右側通行または左側通行の規制の一方に有効です。

- タイヤに正しく空気が入っていることを検証してください。仕様を参照してください。
- シート下にあるシュレーダーバルブを使ってリアサスペンションの空気圧を0 kPaに設定します。



1. シュレーダーバルブ

- 図示のように、試験面の前に車両を位置付けます。車両が平らな地面上に停車していることを確認します。



A. 10 m

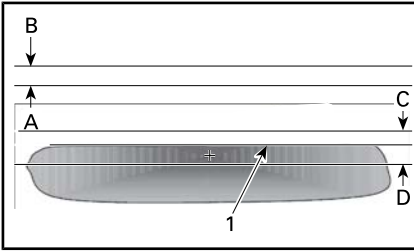


- 次のように試験面に並列な線を4列トレースします。

| 試験面に描いた線 |               |
|----------|---------------|
| A線       | 地面からの高さ703 mm |
| B線       | 地面からの高さ773 mm |
| C線       | 地面からの高さ566 mm |
| D線       | 地面からの高さ370 mm |

- ロービームを選択します。
- ヘッドライトの反射の最上線がC線とD線の間にあるとき、ビー

ムの光軸は正しく設定されています。



表面試験の通常のヘッドライトの反射 (片方のヘッドライト)

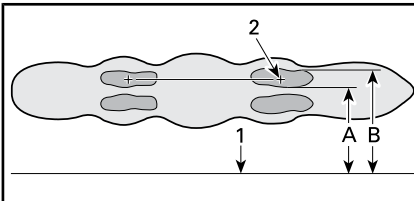
1. 地面
2. 最上線

### ハイビーム

注: ロービームとハイビームは別ユニットなので、この認証は右側または左側通行の交通規制のいずれかに有効です。

1. ロービーム確認手順のステップ1から4に従ってください。
2. **ハイビーム**を選択します。

ヘッドライトの反射のピント (一番明るいスポット) がA線とB線の間で反射されている場合、ビームの光軸は正しく設定されています。



表面試験の通常のヘッドライトの反射 (両方のヘッドライト)

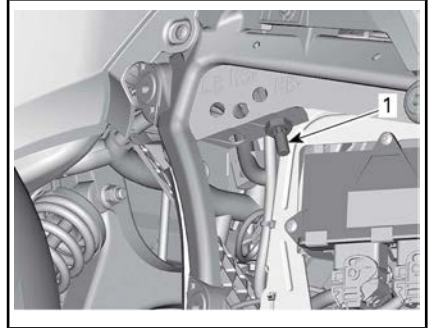
1. 地面
2. ピント

### ヘッドライト 車両照準調整

両方のサイドパネルを取り外します。機器のサブセクションに記載のボディパネルをご参照ください。

### 北米モデル

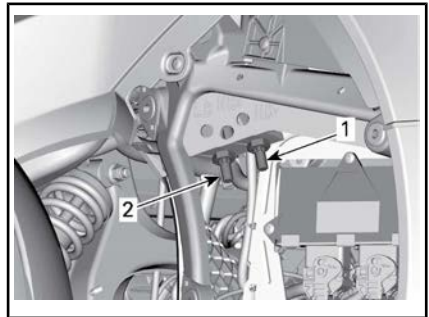
ヘッドライトビームを調整するにはHBV調整ノブを回します。両方のヘッドライトを均等に調整します。



1. HBV調整ノブ

### ブラジル、オーストラリア向けモデル

ヘッドライトビームを調整するには、適切な調整ノブを回します。両側とも均等に調整します。

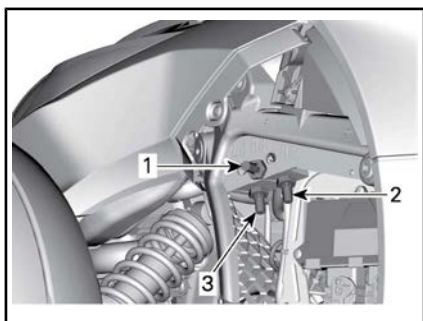


IH側を表示 (オーストラリア、ブラジル向けモデル)

1. ハイビーム調整ノブ (HBV)
2. ロービーム調整ノブ (LB)

### 日本向けモデル

ヘッドライトビームを調整するには、適切な調整ノブを回します。両方のヘッドライトを均等に調整します。



左側の図

1. ハイビーム水平照準ノブ「HBH」
2. ハイビーム垂直照準ノブ「HBV」
3. ロービーム垂直照準ノブ「LB」

### すべてのモデル

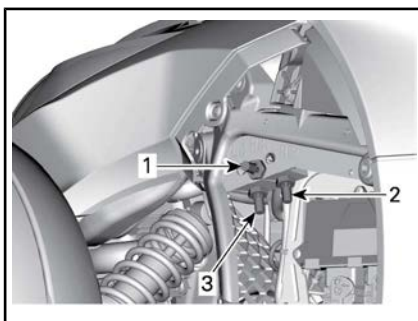
| ヘッドライトビーム調整 |                  |
|-------------|------------------|
| ビームを上げる     | ノブを時計回りに回転させます。  |
| ビームを下げる     | ノブを反時計回りに回転させます。 |

サイドパネルを再度取り付けます。機器のサブセクションに記載のボディパネルをご参照ください。

### ヘッドライト水平照準調整、ハイビーム (日本向けモデルのみ)

ハイビームヘッドライトの照準が狂っている場合は(左右に寄っている)、次の手順を実行してください。

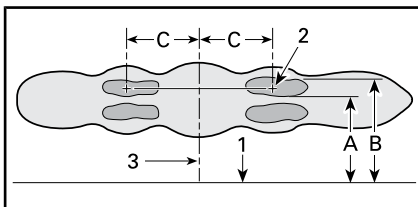
1. 両方の中央パネルを取り除いてください。
2. ヘッドライトビームを調整するには、適切な調整ノブを回します。



左側の図

1. ハイビーム水平照準ノブ「HBH」
2. ハイビーム垂直照準ノブ「HBV」
3. ロービーム垂直照準ノブ「LB」

焦点 (壁面上の最も明るいスポット) の中心からヘッドライト アセンブリの中心へ引いたラインが、車両の前部と後部の中心線と並行になるように、両方のハイビームヘッドライトを調整してください。



試験面のハイビームのヘッドライトの反射 (両方のヘッドライト)

1. 地面
2. ピント
3. 車両中心線
- A. 高さ703 mm
- B. 高さ773 mm
- C. 車両中心線から122 mm ± 35 mm



# 車両の手入れ

## 車両クリーニング

車両を清掃するには、**高圧洗浄機**(洗車屋などで使われる)は車両の特定部を損傷する恐れがあるため、使わないでください。

**注記:** クロームホイールは水と中性洗剤で洗ってください。クロームホイールは、磨いたり、酸性または研磨剤を含むクロームクリーナーを使用しないでください。

**注記:** フロントガラスの損傷を防ぐには、フロントガラスをアルカリまたは酸洗剤、ガソリンまたは溶剤で清掃しないでください。

**注記:** マット仕上げにおいては、ワックス、ディーテル・スプレーまたは普通のペンキに使用されるその他の製品は使用しないでください。研磨剤で洗淨しないでください。機械クリーナーまたはポリッシャーを使用せず、表面をあまり強く擦らないでください。

車両を清掃するには：

1. 汚れを落とすために水でよく洗車してください。
2. 柔らかいきれいな布と、モーターサイクルや自動車に特別に配合された洗剤などの中性洗剤に水を混ぜた溶液で洗車してください。

注: ウィンドシールドやフロントパネルに付着した虫を取り除くには、温かい水が効果的です。

注: マット仕上げでは、マットペイントに安全なマイルドな清掃製品および柔らかいウォッシュ・ミットを使って手洗します。虫などの異物を取り除くには、柔らかい塗布器およびマイルドの溶剤を使用します。溶剤をかけておき、少し経ったら拭き取ります。軽く擦ります。

3. 洗車中にグリースやオイルが付着しているか確認します。XPS ROADSTER WASH (P/N 219 701

703)または自動車用中性脱脂剤を使用します。製造社の使用上の注意に必ず従ってください。

4. セームや柔らかいタオルで車両から水を拭き取ります。

## 車両の保護

プラスチックの部品には非研磨ワックスを適用します。

**注記:** マット仕上げの表面はワックスしたり、研磨しないでください。

| 表面     | 製品/注意事項                            |
|--------|------------------------------------|
| 艶出し仕上げ | クリアコート塗料にも安全な研磨剤の入っていないワックスのみ塗布します |
| マット仕上げ | ワックスを適用しないでください。                   |

**注記:** フロントガラスをプラスチッククリーナー研磨剤で研磨しないでください。

## 警告

表面がつるつるになり、オペレーターまたは同乗者が車両から落ちるかもしれないので、シートにはプラスチックまたはビニル製のプロテクターは付けしないでください。

# 保管、シーズン前の準備

## 保管

冬の時など、車両が最低でも4ヶ月間運転されていない場合は、車両を良い状態に保つには適切に保管する必要があります。

BRPは、車両を保管する前にCan-Am Roadsterの認定ディーラー、修理工場、または任意の個人に整えてもらうことを推奨します。または、ご都合の良い時に、次の基本手順を行ってください。

### 車両の保管準備

1. 車両を点検し、必要に応じてCan-Am Roadster 認定ディーラー、修理工場、任意の個人による、整備、修理、または交換を行ってください。保証請求に関する詳細は、本書に記載された米国EPA排出ガス性能保証を参照してください。
2. エンジンオイルとフィルターを交換。Can-Am Roadster 認定ディーラー、修理工場、任意の個人による、整備、修理、または交換を行ってください。
3. エンジン・クーラント、ブレーキ液およびクラッチ液のレベルを確認します。
4. タンクの錆び、および燃料の悪化を防ぐために、燃料タンクを満タンにし、ガソリン安定化剤を入れ、エンジンをかけて循環させます。燃料安定化剤の容器の指示に厳密に従ってください。
5. すべてのタイヤを推奨される圧力まで空気を入れます。
6. 車両を掃除します。
7. すべてのコントロール・ケーブル、ラッチ、すべてのレバーのピボット点およびフロント・サスペンションの潤滑個所を潤滑します。
8. すべてのストレージ・コンパートメントのラッチを閉じます。
9. 車両に透過性カバーをします（防水シートなど）。プラスチックや同等の浸透性のない、コーティングされた物質は、空

気の流れを遮断し、熱と水分が中に蓄積されてしまうため、使用を避けてください。

10. 車両は直射日光のない、毎日の温度変化があまりない乾いた場所に保管してください。
11. 推奨される2 Aでの充電速度で月に1回はバッテリーを低速充電してください。バッテリーを取り除く必要はありません。

## シーズン前の準備

### すべてのモデル

保管期間後、車両を整えて点検する必要があります。

### 保管されている車両を再利用するには：

1. 車両を覆っているシートを外し、掃除します。
2. 必要であればバッテリーを充電します。
3. 走行前の点検を行い、低速度で車両を試乗します。

### RT-SおよびRT LTD SE6モデル

1. フロアボードの下のラッチを外します。
2. 前部を手動で押し下げてフロアボードを旋回させます。
3. ラッチが元通りになるまでフロアボードを後ろに戻します。自由に動くことが重要です。



# 道路わきでの修理

# 診断ガイドライン

**注記** 車両を移動させる必要がある場合は、牽引しないでください。牽引により車両はひどい損傷を受けることがあります。詳細については、このセクションの車両の移送をご参照ください。

## 第一ギアに入れることができない (SM6モデル)

車両の走行中にギアボックスが第一ギアに入らない場合：

1. シフトレバーに軽い圧力をかけながら、クラッチレバーをゆっくり放します。
2. シフトレバーが第一ギアに入りかけていると感じたら、クラッチレバーを引きます。

## ニュートラルに入れられない (SE6モデル)

車両の走行中にギアボックスがニュートラルに入らない場合：

1. エンジン速度は自動的に約1300RPMまで上昇し、またアイドリング速度に戻ります。
2. 最高で3回試行されます。
3. それでも駄目な場合は、シフトアップまたはシフトダウンをまた押してみます。

## 変速できない (SE6モデル)

お近くのCan-Am Roadsterのディーラーまで車両を移送してください。

## エンジンが始動しない

エンジンがまったく回らない

1. 多機能ゲージにスクロールされている安全性メッセージが認められていない。
  - 安全性メッセージを読み、MODEボタンを押します。
2. エンジン・ストップ・スイッチがOFFの位置にある。
  - エンジン・ストップ・スイッチがONの位置にあることを確認してください。

3. クラッチレバーが作動しない (SM6モデル)
  - クラッチレバーをにぎったままにします。
4. イグニッション・スイッチがOFFの位置にある。
  - イグニッションをONの位置に回します。
5. バッテリーが上がっているか、バッテリーの不良接触です。
  - 充電されているか確認してください。必要であれば充電してください(メンテナンス手順のサブセクションをご参照ください)。
  - フロント・ストレージ・コンパートメントのバッテリーの接続を確認してください(メンテナンスの手順のサブセクションを参照)。
6. ヒューズが切れている。
  - ヒューズ状態を確認してください (このセクションのヒューズおよびライトの交換方法を参照)。
7. トランスミッションがギアに入っている (SE6モデル)。
  - トランスミッションがギアに入っている場合は、ブレーキペダルを踏みます。
8. キーが読み取れません。

固定化システムがキーを読み取れなかった場合、エンジンは始動しません。以下の状況により、固定化システムがキーを読み取れなくなることがあります。

  - コンピューターチップの損傷
  - キーの近くに大きな金属の物体がある
  - キーの近くに電子機器がある

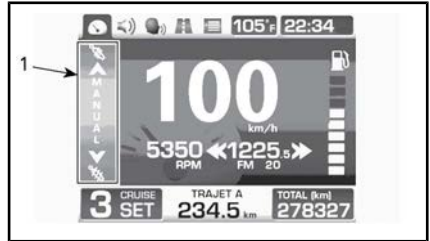
- メインキーの近くに二つ目の電子コードキーがある
- キーの周辺にその他の強い電磁場がある。
- エンジンが始動せず、クラスタにキーエラーのメッセージが表示された場合は、上記のような状況が存在しないことを確認してください。これらの状況が存在しないにも関わらず問題が発生する場合は、Can-Am Roadsterの認定ディーラーにご相談ください。

エンジンは低回転で回るが、始動しない

1. 燃料残量が低い。
  - 燃料タンクに給油します。基本手順のサブセクションを参照してください。
2. バッテリーが弱い。
  - 充電されているか確認してください。必要であれば充電してください(メンテナンス手順のサブセクションをご参照ください)。
  - フロント・ストレージ・コンパートメントのバッテリーの接続を確認してください(メンテナンスの手順のサブセクションを参照)。
3. エンジン・マネージメントの問題。
  - エンジンの始動中にエンジン異常インジケータランプがONにあるか確認します。Can-Am Roadster 認定ディーラー、修理工場、任意の個人による、整備、修理、または交換を行ってください。保証請求に関する詳細は、本書に記載された米国 EPA 排出ガス性能保証を参照してください。

## ゲージにマニュアル（手動）が表示されている

デジタル表示の左側に棒グラフの代わりにマニュアル・メッセージが現れるのは、サスペンションの自動調整に問題があることを意味します。



代表的な例 - マニュアル設定のデジタル表示

### 1. マニュアル設定の表示

サスペンションはお好みに合わせて手動で調整することもできます。








できるだけ早く Can-Am のディーラーに車両を点検してもらってください。

## 多機能ゲージのメッセージ

車両状態の重要な情報は多機能ゲージに表示されます。エンジンを始動させる時は必ずインジケータランプや特別なメッセージがゲージに現れているか必ず確認します。

| インジケータランプ (異常)                                                                                                                                                               |                                                                                   |        |                     |                                                                                                                                                               |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|--------|---------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| インジケータランプ                                                                                                                                                                    | デジタル・インジケータ                                                                       | デジタル警告 | 原因                  | 解決法                                                                                                                                                           |
| <br><br>点滅 | 選択したギアの代わりにEが表示される                                                                | なし     | ギアボックスポジションセンサーの異常  | 車両を停止し、ニュートラルに入れさせます。<br>車両をCan-Am Roadsterの認定ディーラーに修理してもらってください。                                                                                             |
| なし                                                                                                                                                                           |  | キーのエラー | 不正または不良なキー          | 車両に合ったキーを使用するか、または Roadsterの認定ディーラーにお問い合わせください。                                                                                                               |
| <br>ON                                                                                      | なし                                                                                | なし     | エンジンがオーバーヒートしている    | <ul style="list-style-type: none"> <li>- エンジンを停止し、冷めるまで待ちます。</li> <li>- 漏れがないか確認します。</li> <li>- クーラントのレベルを確認し、調整します(メンテナンスの手順のサブセクションを参照)。</li> </ul>         |
| <br>ON                                                                                    | なし                                                                                | なし     | バッテリーの電圧が低い/高い      | <ul style="list-style-type: none"> <li>- バッテリーを充電してください(メンテナンスの手順のサブセクションをご参照ください)。</li> <li>- バッテリーの接触を確認します。</li> </ul> お近くの Roadsterの認定ディーラーまで車両を移送してください。 |
| <br>ON                                                                                    | なし                                                                                | なし     | ABSの異常。ABSが操作されていない | お近くの Roadsterの認定ディーラーまで車両を移送してください。                                                                                                                           |
| <br>ON                                                                                    | なし                                                                                | なし     | VSSの異常              | *お近くの Roadsterの認定ディーラーまで車両を移送してください。                                                                                                                          |

| インジケータランプ (異常)                      |                   |                       |                           |                                                                                                                                                                                             |
|-------------------------------------|-------------------|-----------------------|---------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| インジケータランプ                           | デジタル・インジケータ       | デジタル警告                | 原因                        | 解決法                                                                                                                                                                                         |
| (ⓘ)<br>ON                           | ブレーキの故障または<br>(ⓘ) | ブレーキの故障               | EBDの故障                    | お近くの Roadsterの認定ディーラーまで車両を移送してください。                                                                                                                                                         |
|                                     | ブレーキの故障または<br>(ⓘ) | ブレーキの故障 - ブレーキ液レベルの低下 | 低ブレーキ液レベル、または故障しているセンサー   | <ul style="list-style-type: none"> <li>- ブレーキ液の漏れがないか確認してください。</li> <li>- ブレーキ液のレベルを確認し、調整します(メンテナンスの手順のサブセクションを参照)。</li> </ul>                                                             |
| (ⓘ)<br>ON状態 + キーがOFFの状態<br>でビープ音が発生 | なし                | なし                    | 故障しているパーキングブレーキまたはコンポーネント | <ul style="list-style-type: none"> <li>- バッテリーテンションが最低でも10.5Vであることを確認してください。</li> <li>- 右ヒューズボックスのヒューズ1を点検します (メンテナンスの手順のサブセクションを参照)。</li> </ul> お近くの Can-Am Roadsterの認定ディーラーまで車両を移送してください。 |

| インジケータランプ (異常)                                                                            |                                                                                   |        |                                |                                                                                                                                |
|-------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|--------|--------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| インジケータランプ                                                                                 | デジタル・インジケータ                                                                       | デジタル警告 | 原因                             | 解決法                                                                                                                            |
| <br>ON   |  | なし     | エンジンマネージメントコンポーネントの異常          | キーを抜いて、20秒待ってキーをまた挿入します。                                                                                                       |
|                                                                                           |  | なし     | ダイナミック・パワー・ステアリング・コンポーネント      | Roadsterのディーラーに車両を修理してもらってください。                                                                                                |
|                                                                                           |  | なし     | トランスミッション・コントロール・モジュールのコンポーネント | <ul style="list-style-type: none"> <li>- キーを抜いて、20秒待ってキーをまた挿入します。</li> <li>- Can-Am Roadsterのディーラーに車両を修理してもらってください。</li> </ul> |
| <br>点滅   |  | 応急帰還   | 主要エンジンマネージメントコンポーネントまたはVSSの異常  | *お近くのRoadsterの認定ディーラーまで車両を移送してください。                                                                                            |
| <br>ON | なし                                                                                | なし     | 油圧の低下                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>- オイル漏れがないか確認します。</li> <li>- オイルのレベルを確認し、調整します(メンテナンスの手順のサブセクションを参照)。</li> </ul>        |
| 二つの異なる警告の組み合わせが発生可能です。                                                                    |                                                                                   |        |                                |                                                                                                                                |

\* BRP はLIMP HOMEの警告が現れた場合は、車両を移送することを推奨します。LIMPHOMEの状態では、車両を運転する場合は、極端な操作は避け、次にお乗りになる前に直ちにお近くのCan-Am Roadsterの認定ディーラーにもっていき、修理してもらってください。LIMPHOME状態では、エンジンRPMが制限されるため、車両速度も制限されます。

重要情報を示すメッセージはインジケータランプの補助役割を果すために一時的に表示されることもあります。



代表的な例

1. メッセージ

デジタル警告が現れる時は、警告は6秒間表示され、次の60秒間は非表示になります。この60秒間に小型デジタル・インジケータが点滅します。この過程は3回繰り返され、その後に表示は15分間停止されます。この15分の間は、インジケータ・ランプしか作動されません。



代表的な例

1. メッセージ/アイコン

故障が表示されている場合は、MODEボタンを押してエラーメッセージを飛び越します。

注:飛び越したエラーメッセージは多機能ゲージの下部に表示され続けられ、車両速度が3 km/h以下のなった直後に60秒間メインスクリーンに復帰します。

問題が解消されない場合は、**Can-Am Roadster**の認定ディーラーにご相談ください。

## 以下の状況に対する解決策

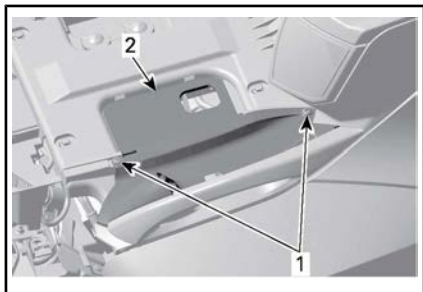
### キーの紛失

スペアキーを使ってCan-Am Roadsterの認定ディーラーに合い鍵をもう一つ作ってもらいます。**両方のキーを失ってしまった場合は、イグニッション・スイッチを押しします。**リア・ストレージ・コンパートメントのキー・バルレおよびトレーラーのキー・バルレ（BRP製トレーラーを使用されている場合）を車両の所有者の負担で取り替える必要があります。

### サイド・ストレージ・コンパートメントを開けることができない。

シートを開きます。

パネルから両方の留めネジを外します。



左サイドパネルの図

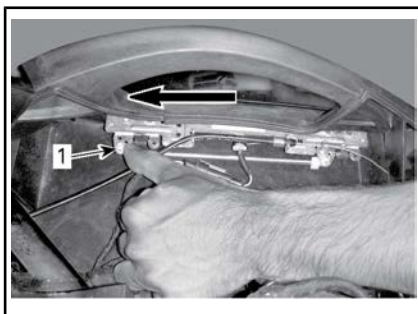
1. 留めネジ
2. パネル

パネルを引き抜きます。

スイッチ・コネクターを取り外します。

パネルを取り外します。

図のように機構をスライドさせ、ラッチを外します。



左サイドパネルの図

1. スライド機構

その後、スイッチおよびパネルを再度取り付けます。

### タイヤのパンク

タイヤのトレッドに**深刻な**刺し傷や切り傷があり、完全にパンクしている場合は、車両をお近くのCan-Am Spyderのディーラーに移送してください。移送指示については、**車両の移送**をご参照ください。

釘や石によりタイヤが**軽い**パンクを起こしており、完全にパンクしていない場合は、タイヤは一時的に修理することができます。一時的にタイヤを修理するには、自己膨張型タイヤ・シーラーまたはタイヤ・プラグ修理キットを使用します。タイヤ・シーラーまたは修理キットのメーカーの指示に従い、**できるだけ早く** Can-Am Roadsterのディーラーに修理または交換してもらってください。

タイヤが一時的に修理された後は、低速度で慎重に運転し、交換または完全に修理されるまでタイヤの空気圧を常に確認してください。

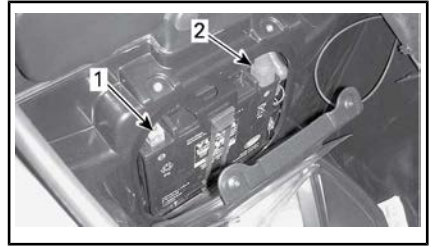
### バッテリー切れ

バッテリーが上がっていたり、エンジンをかけるには電圧が低い場合は、ジャンプ・スタートを行います。



## 警告

ジャンプスタートの手順に従ってジャンパー・ケーブルを接続します。  
ジャンパー・ケーブルが適切に接続されていないと、バッテリーから発火する恐れのある爆発性ガスが漏れることがあります。



1. マイナス (-)端子
2. プラス (+)端子

バッテリーをジャンプスタートするには、以下の手順を踏んでください。

1. もう一方の車両をSpyder Roadsterの前に、あるいはできるだけ近く寄せます。車両同士が接触していないことを確認します。
2. Spyder Roadsterをニュートラル (N) に入れ、パーキングブレーキをかけます。
3. もう一方の車両のエンジンおよびすべての電気アクセサリをOFFにします。
4. もう一方のフードを開けます。
5. Spyder Roadsterのフロント・コンパートメントを開けます。
6. イグニッションスイッチがOFFになっていることを確認します。
7. バッテリーアクセスパネルを取り外します。
8. 赤いプラス (+)ジャンパーケーブルの一方の端をSpyder Roadsterのプラス (+) 端子に接続します。
9. 赤いプラス (+)ジャンパーケーブルのもう片方の端をブースター・バッテリーのプラス (+) 端子に接続します。
10. 黒いマイナス (-)ジャンパーケーブルの一方の端をブースター・バッテリーのマイナス (-) 端子に接続します。
11. 黒いマイナス (-)ジャンパーケーブルのもう片方の端をSpyder Roadsterのマイナス (-) 端子に接続します。
12. Spyder Roadsterの右側に立ち、ブレーキをかけてエンジンを始動します。エンジンは回旋しないか、ゆっくり回旋する場合は、ジャンパーケーブルを確認して接触が良好であるか確認し、再度試します。  
それでも始動しない場合は、起動システムに問題がある可能性があります。お近くのCan-Am Roadsterのディーラーに移送し、(車両の移送を参照)修理してもらってください。
13. エンジンが始動した後は、Spyder Roadsterに接続されたマイナス (-) ケーブルを始めに、取り付けとは逆の手順で両方のジャンパーケーブルを取り外します。
14. エンジンを900RPMのアイドリング速度で数分間作動させます。
15. できるだけ早くバッテリーチャージャーを使用するか、(バッテリーの充電を参照) または資格のある修理屋によって完全に充電してもらってください。

じゅんぷスタートの直後、またはジャンパーケーブルを取り外した後にエンジンが停止してしまう場合は、充電システムに問題がある可能性があります。お近くのCan-Am Roadsterのディーラーに移送し、(車両の移送を参照)修理してもらってください。

バッテリーを充電した後、車両をCan-Am Roadsterの認定ディー

ラーによって点検してもらってください。

# ヒューズおよびライトの交換方法

## ヒューズ

車両の電気用品が作動しなくなった場合は、飛んだヒューズを確認し、必要であれば交換します。

電気系統の故障が起きた場合は、車両をCan-Am Roadsterの認定ディーラーによって点検してもらってください。

## ヒューズの位置

ヒューズはフロント・ストレージ・コンパートメント内にあります

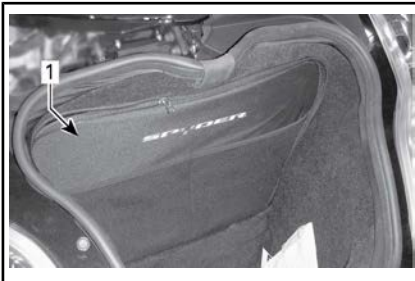
ヒューズにアクセスするには、フロントストレージ・コンパートメントを開けます。



フロント・ストレージ・コンパートメントが開いた状態

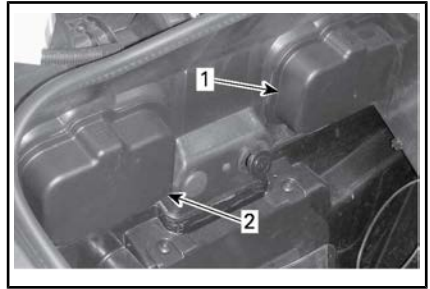
アクセス・カバーを開けます。

該当する場合は、ジッパーを開けます。



1. ジッパー

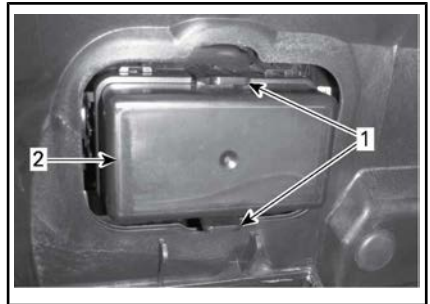
ヒューズ・サービス・カバーを押し下げ、カバーを引っ張り出します。



フロントストレージコンパートメントの中

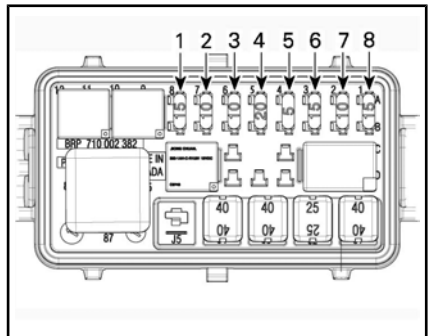
1. 左ヒューズ・サービス・カバー
2. 右ヒューズ・サービス・カバー

タブを押し下げ、慎重にヒューズボックスのカバーを取り外します。



1. タブ
2. ヒューズボックスカバー

## ヒューズの説明



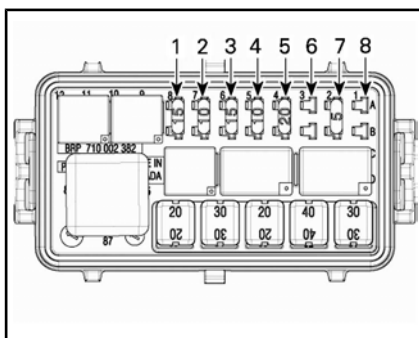
ヒューズ-左ヒューズボックス

注: 正しく識別するには、両方のヒューズボックス間にあるデカールを参照します。

注: ヒューズボックスはモデルによって異なる場合があります。

### 左ヒューズボックス

| ヒューズ番号 | 説明                                                  | 定格   |
|--------|-----------------------------------------------------|------|
| 1      | クラスター/DLC.                                          | 15 A |
| 2      | ウェイクアップ ECM / VCM/ MSR および D.E.S.S./SAS / YRS / PRS | 10 A |
| 3      | オルタネータ                                              | 10 A |
| 4      | WPM / PBM                                           | 20 A |
| 5      | ECM                                                 | 5 A  |
| 6      | インジェクター/コイル                                         | 15 A |
| 7      | ウェイクアップTCM, DPS / Cluster, 燃料ゲージおよびクーラント温度ゲージ       | 10 A |
| 8      | H02S / CAPS / 燃料ポンプ / EVAP / CSV, PSR               | 15 A |

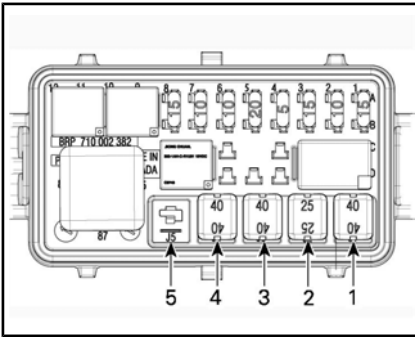


ヒューズ-右ヒューズボックス

### 右ヒューズボックス

| ヒューズ番号 | 説明                     | 定格   |
|--------|------------------------|------|
| 1      | デイライト、パーキングランプ、プレートライト | 15 A |
| 2      | ブレーキライト、ハザード           | 10 A |
| 3      | V/バッテリー、ラジオ            | 15 A |
| 4      | トレーラーモジュール             | 10 A |
| 5      | クラクション、負荷制限            | 25 A |
| 6      | DCプラグVKEY              | 5 A  |
| 7      | DCプラグVBAT              | 5 A  |
| 8      | 未使用                    |      |

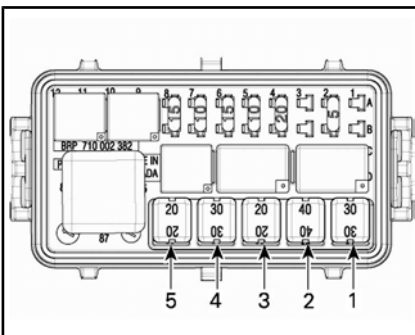
注: ヒューズ6を取り付けた場合は、12Vの電源出力はイグニッション・スイッチがONの状態でのみ操作可能になりません。ヒューズ7を取り付けると、12Vの電源出力は常に使用可能となります。



Jケース・ヒューズ-左ヒューズボックス

左Jケース・ヒューズボックス

| Jケース<br>ヒューズ<br>番号 | 説明                              | 定格   |
|--------------------|---------------------------------|------|
| 1                  | VCMポンプ                          | 40 A |
| 2                  | VCMバルブ                          | 25 A |
| 3                  | DPS                             | 40 A |
| 4                  | メインコント<br>ロール (F1,F2,R4,<br>R5) | 40 A |
| 5                  | 未使用                             |      |



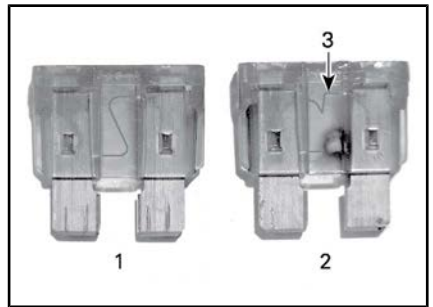
Jケース・ヒューズ-右ヒューズボックス

## 右Jケース・ヒューズボックス

| Jケース<br>ヒューズ<br>番号 | 説明       | 定格   |
|--------------------|----------|------|
| 1                  | 冷却ファン    | 30 A |
| 2                  | アクセサリ    | 40 A |
| 3                  | TCMソレノイド | 20 A |
| 4                  | LOヘッドランプ | 30 A |
| 5                  | HIヘッドランプ | 20 A |

## ヒューズ交換

1. ヒューズにアクセスするには、FUSESのサブセクションに記載のヒューズの位置をご参照ください。
2. イグニッションスイッチをOFFにします。
3. ヒューズを取り出します。
4. フィラメントが溶けていないか確認します。



## ヒューズ

1. 良好なヒューズ
2. 飛んでいるヒューズ
3. 溶融フィラメント
5. ヒューズを同じ定格のものと交換します。スペアヒューズはヒューズボックスカバーにあります。

## ⚠ 警告

より高定格のヒューズを使用すると、深刻な損傷を招き、火災の原因になります。

6. ヒューズボックスのカバーを閉じるには、カバーをヒューズボックスにかぶせるように位置付け、カチッとなるまで慎重に押し下げます。
7. 該当する場合は、ジッパーを閉じます。
8. ヒューズのサービスカバーを閉じるには、カバーをヒューズボックスにかぶせるように位置付け、ヒューズのサービスカバーが閉まるまで慎重に押し下げます。
9. アクセスカバーを閉じ、そしてフロント・ストレージ・コンパートメントを閉じます。

## ライト

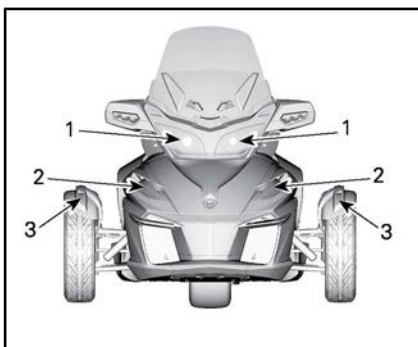
注: フロントのウインカーライトおよびブレーキライトはLED（発光ダイオード）で構成されています。LEDは信頼性の高い技術です。万が一に作動しない場合は、Can-Am Roadsterの認定ディーラーによって点検してもらってください。

本ガイドに記述されているライトが車両で作動しなくなった場合は、欠陥のあるライトの電球を交換します。本ガイドに記述されていないCan-Am Roadsterの認定ディーラーによって点検してもらってください。

ライトが故障した場合は、車両をCan-Am Roadsterの認定ディーラーによって点検してもらってください。

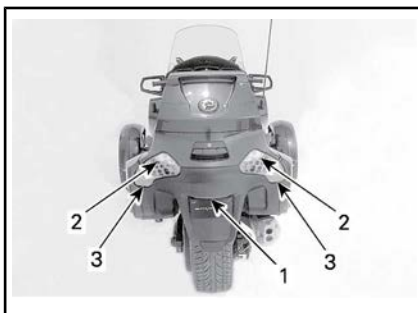
**⚠ 注意** 電気ショックを回避するには、電球を取り替える前にイグニッション・スイッチを必ずOFFの状態にします。

取り換え後に必ずライトの動作を確認します。



代表的な例 - ライトの位置 — 車両の前部

1. ヘッドライト
2. フォグライト (オプションのパッケージ)
3. ポジションライト

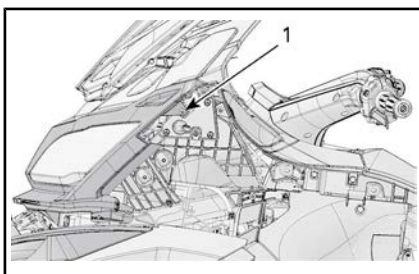


ライトの位置 - 車両の後部

1. ライセンスプレートライト
2. バックアップ・ライト
3. ウインカーライト

## ヘッドライト

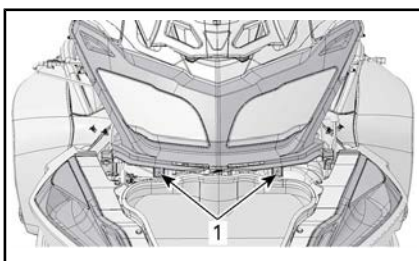
1. 上部サイドパネルを取りはずします。
2. フロントのダッシュボードから上部留めネジを取り外します。



1. 上部留めネジ
3. フロントのダッシュボードから真ん中の留めネジを取り外します。



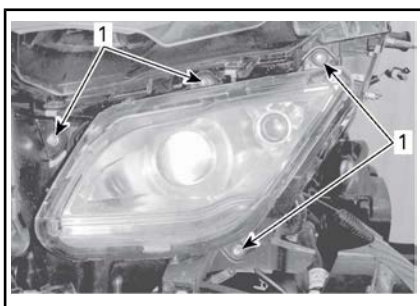
1. 真ん中の留めネジ
4. フロントのダッシュボードから下部の留めネジおよびワッシャを取り外します。



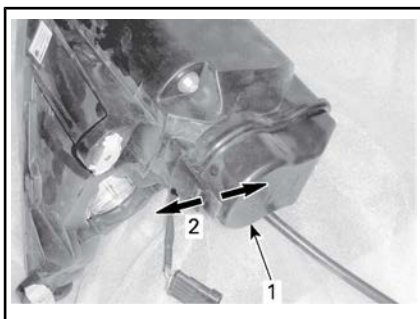
1. 下部の留めネジ
5. 車両からフロントダッシュボードを取り外します。
6. 調整ケーブルの留めナットを取り外します。



1. 調整ケーブルの留めナット
7. 4つのすべてのヘッドライトの留めネジを外します。

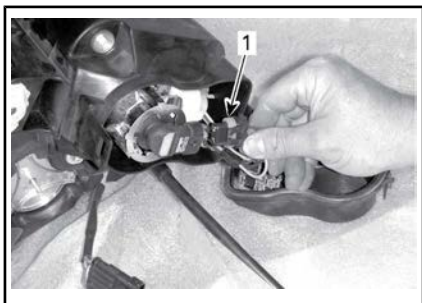


1. 留めネジ
8. タブを引き離してカバーをアンロックします。

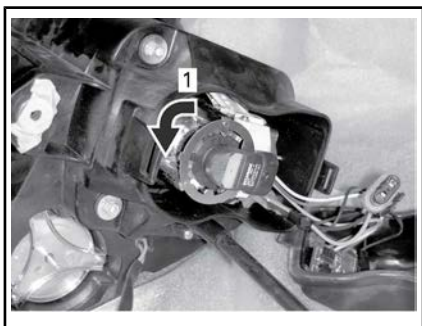


1. ヘッドライトカバー
2. タブを引き離します
9. カバーを引き抜きます。
10. バルブコネクターを取り外します。



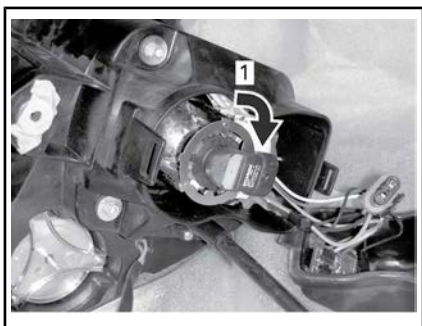


1. コネクターのプラグを引き抜きます
11. バルブを左に回してアンロックします。



1. 左に回す
12. 取り外します。
13. 新しいバルブをソケットに挿入し、右に回して固定します。

**注記:** 新しいハロゲン電球を指で絶対に触らないこと。触ってしまうと寿命が縮んでしまいます。



1. 右に回す
14. コネクターをバルブにつなげます。

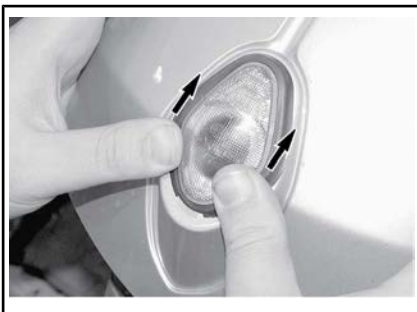
15. 取り外しの逆の順序でヘッドライトカバーおよび残りの部品を再度取り付けます。

### フォグライト (オプションのパッケージ)

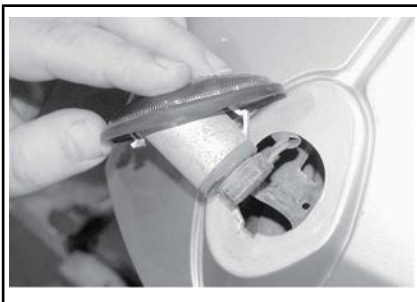
電球交換手順については、認定Can-Am Roadsterディーラーにご相談ください。

### ポジション・ライト ベースモデルのみ

1. レンズを押し込み、フェンダーの後部に目掛けてレンズを押しします。

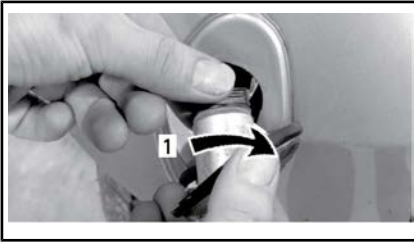


2. 親指またはドライバーでレンズの前部を引き上げてリリースします。

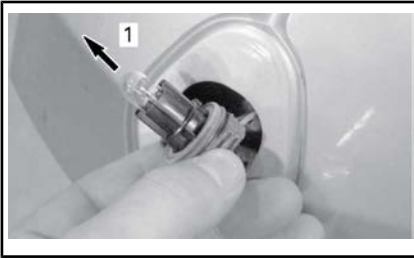


3. ホルダーを右に回してバルブ・コネクターから取り外します。





1. 右に回す
4. 以下の通りに電球をホルダーから引き抜きます。



1. バルブを引き外します
5. ホルダーに新しいバルブを挿入します。
6. 取り外した順序の逆で部品を適切に再度取り付けます。

### RT-SおよびRTLTDモデル

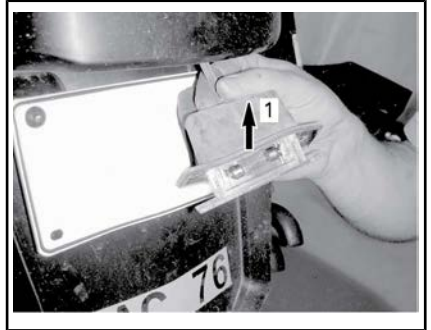
ポジションライトはLED（発光ダイオード）で構成されています。LEDは信頼性の高い技術です。万が一に作動しない場合は、Can-Am Roadsterの認定ディーラーによって点検してもらってください。

### ライセンスプレートライト

1. レンズのスクリューをプラスドライバーを使って取り外します。



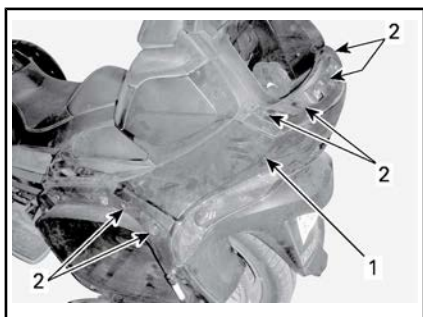
1. ライセンスプレートレンズのスクリュー
2. レンズを引っ張り出します。
3. バルブを引き抜いて取り外します。



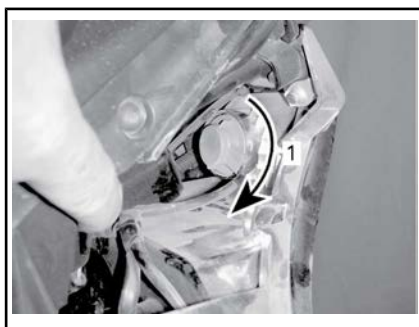
1. 引き出す
4. 新しいバルブを押し入れて、取り付けます。
5. レンズを再度取り付けます。

### バックアップ・ライト

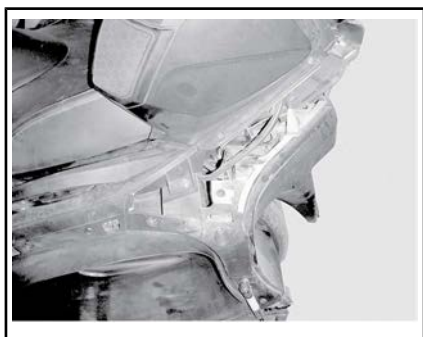
1. 上部ストレージコンパートメントを開きます。
2. サイドストレージコンパートメントを開きます。
3. リアパネルから8つの留めねじを取り外します。



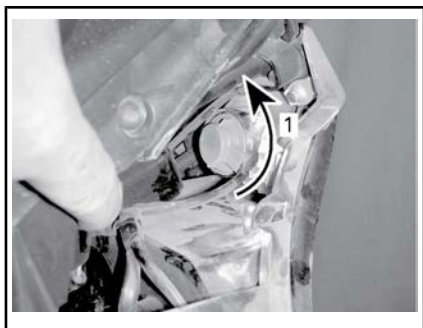
1. リアパネル
2. 留めネジ
4. パネルを引き抜きます。



1. 右に回す
9. コネクターをバルブにつなげます。
10. 取り外し順序の逆の順序でリアパネルを再度取り付けます。



5. コネクターのプラグを引き抜きます。
6. バルブを左に回してアンロックします。



1. 左に回す
7. 電球を引いて取り外します。
8. 新しいソバルブをソケットに挿入し、右に回して固定します。

## 車両の移送

車両を移送する必要がある場合は、適切なサイズと容量の長物トレーラーで移送してください。

**注意** 車両を押す必要がある場合は、ブレーキペダルをいつでも踏めるように右側から押します。車両を後方に引っ張る場合は、足元が前輪によってひかれないように注意します。

**注記:** Spyder Roadsterは牽引しないでください。牽引すると車両の駆動システムが深刻に損傷される恐れがあります。

牽引または移送サービスにお問い合わせの場合は、車両を安全に持ち上げ、ストラップを縛り付けるために長物トレーラー、導板またはパワーランプがあるか尋ねてください。本セクションで記載の通りに車両を適切に移送してください。

**注記:** 車両を縛り付けるのにチェーンの使用は避けてください。一表面の仕上げやプラスチックのコンポーネントを損傷させる恐れがあります。

車両を移送するために積み込む時は、以下の手順を踏んでください。

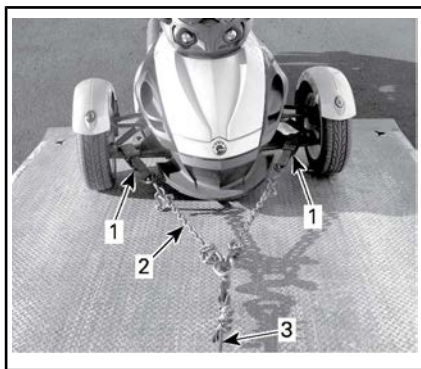
1. 車両をニュートラル (N)に入れます。
2. イグニッションスイッチからキーを取り外します。
3. 各フロント・サスペンションの下部アームの周りをストラップで固定します。



1. 下部サスペンションアーム
2. ショック・アブソーバおよびフィンの上にストラップを仕込みます。

**注記:** ストラップをフィンの上からかけないでください。フィンが損傷されます。

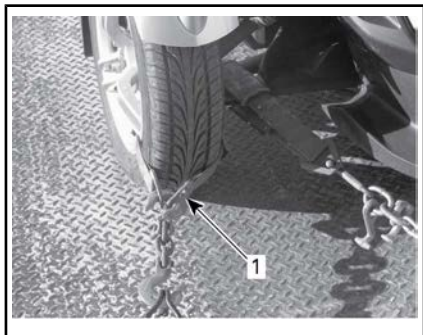
4. ストラップをウィンチ・ケーブルに取り付けます。バンパー・カバーの損傷を防ぐために以下の図のようにできればチェーンまたは追加ストラップを使ってストラップをウィンチ・ケーブルに取り付けます。



代表的な例

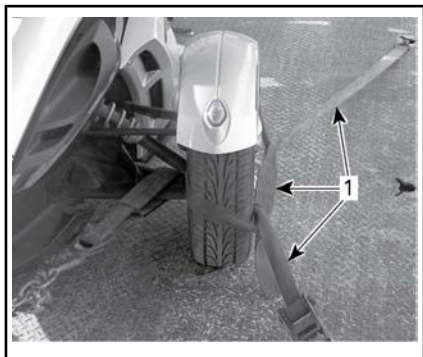
1. フロント・サスペンションの下部アームの周りにストラップを巻きつけます。
2. バンパー・カバーの損傷を防ぐためのチェーン
3. ウィンチ・ケーブル
5. パーキングブレーキが解除されていることを確認します。
6. ウィンチを使って車両を長物トレーラーに引っ張りこみます。
7. パーキングブレーキをかけます。

8. 車両のギアがニュートラル (N) に入っていることを確認します。
9. 次のいずれかの方法でフロントタイヤにストラップをつけます。



通常の前輪固定 — 方法1

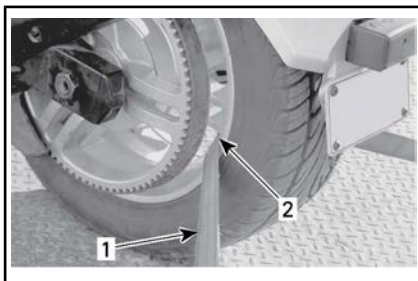
1. 各前輪のリムの周りにストラップを巻きつけ、ストラップをトレーラーの前部に固定します。



通常の前輪固定 — 方法2

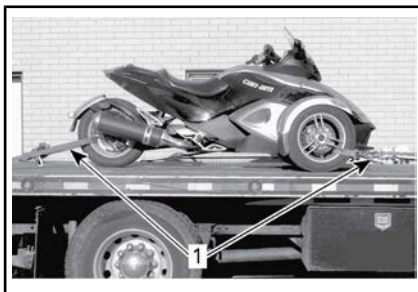
1. 各車輪にストラップを巻き付け、トレーラーの前部および後部に固定します。
10. 縛りつけ用のストラップは後輪のリム内側のみを通してください。縛りつけ用のストラップを絶対にリア・スプロケットの内側を通さないでください。

**注記:** リア・スプロケットの内側に縛りつけ用のストラップを通すと駆動システムに深刻な損傷を与えます。



通常の後輪の固定方法

1. 縛りつけ用ストラップ
2. 後輪のリムの内側のみ
11. 後輪の縛りつけ用ストラップを、歯止めを使ってトレーラーの後部にしっかり固定させます。
12. 前輪および後輪の両方がトレーラーにしっかり固定されていることを確認します。



代表的な例

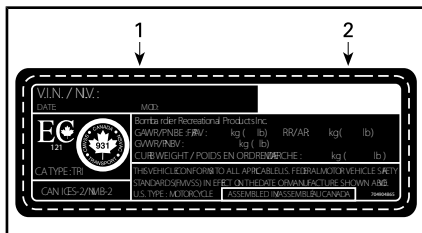
1. トレーラーにしっかり固定された前輪および後輪

# 技術情報

# 車両の識別

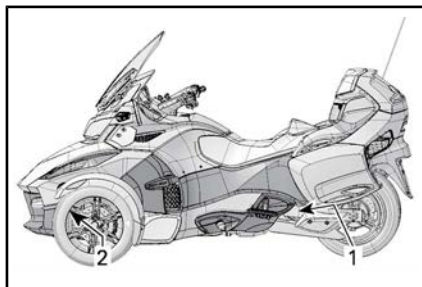
車両の主要な構成要素（エンジンとフレーム）は、それぞれ異なる製造番号で識別されます。保証を受けるときや、無くなった車両を探するときなどに、これらの番号を確認する必要があります。これらの番号は、Can-Am Roadsterの認定ディーラーによって適切に保証を請求する時に必要です。車両のすべてのシリアル番号を記録し、保険会社に提出すること強く推奨します。

## 車両識別番号



### 車両シリアル番号のラベル

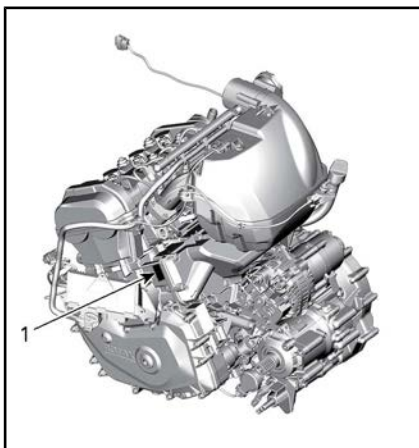
1. VIN (車両識別番号)
2. モデル番号



### VINが書かれている位置

1. スイングアーム (VIN ラベル)
2. ローアーム (VINは右側に表示されている)

## エンジン識別番号



### 代表的な例

1. EIN (エンジン識別番号)の位置

## EPA適合ラベル

**VEHICLE EMISSION CONTROL INFORMATION**  
 BOMBARDIER RECREATIONAL PRODUCTS INC.  
 THIS VEHICLE CONFORMS TO U.S. EPA AND CALIFORNIA REGULATIONS APPLICABLE TO MODERN NEW MOTORCYCLES AND IS CERTIFIED TO AN HC+NOx EMISSION STANDARD OF GRAM/KILOMETER.  
 See operator's guide for maintenance specifications.  
**RENSEIGNEMENT SUR LE DISPOSITIF ANTIOU**  
 BOMBARDIER PRODUITS RECREATIFS INC.  
 CE VEHICULE CONFORME AUX REGLEMENTS DE LEPA DEBÉU ET DE LA CALIFORNIE APPLICABLES AUX MOTOCYCLES NEUVES DIENNEE MODELE ET EST CERTIFIE A LA NORME D'EMISSIONS HC+NOx de GRAMME/KILOMETRE.  
 Voir guide du conducteur pour les spécifications de maintenance.

|                                 |                                   |
|---------------------------------|-----------------------------------|
| Engine Displacement             | Cylindrée                         |
| Engine Family                   | Famille de mdeur                  |
| Permeation Family               | Famille de perméation             |
| Evaporation Family              | Famille d'évaporation             |
| Exhaust Emission Control System | Système de contrôle des émissions |
| Idle Speed                      | Ralentit moteur                   |
| Fuel                            | Esence                            |

704904694

---

**VACUUM HOSEROUTING**

|                |                     |
|----------------|---------------------|
| ENGINE FAMILY: | EVAPORATION FAMILY: |
|----------------|---------------------|

The diagram shows the vacuum hose routing for the engine and evaporator family. It includes components like the Intake Plenum, Fuel Tank, EVAP Purge Control Solenoid Valve, Evaporator, and Air Filter. The hoses are connected to the intake plenum, fuel tank, and air filter, and lead to the open air.

---

**MOTORCYCLE NOISE EMISSION CONTROL INFORMATION**  
 THIS \_\_\_\_\_, MEETS U.S. EPA NOISE EMISSION REQUIREMENTS OF dB (A) AT \_\_\_\_\_ RPM BY THE FEDERAL TEST PROCEDURE. MODIFICATIONS WHICH CAUSE THIS MOTORCYCLE TO EXCEED FEDERAL NOISE STANDARDS ARE PROHIBITED BY FEDERAL LAW. SEE OPERATOR'S GUIDE.

### 代表的な例 - 席の下にあります

## D.E.S.S キー

アメリカ合衆国(FCC)：「この車両のワイヤレス機器は FCC 規定パート 15 に準拠しています。操作には、以下の二つの状態が条件です。1) これらの機器は有害な干渉を起こしてはならない、および 2) これらの機器は望まない操作を引き起こす可能性がある干渉を含み、受信した干渉をすべて受容しなければならない。コンプライアンス責任者によって明白に承認されていない変更や改良がされた場合、ユーザーが機器を操縦する権限が無効になる場合があります。

カナダ (IC)：「この車両のワイヤレス機器は Industry Canada のライセンス免除 RSS-210 規格に準拠しています。操作には、以下の二つの状態が条件です。1) これらの機器は干渉を起こしてはならない、および 2) これらの機器は望まない機器操作を引き起こす可能性がある干渉を含み、干渉をすべて受容しなければならない。

ヨーロッパ (CE)：私は、コンプライアンス責任者として、この機器は以下の欧州委員会指令に準拠していることを、全責任をもって宣言します。1999/5/EC。この宣言に関連するものは、必須要件およびその他の関連要件に準拠しています。この製品は、以下の指令、整合規格および規制に準拠しています。・指令 1999/5/EC (R&TTE)・整合規格：・ EN 301 489-3 ・ EN 300 330-2 ・ EN 50364

---

# 騒音エミッションコントロールシステム規制

**騒音コントロールシステムを改ざんすることは禁止されています。**

米国連邦法およびカナダ州法によって、以下の行動またはそれに起因するものが禁止される場合があります。

1. 新しい車両に騒音コントロールを目的として最終購入者への販売または納入以前または使用中に組み込まれた、機器またはデザイン要素を、いかなる人物によっても整備、修理、交換以外を目的として取り外す、または作動不能にすること、または
2. これらの機器またはデザイン要素を、いかなる人物によっても取り外し、または作動不能にした後に、車両を使用すること。

**改ざんとみなされる行動として、以下が挙げられます。**

1. マフラーまたはエンジン排気ガスの排出を処理するいかなるエンジン部品の取り外し、改造または穴あけ。
2. 吸気システムのいかなる部分の取り外し、改造または穴あけ。
3. 車両の稼働部品、または排気または吸気システムの部品を、非準拠部品と交換すること。
4. 適切な整備をしないこと。



# 仕様

| モデル     |                            | SPYDER RT                                                        |                                                                                                                                              |                |
|---------|----------------------------|------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| エンジン    |                            |                                                                  |                                                                                                                                              |                |
| エンジンタイプ |                            | ROTAX® 1330 ACE, 4-stroke,<br>デュアル・オーバー・ヘッド・カムシャ<br>フト (DOHC)、液冷 |                                                                                                                                              |                |
| シリンダーの数 |                            | 3                                                                |                                                                                                                                              |                |
| バルブの数   |                            | 12                                                               |                                                                                                                                              |                |
| ボア      |                            | 84 mm                                                            |                                                                                                                                              |                |
| ストローク   |                            | 80 mm                                                            |                                                                                                                                              |                |
| 排気量     |                            | 1 330 cm <sup>3</sup>                                            |                                                                                                                                              |                |
| 圧縮比     |                            | 12:1                                                             |                                                                                                                                              |                |
| 潤滑      | タイプ                        |                                                                  | 別個のオイルタンクおよびオイルクー<br>ラー付きのドライサンプ                                                                                                             |                |
|         | オイル<br>フィル<br>ター           | エンジン                                                             | BRP Rotax製のマイクロガラス繊維タイ<br>プ、交換式                                                                                                              |                |
|         |                            | トランスミッ<br>ション/HCM                                                | BRP Rotax製の多層表面フィルター、交<br>換可能                                                                                                                |                |
|         | エン<br>ジ<br>ン・<br>オイル<br>容量 | オイル交<br>換および<br>新しいエン<br>ジン・<br>フィル<br>ターの取<br>り付け               | SM6                                                                                                                                          | 4.9 L          |
|         |                            | 新しいエン<br>ジンお<br>よびHCM<br>フィル<br>ターにお<br>けるオイル<br>交換              | SE6                                                                                                                                          | 5.3 L<br>5.6 L |
|         | 推奨されるエンジンオイル               |                                                                  | XPS 4ストローク合成ブレンドオイル<br>(SUMMER) (P/N 293 600 121)、またはSL,<br>SJ, SH, またはSGのAPIサービス要件を充<br>たすモーターサイクル用の5W40の半合<br>成(最小要件)または合成オイルを使用し<br>てください |                |

| モデル        |     | SPYDER RT                                                                                                                |                                                |
|------------|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------|
| エンジン (続き)  |     |                                                                                                                          |                                                |
| クラッチ       | タイプ | SM6                                                                                                                      | 油圧ピストンおよびバキューム・アシストによるウェット・マルチプレートのマニュアル操作     |
|            | 液体  |                                                                                                                          | DOT 4のブレーキ液                                    |
|            | タイプ | SE6                                                                                                                      | 油圧クラッチ + TCMによって自動的にコントロールされているウェットマルチプレートクラッチ |
|            | 起動時 |                                                                                                                          | 1100 RPM                                       |
| エキゾーストシステム |     | 触媒コンバーター付きの「3-in-1」タイプ                                                                                                   |                                                |
| エアフィルター    |     | 紙要素                                                                                                                      |                                                |
| ギアボックス     |     |                                                                                                                          |                                                |
| タイプ        |     | SM6                                                                                                                      | 6速シーケンシャル・マニュアル (SM6) + 遠隔電子リバース・インターロック       |
|            |     | SE6                                                                                                                      | 6速シーケンシャル・マニュアル (SM6) + リバース・インターロック           |
| 冷却システム     |     |                                                                                                                          |                                                |
| タイプ        |     | 液冷、クーリングファン付きのダブル・ラジエーター                                                                                                 |                                                |
| クーラント      | タイプ | エチルグリコールと水の溶液 (クーラントおよび蒸留水を50%ずつ)。BRPLONG LIFE ANTIFREEZE (P/N 219 702 685)製の予混クーラント、またはアルミ製エンジンに特別に設計されたクーラントを使用してください。 |                                                |
|            | 容量  | 3.75 L                                                                                                                   |                                                |

| モデル                                       |           | SPYDER RT                                                            |
|-------------------------------------------|-----------|----------------------------------------------------------------------|
| 電気システム                                    |           |                                                                      |
| イグニッションシステム形式                             |           | デュアル出力コイル付きの電子イグニッション                                                |
| イグニッションタイミング                              |           | 調整不可                                                                 |
| スパークプラグ                                   | 数量        | 3                                                                    |
|                                           | メーカーと型式   | (イリジウム) 同等品 (スパークプラグのネジ山にP12 (P/N 420 897 186) または同等品のヒートシンクペーストを塗布) |
|                                           | 隙間 (調整不可) | 0.7 mm ~ 0.8 mm                                                      |
| エンジン回転リミッターの設定                            | 前進        | 8100 RPM (ドライブトレイン駆動時)                                               |
|                                           |           | 7500 RPM (クラッチが切れている状態かニュートラル時)                                      |
| バッテリー                                     | タイプ       | Yuasa YTX24HL-BS                                                     |
|                                           | 電圧        | 12ボルト                                                                |
|                                           | 公称定格      | 21 A・h                                                               |
|                                           | 推奨される充電速度 | 2 A                                                                  |
| ヘッドライト                                    |           | 2 x 60 Wのハロゲン (H4タイプ)                                                |
| フォグライト (Spyder RT-S)                      |           | 2 x 35 Wのハロゲン                                                        |
| テールライト/ブレーキライト                            |           | LED 3.1 W (合計)                                                       |
| ウインカーライト                                  | フロント      | LED 4.5 W (各辺)                                                       |
|                                           | リア        | 2 x 10 W                                                             |
| ポジションライト                                  |           | 2 x 5 W                                                              |
| ライセンスプレートライト                              |           | 5 W                                                                  |
| バックアップ・ライト                                |           | 2 x 20 W                                                             |
| フロント・ストレージ・コンパートメントのライト (Spyder RT-S/LTD) |           | 0.2 W                                                                |
| ヒューズ                                      |           | ヒューズおよびライトの交換方法を参照                                                   |

| モデル                    |             | SPYDER RT                                                                                 |
|------------------------|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| 燃料システム                 |             |                                                                                           |
| 燃料供給                   | タイプ         | マルチポイントエレクトリックフューエルインジェクション(EFI)、ETC付き(エレクトリックスロットルコントロール)、シングル・スロットルボディ(54mm)、アクチュエーター付き |
| 燃料ポンプ                  | タイプ         | エレクトリカルモジュール(燃料タンク内)                                                                      |
| アイドルスピード               |             | 900 RPM (電子制御タイプ、調整不可)                                                                    |
| 燃料 - 燃料に関する要件を参照してください | タイプ         | 無鉛プレミアムガソリン                                                                               |
|                        | 最小オクタン価     | 87 AKI (RON+MON)/2                                                                        |
|                        |             | 92 RON                                                                                    |
|                        | 推奨されるオクタン濃度 | 91 AKI (RON+MON)/2                                                                        |
| 95 RON                 |             |                                                                                           |
| 燃料タンク容量                |             | 26 L                                                                                      |
| 駆動システム                 |             |                                                                                           |
| 終駆動機の形式                |             | カーボン強化されたドライブベルト                                                                          |
| ファイナル・ドライブ比            |             | 28/79                                                                                     |

| モデル                        |                | SPYDER RT                                           |
|----------------------------|----------------|-----------------------------------------------------|
| ステアリング                     |                |                                                     |
| タイプ                        |                | ダイナミックパワーステアリング (DPS)                               |
| フロントサスペンション                |                |                                                     |
| サスペンションタイプ                 |                | アンティロールバー付きのダブルAアーム                                 |
| サスペンショントラベル                |                | 174 mm                                              |
| ショックアブソーバ                  | 数量             | 2                                                   |
|                            | タイプ            | オイルダンパー                                             |
| スプリングプリロード調節               |                | 調整不可                                                |
| リア・サスペンション                 |                |                                                     |
| サスペンションタイプ                 | ベース            | モノショックスイングアーム、プレロードはマニュアルにて調整可能                     |
|                            | RTS、RT limited | モノショックスイングアーム。エアコントロールドサスペンション。コンプレッサーはリモートにてコントロール |
| サスペンショントラベル                |                | 152 mm                                              |
| ショックアブソーバ                  | 数量             | 1                                                   |
|                            | タイプ            | オイルダンパー                                             |
| プレロード調整<br>(マニュアル調整可能のACS) |                | 調整可能な空気圧:135 kPa ~ 625 kPa                          |
| プレロード調整<br>(リモート調整可能のACS)  |                | 5ポジション                                              |

| モデル                         |      | SPYDER RT                                                                                 |
|-----------------------------|------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| ブレーキ                        |      |                                                                                           |
| タイプ                         |      | ABSおよびEBD付きの、足踏式完全統合油圧3輪ブレーキシステム                                                          |
| フロントブレーキ                    |      | デュアル・リジッド・ディスク<br>270 mm、4ピストン・キャリパー2パッド<br>ドラジアルマウント型Brembo Monobloc                     |
| リアブレーキ                      |      | シングル・ディスク 270 mm、パーキングブレーキ付きの1ピストン・フローティング・キャリパー                                          |
| ブレーキ液                       | 容量   | 530 ml                                                                                    |
|                             | タイプ  | DOT 4                                                                                     |
| パーキングブレーキ                   |      | 機械式、リアキャリパーを電子的に作動                                                                        |
| 最小ブレーキディスク厚                 |      | 1 mm                                                                                      |
| 最小ブレーキパッド厚                  |      | 7 mm                                                                                      |
| ブレーキディスクのねじれ最大              |      | 1 mm                                                                                      |
| タイヤ                         |      |                                                                                           |
| タイプ (BRPが推奨するタイヤのみ使用してください) | フロント | KR31 165/55R15                                                                            |
|                             | リア   | KR21 225/50R15                                                                            |
| 圧力                          | フロント | 公称値：138 kPa<br>推奨値:124 kPa<br>最大値: 152 kPa                                                |
|                             | リア   | 公称値：193 kPa<br>推奨値:179 kPa<br>最大値: 207 kPa<br><b>注記：</b> 左右のタイヤの圧力の差は3.4kPa以上超過させないでください。 |
| タイヤ溝の最小深さ                   | フロント | 2.5 mm                                                                                    |
|                             | リア   | 4 mm                                                                                      |

| モデル                 |      | SPYDER RT         |
|---------------------|------|-------------------|
| ホイール                |      |                   |
| サイズ<br>(直径 X 幅)     | フロント | 381 mm x 127 mm   |
|                     | リア   | 381 mm x 178 mm   |
| 前輪ナットへのトルク          |      | 105 N・m ~ 113 N・m |
| リア車軸ナットへのトルク        |      | 210 N・m ~ 240 N・m |
| 寸法                  |      |                   |
| 全長                  |      | 2 667 mm          |
| 全幅                  |      | 1 572 mm          |
| 全長                  |      | 1 510 mm          |
| シート（上部）の高さ          |      | 772 mm            |
| ホイールベース             |      | 1 714 mm          |
| 前輪トラック              |      | 1 384 mm          |
| 最低地上高（エンジンの前部および下部） |      | 115 mm            |

| モデル                                           |                    | SPYDER RT |        |
|-----------------------------------------------|--------------------|-----------|--------|
| 重量および積載量                                      |                    |           |        |
| 乾燥重量                                          | ベース                | SM6       | 459 kg |
|                                               |                    | SE6       | 466 kg |
|                                               | RT-S               | SM6       | 464 kg |
|                                               |                    | SE6       | 471 kg |
|                                               | LTD                |           | 477 kg |
| フロントストレージ<br>コンパートメント                         | 容量                 |           | 58 L   |
|                                               | 最大積載量              |           | 16 kg  |
| グローブボックス                                      | 容量                 |           | 2 L    |
| リア横方向ストレージ・<br>コンパートメント                       | 容量                 |           | 52 L   |
|                                               | 最大積載量              |           | 7 kg   |
| リアセンタースト<br>レージコンパート<br>メント                   | 容量                 |           | 43 L   |
|                                               | 最大積載量              |           | 9 kg   |
| 許容される合計車両積載量 (ドライバー、同乗者、積荷および追加されたアクセサリも含みます) |                    |           | 224 kg |
| 車両総重量 (GVWR)                                  | LTD<br>以外の全<br>モデル |           | 680 kg |
|                                               | LTD<br>のみ          |           | 750 kg |
| トレーラーの接合部への最大重量                               |                    |           | 18 kg  |
| 最大牽引重量 (トレーラーおよび積荷)                           |                    |           | 180 kg |

製品の品質と技術革新への継続的なコミットメントを果すために、BRPは以前に製造された製品に同様の改良を加える義務を負うことなく、その製品の設計や仕様の変更、追加、または改良をいつでも行う権利を留保します。



# 保証

# BRP限定保証 - 米国およびカナダ: 2015 Can-Am® SPYDER® ROADSTER

## 1. 限定保証の範囲

Bombardier Recreational Products Inc. (以下「BRP」とします)\*は、米国およびカナダの認定Can-Am Roadsterディーラー(以下に定義します)によって販売された2015年型のCan-Am Spyder Roadsters (以下、「Roadster」)について、指定の期間の間、下記の内容のもとで素材または製造上の欠陥がないことを保証します。以下の場合は、この限定保証は無効になります：(1)Roadsterを、以前の所有者による行為である場合も含めて、一度でもレースやその他の競技活動に使用した場合、または(2)オドメーターを取り外したり、改ざんした場合。(3)Roadsterをオフロードで使用した場合。(4)Roadsterの動作、性能または耐久性に悪影響を与えるような方法で変更、修正した場合、または、意図された使用を変えるために変更、修正した場合。

特に指定のない場合を除き、Roadsterが納入される際に、認定ディーラーによってRoadsterに取り付けられたすべてのRoadster純正部品およびアクセサリは、Roadster本体と同じ保証を受けるものとします。

## 2. 責任の範囲

この保証は明示的に付与されるものであり、商品性または特定の目的への適合性の何らかの保証を含むがそれらのみには限定されない明示的または暗示的なその他のすべての保証に代わるものとして受諾されます。それらが否認され得ない限りにおいて、暗示的保証は明示的保証の有効期限内のみに限定されます。付随的および間接的損害は、この保証の範囲から除外されます。ただし、一部の国では上述の否認、制限、除外が認められていないため、それらはあなたには適用されない可能性があります。この保証は特定の権利を付与するものであり、あなたは国ごとに異なるその他の法的権利を留保することができます。

ディストリビューター、ディーラー、そしていかなる個人は、この限定保証に含まれていない確約、表明、または保証を提供する許可はされておらず、万が一提供された場合は、それらの内容はBRPに対して強制できるものではありません。BRPはこの保証をいつでも変更する権利を留保します。ただし、すでに販売されたRoadsterに適用される保証条件は、その保証が有効な間は変更されないことに同意します。

## 3. 除外規定 (以下は保証修理の対象とはなりません)

いかなる状況においても、以下は保証対象ではありません:

- オイル、潤滑剤、液体、フィルターおよびスパークプラグを含むがこれらの限定されない、定期的にメンテナンスする必要のある部品の交換。
- タイヤ、バッテリー、発電機のブラシ、シールドビームおよび電球、クラッチプレートおよびフェーシング、駆動ベルト、ブレーキ・パッド、ブレーキ・ライニング、ローターおよびスプロケットを含む部品の通常の磨耗および消耗。
- ベルト、アライメントおよび車輪バランスの調整を含む部品のチューンアップおよび調整。
- シートカバーの素材の傷、へこみ、退色、剥離や損傷を含むが、これらに限定されないRoadsterの外観への損傷。

- オペレーターズガイドに示されている適正なメンテナンスまたは保管を怠ったために発生した損害
- Roadsterの正式仕様範囲を超える部品を取り外し、不適切な修理、扱いまたはメンテナンス、および改造や改変による損傷、または認定ディーラーの一員ではない人によって行われた修理によって生じた損傷。
- 異なるタイヤ、エキゾースト・システム、車輪またはブレーキを含むが、これらに限定されない、Roadsterの純正部品とは異なる仕様の部品の取り付けにより生じた損傷。
- 誤用、乱用、過失、またはオペレーターズガイドで説明されている推奨事項に一致しない方法によるRoadsterの操作によって発生した損害。
- 水の吸い込み、事故、道路上の危険性、水没、火災、盗難、破壊行為、またはあらゆる天災や不可抗力の結果として生じた損傷。
- オペレーターズガイドの推奨事項と異なる仕様の燃料、オイルまたは液体を使って生じた損傷。
- オペレーターズガイドの説明とは異なる道路塩、バッテリー液または環境の影響から生じた損傷。
- 間接的な損害、付随的な損害、つまり、牽引、保管、電話、レンタル、タクシー、不便性、保険対象、ローンの支払い、時間の損失、所得喪失等それらのみ限定されないその種の損害。

#### 4. 保証対象期間

この保証は、最初に購入した消費者に納入された日、またはそのRoadsterが最初に使用された日のいずれか早い日から、次の期間有効です。

- 1 私用の遊びでの使用場合は、以下の(2)から(5)の状況以外では、連続する24ヶ月間連続する12ヶ月間。

保証期間中であっても、Roadsterによる収入の発生、またはRoadsterが何らかの業務または職業で用いられた場合は、Roadsterは商業的用途で使用されたものと見なされます。また、保証期間中にRoadsterが商業用として登録されたり、商業用途の使用許可を受けた場合も、Roadsterは商業的用途で使用されたものと見なされます。これは最小限の保障期間で、場合によっては適用される保証プロモーションプログラムによる延長が可能です。

- 2 バッテリーにおいては、連続する6ヶ月間
- 3 タイヤにおいては、連続する6ヶ月間、または前輪が 3/32 インチ (2.38 millimeters)まで磨り減った時点、または後輪が5/32インチ (3.97 millimeters)まで磨り減った時点のいずれかが最初に発生した時点。
- 4 排出ガス関連のコンポーネントに関しては、本書に記載された米国 EPA 排出ガス関連保証も参照してください。

5 カリフォルニア州の住民への販売、およびその後の保証はカリフォルニア州の住民に登録されることを本来意図して製造され、カリフォルニア州での販売を目的としたRoadsterについては、関連するカリフォルニア州の排出ガス制御保証規定もご覧ください。

この保証によるパーツの修理または交換、あるいはサービスの実施によって、保証の本来の有効期限を超えてこの保証が延長されることはありません。

## 5. 保証の適用を受けるための条件

この保証適用は、次の各条件が満たされたときにのみ適用されます:

- Roadsterは、その販売が行われた国(「ディーラー」)においてRoadsterの販売を許可されているSpyder Roadsterのディーラーから、新品で未使用の製品として購入される必要があります。
- BRPが指定する納入前点検を完全に実施し、文書化し、購入者がそれを署名する必要があります。
- Roadsterは、認定ディストリビューター/ディーラーによって適切に保証の登録をされる必要があります。
- Roadsterは、購入者が居住する国で購入される必要があります。
- オペレーターズガイドにしたがって定期的なメンテナンスを行う必要があります。BRPは、この保証を適用する際の条件として、適切なメンテナンス実施の証明を求める権利を留保します。

BRPは、上記条件が満たされない場合、個人使用の所有者または業務用に使用する所有者に対して限定保証を与えません。このような制限は、BRPが製品の安全ばかりでなく、消費者と一般の人々の安全を確保するためにも必要です。

## 6. 保証を受けるためにしていただくこと

お客様は、異常が発生した直後にRoadsterの使用を中断しなければなりません。お客様は欠陥の発見から3日以内に、整備を行うディーラーにその旨を通知し、ディーラーが修理を行うために必要とする期間をディーラーに与える必要があります。また、お客様は製品の購入を証明するものをディーラーに提示しなければならず、保証修理を有効にするため、その修理の開始に先立って修理/作業注文書に署名しなければなりません。この限定保証に基づいて交換された部品は、すべてBRPの所有となります。

## 7. BRPが行うこと

この保証に基づくBRPの義務は、保証期間中、通常の使用、メンテナンス、および整備が行われたにもかかわらず故障した部品を、部品代および工賃を請求することなく、任意の認定ディーラーにおいて、当社の判断により修理するかまたは新しいRoadsterの純正部品と交換することです。BRPの責任は、部品の必要な修理または交換を行うことだけに限定されます。保証の不履行に対する請求は、Roadsterの払い戻しや販売の撤回の理由とはなりません。

最初の販売の国以外でサービスが必要である場合には、例えば輸送料金、保険、税金、ライセンス料、関税、および、いかなるそして全ての他の金融手数料に関して、これらに限定せず、政府、州、領域やそれぞれの

機関によって課される場合も含めて、オーナーは地域の慣習や状況による全ての追加料金に関する責任を負います。

BRPは、製造されたいかなる製品に同様の改良を加える義務を負うことなく、製品の改良または変更を継続して行う権利を留保します。

## 8. 所有権の譲渡

保証期間中にRoadsterの所有権が譲渡された場合は、この保証も同時に譲渡され、以下のような方法で所有権の譲渡がBRPに通知されることを条件に、残りの保証期間の間も有効となります。

1. 旧所有者がBRP(下記の電話番号)または認定ディーラーに連絡し、新しい所有者の連絡先を知らせること。
2. BRPまたは認定ディーラーは、旧所有者の所有権の譲渡に対する同意書、および新しい所有者の連絡先を受領する。

## 9. 消費者への支援

本限定保証に関して論争または紛争が生じた場合、まずはディーラーレベルで問題解決を試みてください。その問題について、認定ディーラーのサービスマネージャーまたは店主とよく話し合ってください。

それでも問題が解決されない場合は、ご不満の内容を書面で提出するか、下記の適切な番号までお電話ください：

カナダ：

**BOMBARDIER RECREATIONAL PRODUCTS INC.**  
SPYDER ROADSTER  
Customer Assistance Center  
75 J.-A. Bombardier Street  
Sherbrooke QC J1L 1W3  
電話番号：819 566-3366

米国：

**BRP US INC.**  
SPYDER ROADSTER  
Customer Assistance Center  
7575 Bombardier Court  
Wausau WI 54401  
電話番号：715 848-4957

## 米国 EPA 排出ガス性能保証

Bombardier Recreational Products Inc. (「BRP」)は、以下の条件をすべて満たしている場合に保証致します。

1. 車両は、正しいメンテナンスと使用に関する文書による指示に従い整備、操作されている。
2. 車両が、適用耐用期間中に、EPA承認排出ガステストにより決められた通り、適用される排出ガス基準またはファミリー排出ガス限度に適応できなくなった。
3. 非準拠により、車両の所有者が、地域、州または連邦の法律に基づき、罰金その他の制裁（車両を使用する権利の否定を含む）を負う、または負うであろう結果を招いた際、車両が5年以上または30,000キロメートル（18,641マイル）以上使用されている場合を除き、BRPは所有者への費用なしで非準拠を補修します。BRPには、車両の排出ガスを減少させることを唯一または主要な目的として取り付けられたコンポーネントで、1968年型以前には一般的に使用されていなかったものの故障から生じた非準拠の矯正のみが義務付けられます。

保証期間は、車両が最終購入者に納品された日に、または車両が最初に「展示品」または「会社」のモーターサイクルとして使用された場合には最初に使用された日に開始します。

排気ガス性能保証によって使用耐用期間中の全期間保証されているアイテムは以下の通りです。

### 燃料システムおよび給気システム

- 燃料インジェクター、燃料ポンプモジュール、燃料フィルターアセンブリ、スロットルボディ（スロットルポジションセンサーを含む）、吸気マニホールド

### イグニッションコンポーネントおよびセンサー

- エンジンコントロールモジュール(ECM)、エンジン配線ハーネス、イグニッションコイル、スパークプラグ（保証されるのは最初の整備交換まで）、騒音センサー（ノックセンサー）、カムシャフトポジションセンサー、クランクシャフトポジションセンサー、温度センサー、圧力および温度センサー、酸素センサー

### エキゾーストシステム

- プライマリマフラー（触媒コンバーターを含む）、エキゾーストマニホールド
- クランプ、ガスケットおよびシール（エンジンからプライマリマフラーまで）

### クランクケースベンチレーションシステム

- クランクケースベントブリーザー、クランクケースベントホース、オイルフィルターキャップ

### 蒸気ガスエミッションコントロールシステム

- 燃料タンク、燃料キャップ、燃料ホース、蒸気キャニスター、蒸気キャニスターのマウンティングブラケット、ブリード弁（パーシバルブ）
- クランプ、シール、ガスケットおよびフィッティング（燃料システムアセンブリに関係するもの）

適切なメンテナンスについては、このオペレーターズガイドのメンテナンス情報セクションをご覧ください。このオペレーターズガイドには、車両の適切な使用に関する情報が含まれています。

排気ガス性能保証によると、以下のリストの項目 2 により要求される緊急修理を除き、BRP は Can-Am Roadster 認定ディーラーに修理のために正当に持ち込まれたいかなる車両の補修費用全額を支払う責任があります。故障した車両の所有者に課される罰金または制裁の程度に関する州または地域の法律は、この責務には関係しません。

以下の理由を根拠に、BRP が排気ガス性能保証の請求を拒否することはありません。

1. BRP によって認定された施設でそういった作業またはサービスを行うために実施された保証作業または納入前サービス
2. 車両の所有者が車両が規格に合致するよう迅速に対処した場合に限り、BRP が原因の、運転が危険な状態を含む危険状態を修正するために緊急状況で行われた作業
3. 適用される排出ガス基準に車両が適応できない理由とは無関係な、保証されていない部品の使用、または適切なメンテナンスおよび使用に関する文書による指示の不履行
4. BRP に責任があるあらゆる原因
5. 適切なメンテナンスおよび使用に関する文書による指示で特にその燃料の使用が車両の排気ガス制御装置およびシステムに悪影響を及ぼすと明記され、使用に適切な燃料の識別方法に関する一般的に良く知られている情報を所有者が得られる場合を除き、車両が存在する地域で一般的に使用されているいかなる燃料の使用。メンテナンス情報セクションおよび給油セクションの燃料に関する要件をご覧ください。

前の項目に記されている場合を除き、保証されていない部品の使用が原因で車両が排気ガス基準を満たせなくなった場合に、BRP は、車両のメンテナンスまたは修理で使用された保証されていないアフターサービス部品に基づいて、排気ガス性能保証の請求を拒否することがあります。純正部品と同等ではない部品または保証されていないアフターサービス部品の使用は、排気ガス制御システムの効率に悪影響を及ぼす可能性があります。車両が排気ガス基準を満たさなくなります。保証部品の使用は排気ガス性能保証に影響しません。**排出ガス制御装置およびシステムのメンテナンス、交換、または修理は、モーターサイクルの修理工場または保証部品を使用する個人なら誰でも実施できます。**

お客様は、欠陥に気がついたらすぐに、Can-Am Roadster 認定ディーラーに車両を持ち込む責任があります。Can-Am Roadster 認定ディーラーが保証請求の手続きをします。

Can-Am Roadster 認定ディーラーが、(車両の所有者、あるいは BRP または Can-Am Roadster 認定ディーラーのコントロール外の出来事が原因ではない理由で) 最初に車両が Can-Am Roadster 認定ディーラーに持ち込まれて 30 日以内に車両を修理できない場合は、所有者には、所有者が選んだ修理工場で、BRP が費用を負担して、保証補修を行う権利があります。

この保証に基づいて交換された欠陥部品は、すべて BRP の所有となります。

連絡先： Director, Field Operations and Support Division (6406J), Environmental Protection Agency, 401 "M" Street, SW., Washington, DC 20460 (Attention:Warranty Claim)。排気ガス性能保証に関する詳細につ

いて、または排気ガス性能保証条項の違反の報告は、この連絡先に問い合わせてください。

また、Bombardier Recreational Products Inc (以下「BRP」とします) は、最終購入者および各二次購入者に対して、排気エミッション制御システムおよび蒸気ガス制御システムのすべての部品を含み、この新しいエンジンが二つの条件を満たすことを保証します。

- 最終購入者への販売時に、オンロードモーターサイクルに適用される 40 CFR 86 および蒸気ガス排出基準 40 CFR 1051 の要件に準拠するよう設計、組み立て、装備されています。
- オンロードモーターサイクルに適用される 40 CFR 86 および蒸気ガス排出基準 40 CFR 1051 の要件への準拠を妨げるような素材および製造上の欠陥はありません。

保証の対象となるものがある場合は、BRP は表示された保障期間中、規制されている汚染物質のエンジンからの排出を上昇させる、素材または製造上の欠陥がある部品やコンポーネントの修理または取り換えを、排出ガス関連部品の診断、修理または取り換の費用を含み、無償で行います。

排出ガス関連保証は、以下の期間のもっとも短い期間になります。

|                       | キロメートル/マイル    | 年数 |
|-----------------------|---------------|----|
| 排出ガスおよび蒸気ガス関連コンポーネント: | 30,000/18,641 | 5  |

## 米国 EPA 連邦騒音エミッション保証

また、Bombardier Recreational Products Inc (以下「BRP」とします) は、最終購入者および各二次購入者に対して、以下の期間で最も先に訪れた期間、この新しい車両が販売時にすべての適用される米国 EPA 連邦騒音コントロール基準を満たすよう設計、組み立て、装備されており、適切に整備および使用されている場合には、すべての適用される米国 EPA 連邦騒音基準への準拠を妨げるような素材および製造上の欠陥がないことを保証します。

| キロメートル/マイル  | 年数 |
|-------------|----|
| 6,000/3,730 | 1  |

\* 米国内では、製品の流通とサービスはBRP US Inc.が行います。



## カリフォルニア州の排出ガス制御保証規定

### 保証の権利と義務

これよりカリフォルニア州大気資源委員会およびBombardier Recreational Products Inc.を代表してBRP US Inc. (以下「BRP」)\*は、2014年型のCan-Am Spyder Roadsterの排出ガス制御システム保証に関する説明をします。カリフォルニアでは、新しい自動車は州のスモッグ防止基準を満たすように設計、組み立て、装備されてなければなりません。BRPは、酷使や不注意、そして不適切なメンテナンスが行われない限り、使用されているRoadsterを下記の期間以上、Roadsterの排出ガス制御システムを保証しなければなりません。

排出ガス制御システムには、噴射装置、イグニッション・システム、触媒コンバータおよびエンジン・コンピューター等の部分が含まれます。またホース、コネクターおよびその他の排出関連のアセンブリーが含まれます。保証の対象となるものがある場合は、BRPは診断、部品および労働費を含めて、無料でRoadsterを修理いたします。

### 製造業者の補償範囲

- 5年間、または30,000km(18,641 マイル)のどちらかが先に発生した時点。

### 所有者の保証における責任

Roadsterの所有者として、オペレーターズガイドに記載されている必要なメンテナンスを実施する責任があります。BRPはRoadsterの保証に関するすべての受領書を安全な場所に保管しておくことを推奨しますが、BRPは受領書の紛失またはすべてのメンテナンスをお客様が行わなかったとしても、保証の提供をいたします。

問題が発生した場合は、RoadsterをBRP認定ディーラーにできるだけ早くもって行ってください。保証修理期間は、30日以下とする妥当な時間を用います。

また、Roadsterの所有者として、BRPは酷使、不注意、不適切なメンテナンス、不適切な改変により生じたRoadsterまたは部品の故障に対する一切の保証をいたしかることを考慮してください。

保証の権利と義務に関してご質問がありましたら、BRPのお客様相談室 (1-715-848-4957) またはCalifornia Air Resource Board (9528 Telstar Avenue, El Monte, CA 91731) までお問い合わせください。

\* 米国内では、製品の流通とサービスはBRP US Inc.が行います。

© 2014 Bombardier Recreational Products Inc. 全権保留。

™ Bombardier Recreational Products Inc.または関連会社の商標です。

# BRP限定保証2015 Can-Am™ SPYDER™ ROADSTER

## 1. 限定保証の範囲

Bombardier Recreational Products Inc. (「BRP」)\*は、米国およびカナダ\*\*を除いた国のCan-Am Spyder Roadsterの認定ディストリビューターまたはディーラー（以下、「ディストリビューターまたはディーラー」とする）によって販売されたSpyder2015 Can-Am Spyder Roadster（以下、「製品」とする）は以下の期間および条件を踏まえて材料または製造上の欠陥がないことを保証します。以下の場合は、この限定保証は無効になります：(1)製品を、以前の所有者による行為である場合も含めて、一度でもレースやその他の競技活動に使用した場合、または(2)オドメーターを取り外したり、改ざんした場合。(3)製品をオフロードで使用した場合。(4)製品の動作、性能または耐久性に悪影響を与えるような方法で改造、修正した場合、または、意図された仕様を変えるような改造、修正した場合。

製品が納入された時点において、認定ディストリビューターまたはディーラーによって製品に取り付けられたすべての純正部品やアクセサリーには製品と同じ保証が与えられます。

## 2. 責任の範囲

法律の許す範囲内における管轄で、この保証は明示的に付与されるものであり、商品性または特定の目的への適合性の何らかの保証を含むがそれらのみには限定されない明示的または暗示的なその他のすべての保証に代わるものとして受諾されます。それらが否認され得ない限りにおいて、暗示的保証は明示的保証の有効期限内のみに限定されます。この保証は、偶然による、必然的、直接的、間接的またはその他のいかなるすべての損害を保証しません。特定の管轄では、上記の偶発による、または必然的な損傷やその他の除外規定における制限や免責事項は適用されない場合があります。そのため、上記の規定はお客様に適用されない場合があります。この保証は特定の権利を付与するものであり、あなたは国または法域ごとに異なるその他の法的権利を留保することができます。(オーストラリアで購入された製品については、以下の第4項をご参照ください)。

認定ディストリビューターまたはディーラーや、その他の人物のいずれにおいても、この限定保証に含まれるもの以外に、製品に関する確認、表示、保証を行う権限は与えられておらず、それが行われた場合にもBRP に対する強制力はありません。BRPはこの保証をいつでも変更する権利を留保します。ただし、すでに販売された製品に適用される保証条件は、その保証が有効な間に変更されないことに同意します。

## 3. 除外規定（以下は保証修理の対象とはなりません）

どの状況においても、以下はこの限定的保証の対象ではありません。

- オイルおよび潤滑剤、フィルターおよびスパークプラグを含む、定期的なメンテナンスが必要な部品の交換。
- タイヤ、バッテリー、発電機のブラシ、シールドビームおよび電球、クラッチプレートおよびフェーシング、駆動ベルト、ブレーキ・パッド、ブレーキ・ライニング、ローターおよびスプロケットを含む部品の通常の磨耗および消耗。
- ベルト、アライメントおよび車輪バランスの調整を含む部品のチューンアップおよび調整。

- シートカバーの素材の傷、へこみ、退色、剥離や損傷を含む製品の外観への損傷。
- オペレーターズガイドに示されている過失または適正なメンテナンス／保管を怠ったために発生した損害。
- 製品の正式仕様範囲を超える部品を取り外し、不適切な修理、扱いはまたはメンテナンス、および改造や改変による損傷によって生じた損傷、またはBRPによって製造または承認されず、BRPによって製品に適合ではない、または製品の操作に不利に影響すると合理的に判断された部品やアクセサリーの使用によって生じた損傷、または認定ディストリビューターまたはディーラーによって行われなかった修理から生じた損傷。
- 異なるタイヤ、エキゾースト・システム、車輪またはブレーキを含む純正部品とは異なる仕様の部品の取り付けにより生じた損傷。
- 誤用、乱用、過失、レースでの使用、またはオペレーターズガイドで説明されている推奨事項に一致しない方法による製品の操作によって発生した損害。
- 水の吸い込み、事故、道路上の危険性、水没、火災、盗難、破壊行為、またはあらゆる天災や不可抗力の結果として生じた損傷。
- オペレーターズガイドの推奨事項と異なる仕様の燃料、オイルまたは潤滑剤を使って生じた損傷。
- オペレーターズガイドの説明とは異なる道路塩、バッテリー液または環境の影響から生じた損傷。
- ガソリンの費用、認定ディストリビューターまたはディーラーに製品を回送、回収するための費用、メカニックの出張費、トレーラーまたは牽引による移送、保管、携帯、ファックスまたは電報の料金、保証の施行期間における代替製品のレンタル、タクシー、旅費、宿泊費、私物の損失または欠損、不便性、保険の費用、ローンの支払い、時間の損失、所得、収入や利益の損失、または製品の使用または使用の楽しみの損失などを含むが、これらに限定されない偶発的または必然的な損害。

#### 4. 保証対象期間

この保証は、最初に購入した消費者に納入された日、またはその製品が最初に使用された日のいずれか早い日から、次の期間有効です。

- a. 私用での使用場合は、以下の(b)および(c)の状況以外では、**連続する24ヶ月間**。商業的利用の場合は、以下の(b)および(c)の状況以外では連続する12ヶ月間。

保証期間中であっても、製品の使用による収入の発生、またはRoadsterが何らかの業務または職業で用いられた場合は、Roadsterは商業的用途で使用されたものと見なされます。また、保証期間中に製品が商業用として登録されたり、商業用途の使用許可を受けた場合も、Roadsterは商業的用途で使用されたものと見なされます。

- b. バッテリーにおいては、**連続する6ヶ月間**。
- c. タイヤにおいては、**連続する6ヶ月間**、または前輪が 3/32 インチ (2.38 millimeters)まで磨り減った時点、または後輪が5/32 インチ (3.97 millimeters)まで磨り減った時点のいずれかが最初に発生した時点。

この保証によるパーツの修理または交換、あるいはサービスの実施によって、保証の本来の有効期限を超えてこの保証が延長されることはありません。

保証期間および保証の他の条件は、お客様の国で適用される関連する法令に従います。

## オーストラリアで販売された製品のみ適用

これらの保証の利用規約は、オーストラリアの消費者法またはその他の法律を含む、Competition and Consumer Act 2010 (Cth) (2010年競争・消費者法) によって授与または黙示されるいかなる条件、保証、請け合い、権利または善後策の適用を除外、制限または変更しないものとし、法律を違反しないものとします。もし違反する利用規約がある場合、それは無効となります。この限定的保証で得られるメリットは、オーストラリアの法律で守られている権利および善後策に加えて与えられます。

弊社の製品の保証は、オーストラリアの消費者法によって守られています。重故障に対する交換または払い戻し、またはその他のいかなる合理的に予見可能な損失または損害に対する補償が約束されます。お客様には、製品が許容される品質を満たせず、その故障が重故障とならない場合、その製品を修理または交換する権利があります。

## 5. 保証の適用を受けるための条件

この保証適用は、次の各条件が満たされたときにのみ適用されます:

- 製品は、その販売が行われた国において製品の販売を許可されているディストリビューターまたはディーラーから、新品で未使用の製品として最初の所有者により購入される必要があります。
- BRPが指定する納入前点検が購入者および認定ディストリビューターまたはディーラーによって完了および文書化され、購入者によって署名されている。
- 製品は、認定ディストリビューター／ディーラーによって正しく保証登録されなければなりません。
- 製品は、購入者が居住する国で購入される必要があります。しかしEEAの住人はEEAのどの国に関係なく、EEAの地域内で製品を購入した必要があります。独立国家共同体（「CIS」）の住人はCISのどの国に関係なく、CISの地域内で製品を購入した必要があります。
- オペレーターズガイドに記載されている定期的メンテナンスは時宜に即して行う必要があります。BRPは、この保証を適用する際の条件として、適切なメンテナンス実施の証明を求める権利を留保します。

BRPは、上記条件が満たされない場合、個人使用の所有者または業務用に使用する所有者に対して限定保証を与えません。このような制限は、BRPが製品の安全ばかりでなく、消費者と一般の人々の安全を確保するためにも必要です。

## 6. 保証を受けるためにしていただくこと

お客様は、異常が発生した直後に製品の使用を中断しなければなりません。お客様は欠陥の発現から2ヶ月以内に、整備を行うディストリビューターまたはディーラーにその旨を通知し、合理的と認められる製品へのアクセスと修理の機会をディーラーにあたえなければなりません。また、お客様は製品の購入を証明するものをディストリビューターまたはディーラーに提示しなければならず、保証修理を有効にするため、その修理の開始に先立って修理／作業注文書に署名しなければなりません。この限

定保証に基づいて交換された部品は、すべてBRPの所有となります。通知期間はお客様の国で適用される関連する法令に従うことに留意ください。

## 7. BRPが行うこと

法律が許す範囲内において、この保証に基づくBRPの義務は以下に記載する条件の下で、保証期間中、通常の使用、メンテナンス、および整備が行われたにもかかわらず故障した部品を、部品代および工賃を請求することなく、任意の認定ディストリビューターまたはディーラーにおいて、当社の判断により修理するかまたは新しい純正部品と交換することに限定されます。BRPの責任は、部品の必要な修理または交換を行うことだけに限定されます。保証の不履行に対する請求は、製品の払い戻しや販売の撤回の理由とはなりません。権利者は国ごとに異なるその他の法的権利を留保することができます。

最初の販売の国以外でサービスが必要である場合には、またはEEA居住者がEEA外で、例えば輸送料金、保険、税金、ライセンス料、関税、および、いかなるそして全ての他の金融手数料に関して、これらに限定せず、政府、州、領域やそれぞれの機関によって課される場合も含めて、オーナーは地域の慣習や状況による全ての追加料金に関する責任を負います。

BRPは、それ以前に製造されたすべての製品に同様の改良を加える義務を負うことなく、製品の改良または変更を継続して行う権利を留保します。

## 8. 所有権の譲渡

保証期間中に製品の所有権が移転された場合は、この保証も同時に移転され、以下のような方法で所有権の譲渡がBRPに通知されることを条件に、残りの保証期間の間も有効となります。

- (a) 旧所有者がBRP(下記の電話番号)または認定ディストリビューターまたはディーラーへ連絡し、新しい所有者の連絡先を知らせる。
- (b) BRPまたは認定ディストリビューターまたはディーラーは、旧所有者の所有権の譲渡に対する同意書、および新しい所有者の連絡先を受領する。

## 9. 消費者への支援

1. 本限定保証に関して論争または紛争が生じた場合、まずはディストリビューター/ディーラーレベルで問題解決を試みてください。その問題についてBRP認定ディストリビューター/ディーラーのサービスマネージャーまたは店主とよく話し合ってください。
2. さらに支援が必要な場合は、ディストリビューター/ディーラーのサービス部門にご相談ください。
3. それでも解決できない場合は、問題の内容を書面にして、下記に提出してください。

ヨーロッパ、中東、アフリカ、ロシアおよび CIS の方々は、  
ヨーロッパオフィスまでご連絡ください。

### **BRP EUROPE N.V.**

Customer Assistance Center (お客様相談室)  
Skaldenstraat 125  
9042 Gent  
Belgium  
電話番号: +32-9-218-26-00

北欧諸国の方々は、フィンランドオフィスまでご連絡ください。

### **BRP FINLAND OY**

Service Department (サービス部門)  
Isoaavantie 7  
FIN-96320 Rovaniemi  
Finland  
電話番号: +358 16 3208 111

上記以外の国の方々は、地元のディストリビューターまたはディーラー  
、あるいはカナダの弊社オフィスまでご連絡ください。

### **BOMBARDIER RECREATIONAL PRODUCTS INC.**

Customer Assistance Center (消費者支援センター)  
75 J.-A. Bombardier Street  
Sherbrooke, QC J1L 1W3  
電話番号: +1 819 566-3366

ディストリビューターまたはディーラーの連絡先は[www.brp.com](http://www.brp.com)でご覧  
になれます。

## **フランスのみ適用する追加利用規約**

次の利用規約はフランスで販売されている製品だけに適用されます。

販売者は契約を遵守する製品を配送し、配送時に認められる欠陥の責任を負います。販売者は、契約による自らの責任で、または自らの責任で行われたパッケージング、組み立て指示または取り付けに起因する欠陥の責任を負います。契約を成立させるには、製品は次の条件をクリアする必要があります。

\* EEAおよびその他の国では、製品の流通とサービスはBRP European Distribution S.A.およびBRPの子会社によって行われます。

\*\* 米国およびカナダで販売されている製品に提供されているBRPの限定的保証はEEAやその他の国のとは異なります。

© 2014 Bombardier Recreational Products Inc. 全権保留。

™ Bombardier Recreational Products Inc.または関連会社の商標です。

1. 製品は同等製品における通常の実行を行える必要があり、該当する場合は、次の条件もクリアする必要があります。
  - 1.1 製品の特性は販売者の説明と一致し、特性はサンプルまたは模型により購入者に説明されていること。
  - 1.2 製品は、広告やラベルを含めた販売者および製造業者の公共宣言により合法的に購入者によって期待される性能を提供できること。または、
2. 製品は、当事者間で相互に合意された特性を持っている、または購入者が事前に販売者に特定の使用目的を相談し、販売者が目的を満たせると承諾した特性を持っていること。

仕様不遵守に対する処置は、配送から2年間有効です。販売者は、製品に購入者の使用目的が満たせられなくなるほどの隠された欠陥がある場合、またはその欠陥を事前に知っていたらより低い値段で買っていた場合、その隠れた欠陥に対する保証の責任を負います。そのような隠れた欠陥に対する賠償要求は、欠陥の発見から2年以内に購入者によって行われる必要があります。

---

**このページは  
意図的に空白になっています**



# 顧客情報

---

## プライバシー情報

お客様のご連絡先情報は安全性の確保と保証に関する目的で使わせていただきます。さらに、BRPおよび子会社は顧客リストを使用してBRPおよび関連製品のマーケティングおよびプロモーション情報を配布させていただくことがあります。

お客様のデータについて相談、訂正する、あるいはダイレクトマーケティング用の宛先人リストから削除する場合は、BRPまでご連絡ください。

電子メール：**privacyofficer@brp.com**

郵便：  
BRP  
Senior Legal Counsel-Privacy Officer  
726 St-Joseph  
Valcourt, Quebec  
Canada,  
J0E 2L0

---

## 住所と所有権の変更

お客様が住所を変更された場合または車両の新しい所有者になった場合は、以下のいずれかの方法でBRPに通知してください。

- 以下の宛先にカードを郵送する。
- **北米のみ:** 715 848-4957 (米国)または 819 566-3366 (カナダ)へ電話する。
- Can-Am Roadsterの認定ディーラーへのお問い合わせ

所有権の変更の場合は、以前の所有者が譲渡に合意している証明書を添付してください。

例えば、安全上のリコールを開始した場合など、BRPが必要に応じて車両の所有者に連絡できるように、限定保証の期間が終了した後も、BRPに通知することが重要です。BRPに通知するのは、所有者の責任です。

**盗難に遭った場合:** 車両が盗まれた場合は、BRPまたはCan-Am Roadsterの認定ディーラーにお問い合わせください。お客様の氏名、ご住所、電話番号、車両識別番号、そして盗難の日付をお知らせください。

### 北米

#### **BOMBARDIER RECREATIONAL PRODUCTS INC.**

Warranty Department (保証部門)  
75 J.-A. Bombardier Street  
Sherbrooke, QC J1L 1W3  
Canada

### 他の国々での連絡先

#### **BRP EUROPEAN DISTRIBUTION**

Warranty Department  
Chemin de Messidor 5-7  
1006 Lausanne  
Switzerland

### 北欧地域

#### **BRP FINLAND OY**

Service Department (サービス部門)  
Isoaavantie 7  
Fin-96320 Rovaniemi  
Finland  
電話番号: + 358 16 3208 111



住所の変更 所有権の変更 

車両識別番号

モデル番号

車両識別番号 (V.I.N.)

以前の住所または以前のオーナー:

氏名

番地

街路アドレス

アパート番号

都市

州/行政区

ZIP番号/郵便番号

国

電話番号

新しい住所または新しいオーナー:

氏名

番地

街路アドレス

アパート番号

都市

州/行政区

ZIP番号/郵便番号

国

電話番号

V00A2F

Eメールアドレス

住所の変更 所有権の変更 

車両識別番号

モデル番号

車両識別番号 (V.I.N.)

以前の住所または以前のオーナー:

氏名

番地

街路アドレス

アパート番号

都市

州/行政区

ZIP番号/郵便番号

国

電話番号

新しい住所または新しいオーナー:

氏名

番地

街路アドレス

アパート番号

都市

州/行政区

ZIP番号/郵便番号

国

電話番号

V00A2F

Eメールアドレス



住所の変更 所有権の変更 

車両識別番号

モデル番号

車両識別番号 (V.I.N.)

以前の住所または以前のオーナー:

氏名

番地

街路アドレス

アパート番号

都市

州/行政区

ZIP番号/郵便番号

国

電話番号

新しい住所または新しいオーナー:

氏名

番地

街路アドレス

アパート番号

都市

州/行政区

ZIP番号/郵便番号

国

電話番号

V00A2F

Eメールアドレス

住所の変更 所有権の変更 

車両識別番号

モデル番号

車両識別番号 (V.I.N.)

以前の住所または以前のオーナー:

氏名

番地

街路アドレス

アパート番号

都市

州/行政区

ZIP番号/郵便番号

国

電話番号

新しい住所または新しいオーナー:

氏名

番地

街路アドレス

アパート番号

都市

州/行政区

ZIP番号/郵便番号

国

電話番号

V00A2F

Eメールアドレス









## 警告

**Spyder** ロードスターは、通常とは異なるタイプの車両です。特別なスキルと知識が必要となります。

**Spyder** ロードスターの違いを学んでください。

このオペレーターズガイドを読み、安全に関するDVDを見てください。

トレーニングコース（利用可能な場合）を完了し、a training course (if available), 練習してコントロールに習熟し、適正な免許を取得してください。

乗車する前に安全カードを参照してください。

常に、ヘルメットを着用し、乗車に適した装備をしてください。

このタイプの車両では、ライダーは自動車の運転者より高い道路上のリスクに曝されます。高い運転技術を備えたライダーであっても、他の車両に衝突されて制御不能になる場合もあります。この車両は、衝突事故において運転者を保護しません。

### 運転の限界と道路条件

車両の限界を超えた運転が行われた場合、車両安定システム (VSS) は制御不能、転倒、あるいは転落を防止することはできません。様々な道路条件での限界について氷上、雪上、オフロードで運転しないで下さい。水たまりと流水を避けてください。このタイプの車両は、水上でハイドロプレーニングを起こし、道路を覆った砂利、泥、砂でスリップする可能性があります。このような路面を走行しなければならない場合、速度を落としてください。

219 001 443\_JA

オペレーターズガイド、SPYDER RT / 日本語 - 日本

U/M:P.C.